

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
1	諸祖神神名略記 全				1865	1		縦帳	1	日本の神々の略 系譜				1-1-1~9
2	信州諏方上宮神事祭 禮大概	神長官		辰九月	1680	9		縦帳	1					1-1-10~27
3	信州諏方上宮神事祭 禮大概	神長官		辰九月	1680	9		縦帳	1					1-1-28~46
4	高島藩問合諏方郡 村々神社祭神取調				1869	3		縦帳	1	祭神・社地・神事 免			小切紙2 枚	1-1-47~112
5	(守矢家覚書)				1900	5		縦帳	1	御左口・祈禱殿・ 丸塚等覚				1-1-113~133
6	拾塵録				1860	1		縦帳	1	諏訪神社名入古 書抜書			小切紙1 枚	1-2-134~180
7	諏訪郡宮川村神社明 細表			明治十二年	1879			縦帳	1	神社明細及び宮 川村沿革	罫紙を含 む			1-2-181~190
8	雉鎌第6巻8月号	諏訪明神講社本 部		昭和二年八 月一日	1927	8	1		1	原始神社の薙鎌	活版			1-2-191~192
9	正三位神頼真朝臣三 百年祭執行和歌詩文				1887	10			1	題は「秋懐旧」	活版			1-2-193
10	調査事項	昌林寺世話人原 田清七他一	守矢実久	明治廿八年 六月一日	1886	6	1		1	旧神之原村調査 依頼	罫紙			1-2-194
11	(祝詞)				1865	2		折紙	1	天孫降臨供奉三 十二神への祝詞				1-2-195~196
12	(神社調)				1878	10	21	切紙	1	千野川神社・御頭 御社宮司社				1-2-197
13	小坂観音縁由				1869	4		切紙	1	観音堂造立由来	下書か控			1-2-198
14	(神社調)				1868	2		継紙	1	先ノ宮・真海社	下書か控			1-2-199
15	(神社調)	牛山善七他一			1869	6		継紙	1	武田八幡宮・矢作 神社	起請文継 ぎ・下書			1-2-200
16	(旧神之原寺堂調)				1869	7		切紙	1	昌林寺・西福寺・ 薬師堂	下書			1-2-201
17	(寺社調)	小坂八郎他一		一月廿六日	1869	1	26	切紙	1	下照姫命神社・小 坂観音				1-2-202
18	(断簡)	小坂八郎他四			1869	8		切紙	1	湊村小坂区の人	後欠			1-2-203
19	(断簡)				1868			縦紙	1	神長官が宮奉行 仮役を勤める	神長官日 記の一部 か			1-2-204
20	(社寺調)				1869	9			1	米沢村塩沢区瀬 神社・塩沢寺	罫紙			1-2-205
21	(社寺調)				1869	10		縦紙	1	足長神社由来	縦帳の一 部か			1-2-206

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
22	(社寺調)	玉川村山田河西 長之助他一		明治二年正 月	1869	1		継紙	1	秋葉大神・壺井八 幡・金刀羅大神由 緒				1-2-207~208
23	(社寺調)				1869	11			8	曹洞宗少林山頼 岳寺由緒	罫紙			1-2-209~216
24	(社寺調)				1869	12			4	葛井社由緒	罫紙・絵			1-2-217~220
25	(神名)				1865	3		切紙	1	鎮源壇三十二神・ 万宗壇三十二神				1-2-221~222
26	(一刀流相伝書)	大矢貫治	守矢宮内	弘化二年八	1845	8		折紙	1	真之払捨刀相伝	花押			1-2-223~224
27	(史料掲載謝状)	諏訪史料叢書刊 行会	守矢真幸	大正十五年 五月十日	1926	5	10		1	大明神画詞掲載		封筒付		1-2-225~227
28	普賢堂旧跡				1868			縦帳	1	普賢堂五重塔由 日本紀倭名抄等 抜粋				1-2-228~230
29	信濃地名考抜書				1869			縦帳	1					1-2-231~234
30	真栄講連名 太々御神楽寄附金請 取帳			元治元甲子 年四月十五	1854	2		縦紙	1	上田より奉納の 太々神楽講		11-00 袋に嘉 永7年と 有		1-2-235~242
31	(太々神楽書留)				1864	4	15	横帳	1	諏訪郡内の名簿 異国船渡来に付 上田より奉納の記				1-2-243~266
32	覚			二月十二日	1854	5	12	切紙	1	太々神楽奉納時 飲食領収書				1-2-273
34	奉	真栄講		二月九日	1854	3	9	折紙	1	太々神楽・矢除御 守の初穂目録				1-2-274~275
35	覚				1854	6		切紙	1	太々神楽時の入				1-2-276
36	覚	弥四郎	上		1854	7		切紙	1	万度・立札高根等 の受取				1-2-277
37	覚				1854	8		切紙	1	御酒料・弁当料等 の入用				1-2-278
38	覚	桔梗屋	上	四月十六日	1854	15	16	継紙	1	領収書				1-2-279~281
39	覚	茅野式部	矢嶋杉之丞	四月十七日	1854	16	17	切紙	1	御酒料・弁当料等 の請取書		11-08 の請取 書		1-2-282
40	(覚書)				1854	9		切紙	1	太々神楽雛形				1-2-283
41	太々神楽願込之節飛 脚手扣之写也	(上田講中)	(神長官)		1854	10		継紙	1	太々神楽実施に 伴う希望				1-2-284~288
42	覚	今井	守矢	二月十日	1854	4	10	切紙	1	万度御祓拵え料・ 木地代			下げ札 付き	1-3-289~291

目録番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
43	二月の献立				1854	11		継紙	1	太々神楽が済んだ日の献立				1-3-292~296
44	武居にて振舞候献立之写				1854	12		継紙	1	下社の例				1-3-297~302
45	(書状)	真栄講	山口兵衛		1854	7		切紙	1	万度御初穂の御		包紙付		1-3-303~304
46	覚	茅野式部	矢嶋杉之丞	文久二年五月十八日	1862	12	18	切紙	1	御神楽・御初穂・神山料等の領収				1-3-305
47	(書状)	上柳喜右衛門他一	柏木軍之進他一	五月七日	1862	2	7	継紙	1	飯田の講より勤行願		包紙付		1-3-306~310
48	目録				1862	10		折紙	1	御神楽御礼目録				1-3-311~312
49	(覚書)				1862	11		切紙	1	賄い金支払覚				1-3-313
50	(覚書)				1862	3		折紙	1	飯田講勤行同行者名簿		11-18の同行者名簿		1-3-314~315
51	覚	平栗卯右衛門	太々講連中	文久二年五	1862	5		縦紙	1	受取		包紙付		1-3-316~318
52	(覚書)				1862	6		横帳	1	下僕献立		11-18関係		1-3-319~324
53	(奉献額)			文久二年五月	1862	7		縦紙	1	御神楽奉献の額設計図				1-3-325
54	(奉献額)			文久二年五	1862	8		縦紙	1	額の記名				1-3-326
55	大大神楽諸入用覚			文政八乙酉年二月吉辰	1825	2		横帳	1	飯田太々神楽の入用や御札の寸				1-3-327~340
56	太々神楽献立			文政八年三月吉日	1825	3		横帳	1	飯田より奉納時の献立				1-3-341~359
57	順達	柏木軍之進 辰野伝左衛門他一	七久保村七久保当割他三十四ヶ	安政二年二月三日	1855	1	3	継紙	1	守矢実顕代替り廻村に付き三十六ヶ村順達		包紙・袋付		1-3-360~367
58	廻文	矢嶋杉之丞	上金子村中金子村他三ヶ村	九月十六日	1862	9	16	継紙	1	悪病流行に付弊帛納め		包紙付		1-3-368~371
59	廻文	矢嶋杉之丞	上原村 南大塩村	九月十七日	1862	9	17	継紙	1	悪病流行に付弊帛納め		包紙付		1-3-372~375
60	小払井御買物覚			文久二壬戌年三月廿四	1862	7	24	横帳	1	飯田方面廻村時				1-3-376~393
61	代替二付廻村日記			文久二壬戌年二月吉辰	1862	5		横半帳	1	二月五日から二十一日まで伊那方面		12-03関係		1-3-394~420
62	覚	神長官内柏木軍之進	上穂宿 御堂垣外宿	(文久二年)戌年二月廿	1862	4	25	継紙	1	代替り廻村の先触れ			袖に割り印	1-3-421~423
63	床飴			文政八年三月	1825	3		横半帳	1	飯田太々神楽を迎えるに付		袋入		1-3-424~433

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
64	(収納帳)			文化八年	1811			横帳	1	(友の町・東山田等の年貢か)				1-3-434~439
65	手扣覚			天保十三年五月	1842	5		継紙	1	前宮十間廊建替付		13-00袋		1-3-440~447
66	棟上之祝詞				1869			縦紙	1	棟上げの祝詞の雛形	雛形	江戸		1-4-448
67	手扣			(天保十三年)八月	1842	8		継紙	1	前宮十間廊建替追願書				1-4-449~452
68	口上覚	守矢主殿 伊藤主膳		(天保十三年)寅五月	1842	5		切紙	1	前宮十間廊建替に付口上書覚				1-4-453
69	拾間廊絵図面			(天保十三年)寅五月	1842	5		縦紙	1		平面図写			1-4-454
70	(絵図面)				1869			縦紙	1	(前宮本殿平面		江戸		1-4-455
71	(連中名面)				1862	4		折紙	1	飯田太々神楽名簿		14-00袋		1-4-456~461
72	(覚書)				1868			切紙	1	神長官家の構成	家人覚	文化以降		1-4-462
73	覚	茅野丹次	矢嶋杉之丞	西三月十八日	1825	3	18	切紙	1	太々神楽御初尾金請取				1-4-463
74	覚	伏見屋与七	守屋	西六月十七日	1825	6	17	切紙	1	太々神楽入用請				1-4-464
75	覚	蔦屋又兵衛	森矢内役人	三月十四日	1825	3	14	切紙	1	酒の納品書				1-4-465
76	覚	桔梗屋萬吉	守屋	三月廿二日	1825	3	22	切紙	1	太々神楽入用領収書				1-4-466
77	上	茅野式部	矢嶋杉之丞	嘉永七年甲寅三月十日	1854	13	10	切紙	1	御初穂金・神山料弁当料の請取		包紙付「上」と書いて有る		1-4-467~468
78	覚	油屋神三郎	守矢主殿	三月廿八日	1854	4	28	継紙	1	(太々神楽関係の請求書)				1-4-469~470
79	(書状)	木下与八郎他一	矢嶋杉之丞 柏木軍之進	四月廿七日	1862	1	27	継紙	1	飯田の講太々神楽執行に付				1-4-471~475
80	(書状)	木下与八郎他一	矢嶋杉之丞 他一	五月四日	1862	5	4	継紙	1	飯田の講太々神楽執行に付参加人数決定		包紙付		1-4-476~479
81	太々神楽献立			文久二壬戌年五月	1862	9		横帳	1	飯田の太々神楽執行時				1-4-480~495
82	(書状)	成沢七郎左衛門 他一	洩矢 侍史 中	二月朔日	1854	2	1	継紙	1	上田の講太々神楽執行に付		包紙付		1-4-496~499
83	飯田御城下太々神楽諸事留			文久二壬戌年五月	1862	13		横帳	1	経費・接待・祝儀・反省等				1-4-500~515

目録番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
84	口上之覚				1838	12	26	豎紙	1	鉄砲免許の願書		15-00 袋 15-01包紙		1-4-516~519
85	奉願口上覚	守矢主殿 矢嶋左京	(高嶋藩)	(天保十年) 亥十一月	1839	11		継紙	1	鉄砲禁止の免除願書	裏印			1-4-520~524
86	差上申一札之事	信州下諏方武居祝	奉行所	宝永八辛卯年正月	1711	1		豎紙	1	鉄砲御改の証文に付	市文化財			1-4-525
87	(覚)			天保十一庚子年二月十九日	1840	2	19	折紙	1	鉄砲禁止の免除願差戻し	大祝並五官中の署名有			1-4-526~527
88	覚	伊奈大草日曾利	高部	未十二月廿六日	1868	12	26	切紙	1	時計代の請取		15-02 包紙		1-4-528~529
89	覚	横前小弥太	伊藤主膳	(天保四年) 三月六日	1833	3	6	切紙	1	金子借用証文				1-4-530
90	覚	金野政之進 香坂源兵衛他一	山口兵衛	弘化三丙午年十二月	1846	12		切紙	1	金子請取		金野氏より主殿へ養		1-4-531
91	覚	香坂織右衛門	矢嶋杉之丞	文久三亥年十二月	1863	12		切紙	1	金子請取				1-4-532
92	借用申金子証文之事	横前小弥太	守矢主殿 矢嶋左京	天保四癸巳年二月	1833	2		豎紙	1	五十両借用		横前氏より主殿へ養		1-4-533
93	覚	金野政之進	山口兵衛	弘化三丙午年十二月	1846	12		横帳	1	物品預り証				1-4-534~539
94	(包紙)	守矢主殿	会津矢嶋七郎右衛門		1820	4			1		伊勢津彦に付返信下書	17-00 袋		1-4-540~542
95	(書状)	守矢主殿	会津矢嶋七郎右衛門		1820	5		折紙	1	伊勢津彦命に付返信下書		17-01と同じ内容		1-4-543
96	(書状)	会津七郎右衛門	守矢主殿	十一月廿二日	1820	11	1	折紙	1	御祈祷の御玉会並鹿肉礼状及伊勢津彦命に付		札の裏に記入		1-4-544~548
97	(書状)	会津七郎右衛門	守矢主殿	十一月廿四日	1820	11	2	折紙	1	御祈祷の御玉会並鹿肉礼状				1-4-549
98	(書状)	会津七郎右衛門	守矢主殿		1820	6		折紙	1	伊勢津彦命返答礼状		17-01・17-02に対する礼状		1-4-550~551
99	和田倉より来書	在竹五郎左衛門	神長官 祢宣太夫他三	正月五日	1810	1	5	切紙	1	肥後守遺骸発棺通知		文化以後		1-4-552~553

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
100	和田倉より来書写	在竹五郎左衛門 笹原照兵衛	神長官 祢 宣太夫他三	十二月廿七 日	1809	12	27	切紙	1	肥後守死去通知		文化以 後		1-4-554~555
101	(書状控)	副祝 擬祝他三	御用人		1810	3		横帳	1	肥後守家督相続 通知		17-08 は同じ 内容を 各々に 宛てた 文化以 後	同じ帳に 三種類 の事項	1-4-556~557
101	(書状控)	副祝 擬祝他三	御家老		1810	4		横帳	1	肥後守家督相続 通知		文化二 年より 肥後守 を名乗	同じ帳に 三種類 の事項	1-4-557
101	(書状控)	副祝 擬祝他三	笹原与兵衛 左川幸之進 他一		1810	5		横帳	1	肥後守家督相続 通知		文化以 後	同じ帳に 三種類 の事項	1-4-558~559
102	(包紙)	大武志摩次	諏方宮神長 官	三月廿一日	1820	3	23		1	伊勢津彦命に付き 合図七郎右衛門 へ書状下書	包紙を利 用して下 書	17-02と 同じ内 容		1-4-560~561
103	内御玉殿廿分の一図			(弘化三年)	1846				1	側面図・正面図		18-00 袋		1-4-562~567
104	(内御玉殿廿分の一			(弘化三年)	1846			縦紙	1	平面図				1-4-568
105	(願書下書)			(弘化三年)	1846			継紙	1	内御玉殿の御寄 進・御建替願書		18-04と 同じ内 容下書 きか		1-4-569~570
106	(願書)			(弘化三年)	1846			継紙	1	内御玉殿の御寄 進・御建替願書				1-4-571~573
107	(願書下書)			(弘化三年)	1846			切紙	1	内御玉殿の御寄 進・御建替願書		18-04と 同じ内 容下書 きか 文政六 年より 二十三 年にな		1-4-574
108	鐵塔銘			寛永八年	1631			縦紙	1	再興した鉄塔の銘		19-00 袋		1-4-575~577
109	奉願口上覚			(弘化三年)	1846			継紙	1	当社建替に付 札 興業願				1-4-578~581

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
110	(奉願口上覚)	源太夫茅野但馬		(安政四)丁巳十月	1857	10		継紙	1	洪水に付亀石大明神の御祓				1-4-582~584
111	奉願口上覚	上社	(高嶋藩)	正月十日	1868	1	10	継紙	1	関所に印鑑差し出通行に付き願				1-4-585~587
112	(手扣)				1810	4		折紙	1	矢嶋氏・長坂氏・伊藤氏隠居家督の前例				1-4-588~589
113	口上覚	在江戸守屋要人	(藩)	寅年十月	1867	10	4	継紙	1	年貢軽減に付		天保九年以後		1-4-590~592
114	奉願口上覚	安丸始一同	(藩)		1867	5		継紙	1	年貢軽減に付		安丸は天保十二年より大祝		1-4-593~595
115	手扣				1868			折紙	1	御騎馬・御柱延引の前例				1-4-596~597
116	口上手扣				1858			折紙	1	北大塩村塩沢姓祝殿と村方一同の争論に付				1-4-598~599
117	奉願口上覚	伊藤主膳 長坂主計		安政三丙辰年四月	1856	4		継紙	1	勘左衛門年貢未納及び借金に付	署名		原案は守矢宮内が書	1-4-600~608
118	奉願口上覚	両社	(江戸屋敷)	亥十二月廿三日	1868	12	23	継紙	1	年頭御礼出府の儀に付				1-4-609~613
119	奉願口上覚	上社	(藩)	(弘化三年)	1846			折紙	1	当社修復に付御興行を催す願				1-4-614~615
120	奉願口上覚	(神長官)	(藩)		1868	1		折紙	1	諏訪大祝宛書状の年頭御礼に付				1-4-616~626
121	片羽へ掛御目候書付之下書	上社	(吉田)式部左衛門		1810	5		継紙	1	矢嶋氏・長坂氏・伊藤氏・守矢氏・守屋氏の家督相続資料		吉田式部左衛門は寛政から文化ころ用人		
122	奉願口上覚	両社	(江戸屋敷)	十二月廿三日	1868	12	23	切紙	1	年頭御礼出府の儀に付		19-11と同じ内容		2-1-1~2
123	奉願口上覚	上社	(藩)	(安政五年)戊午二月	1858	2		継紙	1	御朱印高打消に付	起請文継ぎ			2-1-3~7

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
124	奉之候	(上社)	(藩)		1868			折紙	1	関所に印鑑差出し 通行に付		19-04と 同じ内 容 江 戸期		2-1-8~9
125	(書状)	神長官	有賀村松左 衛門		1858	4		継紙	1	御朱印高打消に 付		19-16 に触れ ている		2-1-10~12
126	立科山寄附木手順之 覚	神長官守矢宮内 守矢主殿 矢嶋 左京		(天保九年) 戊正月	1855			横帳	1	御祈所建替の木 材寄付		安政以 後		2-1-13~18
127	奉願口上覚				1838	1		継紙	1	鉄砲禁止の免除 願		15-1-2 の下書		2-1-19~24
128	造営蔵入衰候訳書覚				1858	5		継紙	1	造営蔵入衰に付 田地寄付願		19-16 に関連		2-1-25~32
129	奉願口上覚	伊藤主膳	(藩)	安政五年十 一月	1858	11		縦紙	1	拝借金の返済手 延願				2-1-33
130	(証状覚)	副祝他四		享祿四卯年 九月	1531	9		折紙	1	諏訪南宮大明神 小県郡へ勧請		20-00 袋		2-1-34~35
131	(村次)	神長官 祢宜太 夫	(村々名主)	(文久二年) 閏八月	1862	8		継紙	1	悪病流行に付大 墓目勤行の事				2-1-36~37
132	証	守矢実頭	矢嶋貞男	明治十五年 十一月十九	1882	11	19	縦紙	1	精勤に付き別荘永 久授与の事		控		2-1-38
133	御受所	矢嶋貞夫	守矢実頭	明治十五年 十一月十九 日	1882	11	19	切紙	1	別荘永久授与に 付請書	朱印	包紙付 20-03 の請書		2-1-39~41
134	差上申一札之事	新井村忠右衛門 杉之丞他一	守矢主殿	文政六癸未 年八月	1823	8		縦紙	1	長屋守被仰付け に付				2-1-42
135	一札	仙左衛門 他4名	守矢主殿	宝暦十二壬 午年十二月	1762	12		継紙	1	知行所定納米滞 納に付				2-1-43~45
136	寄付之品請取帳	神長官 祢宜太 夫		文久二年九 月六日	1862	9	6	横帳	1	悪病退散の大墓 目への寄付				2-1-46~75
137	留書	(守矢主殿)		文化十一年 十一月	1814	11	8	縦帳	1	小池惣左衛門不 届に付き処置				2-1-76~93
138	書状	庄司郡平 和多 日奥八	神長官	四月廿九日	1841	4	29	継紙	1	先年出羽守へ差 出した策に付		天保十 二年か		2-1-94~97
139	(手扣)	(神長官 藩役 人)			1868			折紙	1	高嶋藩主将軍に 御目見えに付		江戸期		2-1-98~99
140	口上覚	神長官		四月廿四日	1838	4	24	継紙	1	守矢家古文書御 覧いただきたい				2-1-100~103
141	松平出羽守様御社参 付書留			天保九戊戌 年三月	1838	3		横帳	1					2-1-104~128

目録番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
142	口上覚	神長官	山本屋市郎 右衛門	天保十年正 月廿四日	1839	1	24	折紙	1	公儀年頭出府に 付				2-1-129~130
143	覚	庄司郡平	御使中	(天保十二 年)正月二日	1841	1	2	切紙	1	手紙と挽祓の受取				2-1-131~132
144	(断簡)				1868			切紙	1	三名の氏名		帯紐付 き		2-1-133
145	(断簡)				1868			切紙	1	(駄賃)				2-1-134
146	(断簡)				1868			切紙	2	勤めの書留				2-1-135~137
147	(書状)	神長官	山本屋	(天保十年) 正月廿五日	1839	1	25	折紙	1	公儀御年頭出府 に付き返信		22-06 の返信		2-1-138
148	(書状)	香坂	守矢	(文久三年) 二月十四日	1863	2	14	切紙	1	香坂が金子用立				2-1-139~140
149	(書状)	神長官			1868			切紙	1	粗末の品差上げ、 目録頂戴して御礼		江戸期		2-1-141
150	(書状)	大橋茂右衛門	神長官	(天保十二 年)十一月廿	1841	11	28	折紙	1	御玉会を出羽守へ 届け		包紙付		2-1-142~145
151	(書状)	和多田奥八	神長官	十一月十七 日	1840	11	17	継紙	1	上社銅灯籠に付	花押	包紙付 包紙付 天保十 一年か		2-1-146~151
152	別紙	神長官	出羽守家中	(天保九年) 四月廿四日	1838	4	24	切紙	1	古書持参の予定				2-1-152~153
153	別紙	神長官	出羽守家中	(天保九年) 四月廿四日	1838	4	24	切紙	1	古書持参の予定				2-1-154~155
154	(書状)	神長官		天保十一年 正月十五日	1840	1	15	折紙	1	御祈祷の御守差 上				2-1-156~157
155	(書状)	庄司郡平	神長官	(天保十二 年)閏正月三	1841	1	3	継紙	1	出府の節古物御 持参の由				2-2-158~161
156	(書状)	神長官	出羽守家中	(天保九年) 四月廿四日	1838	4	24	折紙	1	出羽守様古書御 覧の儀	諏方上宮 神長官手 紙下書き	書状下 書		2-2-162~165
157	口上覚	神長官	山本屋市郎 右衛門	(天保十年) 二月	1839	2		折紙	1	御祈祷の御守差 上		22-18と 同じ内 容		2-2-166~167
158	(書状)	赤坂屋敷内田萬 次	神長官使者 鮎沢萬吉	閏四月六日	1838	4	6	継紙	1	御金延引に付		天保九 年か		2-2-168~171
159	(書状)	神長官			1868			切紙	1	表題の無い本に		江戸期		2-2-172~173
160	(書状)	神長官			1868			継紙	1	御覧に入れおいた 品返済		江戸期		2-2-174
161	(書状)	守矢主殿	西川儀左衛 門	(正月)四月 廿六日	1780	4	26	折紙	1	御玉会差上の取り なし依頼		書状下 書		2-2-175~176

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
162	覚	神長官		(天保十二年)丑閏正月十一日	1841	1	11	切紙	1	御初尾入御状箱受取				2-2-177
163	(書状)	出羽守家中庄司郡平 和多田奥	神長官	(天保十二年)三月十七日	1841	3	17	継紙	1	御宝物と御神記の記録に付				2-2-178~182
164	(書状)	出羽守家中和多田奥八	神長官	(天保十二年)正月廿五日	1841	1	25	継紙	1	来月五・六日頃持参されたい				2-2-183~187
165	(書状)	庄司郡平	神長官	(天保十二年)閏正月八日	1841	1	8	継紙	1	御持参二品出羽守へ一覽に入れ				2-2-188~192
166	(書状)	和多田奥八	神長官	(天保九年)閏四月七日	1838	4	7	切紙	1	御世話に相成り礼状		包紙付		2-2-193~196
167	(書状)	石原九左衛門	神長官	(十一月)十月	1842	10		折紙	1	出羽守への御玉会受取		包紙付 天保末か		2-2-197~200
168	覚書	(守矢岩江)		(文化五年)四月	1808	4		横帳	1	吉田一件解決のため出府書留		菊池東原の名あり		2-2-201~207
169	口上覚	神長官	(藩)		1868			折紙	1	塀を御寄進御建替下さるに付		江戸		2-2-208~209
170	(手扣)				1809	4		折紙	1	村々の攝社・末社の書き上げ				2-2-210~213
171	(書状)	浜八郎兵衛	守矢宮内伊藤主膳	(嘉永七年)八月十六日	1854	8	16	継紙	1	申し達す儀有之候間				2-2-214~215
172	(断簡)			(天保九年三月)	1838	3		折紙	1	松平出羽守社参時の書留の一部		22-05・22-36と同類		2-2-216~219
173	(手扣)				1868			折紙	1	神前へ銀五枚他の受取				2-2-220~222
174	(書状)				1868			継紙	1	矢除御守五体用意されたい				2-2-223
175	(書状)	守矢宮内	守屋要人	(嘉永七年)廿六日	1854		26	継紙	1	主殿死去の届書に付				2-2-224~226
176	(断簡)	神長官		(天保九年三月)	1838	3		折紙	1	出羽守社参		22-05・22-35・22-36・22-37と同じ内容		2-2-227~230
177	(書状)	(守矢岩江 伊藤縫殿)	宮川弾正	(文化五年)	1808			継紙	1	神葬祭日延願の件				2-2-231~234

目録番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
178	口上覚	守矢岩江 伊藤縫殿	吉田式部左衛門	(文化五年)	1808			継紙	1	神道葬祭御免許に付き藩に届		控		2-2-235~243
179	(書状)	神長官			1868			切紙	1	目録頂戴の御礼		22-13と同じ内容		2-2-244
180	(通達)	諏訪右近牛山彦左衛門	守矢主殿 矢嶋左京	(天保九年) 正月廿九日	1838	1	29	継紙	1	松平出羽守上社御社参通達				2-2-245~248
181	(書状)				1868			切紙	1	会津産物会所引越に付				2-2-249
182	(手扣)	神長官		天保四年正月~二月	1833	1		横帳	1	代右衛門の跡継に付			同じ帳に二種類の事項	2-2-250~252
182	(手扣)	神長官		(天保六年) 未正月	1835	1	2	横帳	1	代右衛門の跡継に吉之助			同じ帳に二種類の事項	2-2-253~255
183	(書状)	守矢主殿	土橋左膳	天保六年正月元日	1835	1	1	継紙	1	吉之助は鍵取役にはなれない				2-2-256~258
184	(書状)	土橋左膳	守矢主殿	(天保六年) 未正月元日	1835	1	1	継紙	1	吉之助は大祝支配下でない		包紙付 23-02 返書		2-2-259~264
185	(覚)				1868			折紙	1	武居村役所の受		江戸期		2-2-265~266
186	田地高役抜候覚	笹角兵衛他三		延宝二甲寅年十二月二	1674	12	2	継紙	1	上社社人の抜き高				2-2-267~268
187	覚			辰十月	1867	10	3	継紙	1	勘定所達し、天竜川等普請に付き賦課金			継ぎ目がはがれている	2-2-269~273
188	竹腰山城守様御宿割帳	下諏方宿小松弥次右衛門		天明五乙巳年四月廿九	1785	4	29	横帳	1	山城守家臣の宿割り		25-00 袋	三冊合冊	2-2-274~282
189	竹腰右衛門宿割			天明五乙巳年四月廿九	1785	4	29	横帳	1	脇本陣以外への家臣宿割			三冊合冊	2-2-283~289
190	竹腰山城守下宿割			天明五年四月廿九日	1785	4	29	横帳	1	その他の宿への下宿割			三冊合冊	2-2-290~300
191	竹腰山城守下宿割			天明五年四月廿九日	1785	4	29	横帳	1	その他の宿への下宿割		25-01-③と同じ内容		2-2-301~311
192	口上覚	喜左衛門 惣左衛門	神宮寺	文化十一甲戌年十二月	1814	12	5	縦紙	1	永の暇に付き居宅引払い日延願		26-00 袋		2-2-312~314
193	差上申一札之事	真志野村又四郎 茅野村要助	守矢主殿	安永九庚子年四月	1780	4		縦紙	1	惣左衛門女房不届に付				2-2-315
194	乍恐御願申上候口上覚	小池惣左衛門	幸右衛門	未五月三日	1811	5	3	縦紙	1	惣左衛門宗門抜き願		文化八年か		2-3-316

目録番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
195	一札			(文化八年)	1811	5	4	継紙	1	惣左衛門宗門一札		26-03と一連		2-3-317~318
196	(手扣)				1800			切紙	1	鍵取役惣左衛門は家来に付		文化以前		2-3-319
197	差上申證文之事	小池惣左衛門	神長官	文化十一甲戌年十一月	1814	11	6	切紙	1	屋敷地御取上げ承知			裏書有	2-3-320~321
198	奉願上口上覚	小池惣左衛門	神長官	文化十一甲戌年十一月	1814	11	4	切紙	1	永の暇願い				2-3-322
199	乍恐御願上候口上覚	小池惣左衛門	神長官	未五月三日	1811	5	3	豎紙	1	惣左衛門宗門抜き願		26-03と同じ内容 文化八年か	裏に付箋有り	2-3-323~324
200	差上申一札之事	小池惣左衛門	(神長官)	安永九庚子年四月	1780	4		豎紙	1	惣左衛門女房不届に付		26-02と同じ内容		2-3-325
201	申渡覚	(神長官)	(小池惣左衛門)	文化十一甲戌年十一月	1814	11	5	継紙	1	小池惣左衛門永の御暇申渡し	割印			2-3-326~332
202	乍恐御願上候口上覚	小池惣左衛門	(神長官)	宝曆九年己卯三月二日	1759	3	2	豎紙	1	私儀極く不如意に付				2-3-333
203	(印紙)			宝曆九年己卯四月五日	1759	4	5	切紙	1	惣左衛門家屋敷売払印紙			付箋有り	2-3-334~336
204	口上覚	守矢主殿	(藩 大祝)	(文化十一年)戌十二月十九日	1814	12	19	切紙	1	立石半三郎召使うに付				2-3-337
205	一札			(文化八年)	1811			継紙	1	惣左衛門宗門一札		26-04と同じ内容		2-3-338~339
206	差上申一札之事	小池惣左衛門喜左衛門	守矢主殿	文化十二乙亥年十月	1815	10		豎紙	1	惣左衛門居宅取片付け日延願				2-3-340
207	差上申證文之事	小池惣左衛門	神長官	文化十一甲戌年十一月	1814	11	7	切紙	1	屋敷地御取上げ承知		26-06と同じ内容		2-3-341~342
208	(覚)				1800			切紙	1	小池惣左衛門への給分		文化以前		2-3-343
209	口上覚	守矢主殿		戌十一月三日	1814	11	1	継紙	1	惣左衛門は鍵取役にあらず				2-3-344~351
210	手扣	神長官	小池惣左衛門		1814	11	2	折紙	1	詰問書		文化十一年か		2-3-352~353
211	(覚)				1800			折紙	1	惣左衛門が上社へ銀子進上				2-3-354~355

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
212	手扣(一札)	土橋伝吾	神長官 小池惣左衛門	宝暦九乙卯年十一月四	1759	11	4	切紙	1	墓所相調え売地に付				2-3-356
213	手扣	神長官	小池惣左衛門		1814	13	3	継紙	1	詰問書		26-19と同じ内容 文化十一年か		2-3-357~361
214	(書状)	守矢主殿	神宮寺	(文化十一年)十一月晦	1814	11	30	継紙	1	惣左衛門居宅引払い日延べ承知一件(日延願)に付				2-3-362~364
215	(書状)	神宮寺	守矢主殿	(文化十一年)十一月廿	1814	11	29	継紙	1	付				2-3-365~367
216	覚				1868			折紙	1	飯田御頭郷各村負担金覚		江戸期		2-3-368~369
217	口上	守矢主殿	花岡市之進 土橋主税他1名	(文化七年)十一月十一日	1810	9	11	切紙	1	家督相続に付吹調申し度口上		この主殿は実延		2-3-370
218	(書状)	主計 左京他1名	主殿	廿九日	1825		29	切紙	1	擬祝家へ舎弟養子縁組に付		文政初		2-3-371
219	奉願口上覚	守矢主殿	用人	天明八戊申年十月廿一日	1788	10	21	豎紙	1	倅岩江へ家督相続させたき願			裏書有	2-3-372~373
220	奉願口上覚	守矢岩江 一類 惣代矢嶋左京	用人衆	文化七庚午年十月二日	1810	10	2	豎紙	1	倅主殿へ家督相続させたき願				2-3-374
221	奉願口上覚	守矢岩江 一類 惣代矢嶋左京			1810	6			1	養子願・家督願の覚	27-07の包紙			2-3-375~376
222	奉願口上覚	守矢岩江 一類 惣代矢嶋左京	諏方大祝	午九月廿八日	1825	9	28	切紙	1	伊藤縫殿家へ養子縁組願		27-03と一連 文政初		2-3-377~378
223	(口上)	守矢主殿	花岡市之進 土橋主税他1名	(文化七年)十一月十一日	1810	10	11	切紙	1	家督相続に付吹調申し度口上		27-02と同じ内容		2-3-379
224	(口上)	守矢主殿	守屋要人 他1	(文化七年)十一月十一日	1810	11	11	切紙	1	家督相続に付吹調申し度口上		27-02と同じ内容		2-3-380
225	口上	守矢主殿	神宮寺 如法院他二	(文化七年)十一月十一日	1810	12	11	切紙	1	家督相続に付吹調申し度口上		27-02と同じ内容		2-3-381
226	(口上)	守矢主殿	守屋要人 矢嶋左京他1	(文化七年)十一月十一日	1810	13	11	切紙	1	家督相続に付吹調申し度口上		27-02と同じ内容		2-3-382
227	(口上)	主殿	要人 左京他1	廿九日	1825		29	切紙	1	弟養子縁組に付き		27-03の返信		2-3-383~384

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
228	(風呂敷覚)			(文久二年)	1862	8		折紙	1	伊那廻村時持参 風呂敷覚				2-3-385~386
229	奉願口上覚下書	守矢岩江 一類 惣代矢嶋左京	諏方大祝	文化七庚午 年十月朔日	1810	10	1	縦紙	1	倅主殿に家督相 続させたき願				2-3-387~390
230	覚	矢嶋杉之丞		(文久二年) 壬戌二月廿	1862	6	28	折紙	1	勸化の差引会計 覚				2-3-391~392
231	伊奈郡配礼土産覚			天保十三壬 寅年十一月 吉日	1842	11		横半 帳	1	配札と土産覚		27-13・ 27-15と 一連の 物		2-3-393~397
232	請取覚				1754			折紙	1	御符納の礼の額	横帳の一 部か			2-3-398~399
233	(書留)			天保十五甲 辰年十一月 廿六日	1844	11	26	横帳	1	守矢家に養子に 迎える経緯				2-3-400~405
234	(口上書)	神長官役人矢嶋 杉之丞		十一月	1831	11		横帳	1	御社宮司建替に 付寄付集め、由緒		240より 後年の 物 文 政ころ		2-3-406~409
234	(覚書)			十一月	1868	11		横帳	1	御社宮司の祭神 に付		文政こ ろ		2-3-410~413
235	飯田御頭虎岩村富田 村柏原村	小池惣左衛門		寛保二壬戌 年十一月	1742	11		折紙	1	三ヶ村の負担額	横帳の表 紙			2-3-414~415
236	年中精進留書帳			文化二乙丑 年十月	1805	10		横帳	1	一年中の精進をす る期日・分担	市文化財			2-3-416~421
237	(攝社末社)				1809	2		横帳	1	上社の攝社・末社			表紙欠 最終頁 四行の み。以下	2-3-422~449
238	佐久郡神職姓名留			寛政九巳年	1797	1		横帳	1				3枚白	2-3-450~458
239	甲州市川河内領下山				1798	1		横帳	1	神職姓名			3枚白	2-3-459~464
240	甲州御嶽山社中				1798	2		横帳	1	社家姓名			1枚白	2-3-464~470
241	甲州一宮寄十社				1798	3		横帳	1	神職姓名				2-4-471~486
242	筑摩郡神職姓名			(寛政九年) 巳壬七月九	1797	7	9	横帳	1					2-4-487~506
243	信州更級郡				1798	4		横帳	1	神職姓名				2-4-507~524
244	信州小県郡神職姓名 留帳				1798	5		横帳	1					2-4-525~538
245	無盡蔵	神長官		明治三十二 年一月	1899	1		横帳	1	金銭出納帳			メモ有	2-4-539~609

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
246	無盡蔵	神長官		明治三十一年一月	1898	1		横帳	1	金銭出納帳			二冊合冊	2-3-616~623・3-1-1~69
246	真幸東京在学中贈金扣	神長官		明治三十一年四月二日	1898	4	2	横半帳	1	明治三十三年十月まで			二冊合冊 4枚	2-3-610~615
247	年中業事覚	御勝手方		文化十四年	1817			横帳	1	年中行事書留	市文化財			3-1-70~105
248	(表紙欠)	神長官実延(主殿)	(当年御頭の村の名)	(嘉永六年)十一月十八日	1853	11	18	横帳	1	御符料督促・大明神由来				3-1-106~117
249	飯田御檀中遣ひ覚	神長官内手代中		文久二戌年二月	1862	1		横帳	1	廻村の遣い物覚え				3-1-118~133
250	江戸会津飯田其外旦家江書状留				1868	11		横帳	1	御玉会・御符送り			表紙破れ有	3-1-134~170
251	飯田領旦那廻気付諸事入用牒			宝暦四甲戌年二月吉日	1754	2		横帳	1	村々の旦那への遣い物		46と同じ内容		3-2-171~189
252	伊奈郡檀中名面帳			文化十一甲戌年口月	1814			横帳	1	村毎に一件づつ書上				3-2-190~256
253	市田村御寄附姓名録			文久二戌年二月	1862	2		横帳	1	飯田の旦那からの寄付		46と対		3-2-257~280
254	二番江戸会津飯田并旦那家江書状留	長官家役所		(江戸期)	1867			横帳	1	飯田の旦那名	表紙と内容が異なる			3-2-281~297
255	伊奈旦那中土産扣帳			文久二壬戌年二月五日	1862	3	5	横帳	1	廻村の土産		46と一連		3-2-298~307
256	江戸会津目録	守矢		天保十二辛丑年十一月	1841	11		横半帳	1	出羽守に差し上げる御玉会の台の作り方他				3-2-308~313
257	無尽覚帳	守矢		慶応四戊辰	1868			横帳	1	無尽の掛金覚				3-2-314~329
258	於御射山墓目御祈祷ニ付配札名面帳			安政五戊午年十月	1858	10		横帳	1	悪病流行の時か	配札の図有			3-3-330~346
259	神長官様御祈祷ニ付寄付名面帳			安政五戊午年十月吉日	1858	10		横帳	1	悪病流行の時か		55と関連		3-3-347~382
260	(通達)	埴原三左衛門他七	上ノ五官中	五月十八日	1786	5	18	継紙	1	登城通達		包紙有		3-3-384~388
260	(通達)	五官	神宮寺他三	五月十八日	1786	5	18	切紙	1	御参勤に付				3-3-389
260	(通達)	神長官	(五官)		1786			切紙	1	登城通達・御参勤に付				3-3-383
261	(書状)	山中志津摩	守矢主殿 守屋丹下他三名	十二月廿日	1785	12	18	継紙	1	歳暮御玉会差上げ		天明ころ		3-3-390~392
262	(通達)	黒沢藤之助 両角惣兵衛	守矢主殿 守屋要人他三名	二月廿八日	1840	2	28	継紙	1	申達す儀有に付		文政から嘉永		3-3-393~395

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
263	(書状)	大熊善兵衛	伊藤監物	四月廿日	1764	4	20	継紙	1	御玉会江戸表へ		善兵衛 は明和 から安 政ころ 奉行		3-3-396~399
264	(書状)	牛山彦左衛門	上ノ五官中	九月九日	1848	9	9	切紙	1	殿様(正誠)の代				3-3-400~401
265	(書状)	両角外太夫	守矢岩江	(文化五年) 十一月六日	1808	11	6	切紙	1	宛名の肩書に付				3-3-402~404
266	(書状)	志賀初右衛門	守矢主殿 守屋丹下他 二	十月廿二日	1771	10	22	継紙	1	藩主に差上げる御 玉会に付		初右衛 門は明 和から 安政こ ろ郡奉 行	虫食い	3-3-405~411
267	(通達)	両角外太夫	守矢主殿	十月十四日	1867	10	14	継紙	1	登城通達		文政こ ろ		3-3-412
268	(書状)	浜長十郎 高山 甚之丞他一名	寺社五官中	九月廿七日	1788	9	27	継紙	1	三ヶ寺江戸出府に 付		浜長十 郎高山 甚之丞 は天明 年間郡 奉行	紙の継 ぎ目が 剥げ、二 枚になっ ていた が、武井 先生によ り補修済	3-3-413~416
269	(通達)	両角八兵衛	守矢岩江	十一月十一 日	1785	11	11	切紙	1	登城通達		八兵衛 は安永 十年か ら天明 九年ま で用人 天明こ ろ		3-3-417~419
270	(通達)	茅野簀治	上ノ社五官 中	二月十日	1780	2	10	切紙	1	御使者罷越に付		57-23 関連 安永こ ろ		3-3-420~422
271	(書状)	山中志津摩	守矢主殿 守屋内記他	十一月三日	1785	11	3	継紙	1	殿様御朱印頂戴 に付		天明こ ろ	破れ	3-3-423~425
272	(書状)	前田紋治	上ノ社五官 中	二月十一日	1868	2	11	継紙	1	殿様の代参				3-3-426~428

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
273	(書状)	宇田川助右衛門	守矢岩江 守屋要人他	十二月廿九日	1800	12	29	継紙	1	歳暮御祝儀に付		寛政から文化		3-3-429~432
274	(通達)	浜長十郎 久保 嶋平左衛門	守矢岩涛 守屋要人他 三名	十二月四日 (寛政ころ)六 月廿五日	1800	12	4	継紙	1	申達す儀有		寛政十一から 十二年二人同 時に用人		3-3-433~435
275	(通達)	浜長十郎	神長官他三		1795	6	25	継紙	1	登城通達				3-3-436~438
276	(書状)	山中志津摩 千 野十郎兵衛他二	上ノ五官中	十二月廿五日	1785	12	25	継紙	1	御歳暮御礼に付		包紙付 志津摩 は天明 ころ用 人	虫食い	3-3-439~442
277	(通達)	牛山金兵衛 前 田和左衛門他六	守矢主殿 守屋丹下他 二	十一月七日	1780	11	7	継紙	1	登城通達		牛山金 兵衛は 安永末 用人	虫食い	3-3-443~445
278	(書状)	守矢主殿	守屋丹下 矢嶋左京他	(文化十三 年)十二月廿	1816	12	25	継紙	1	殿様家督・伊勢守 就任			虫食い	3-3-446~447
279	(書状)	牛山陣平	上社五官	七月二日	1868	7	2	継紙	1	御代参遅延				3-3-448~451
280	(書状)	主殿	丹下	十一月十七	1868	11	17	切紙	1	御代参に付				3-3-452~453
281	(書状)	牛山彦左衛門	守屋主殿	八月四日	1785	8	4	切紙	1	若殿病に付き御祈 禱		彦左衛 門は天 明ころ 大目付	虫食い	3-3-454~456
282	(書状)	守矢主殿	守屋丹下 矢嶋左京他 一	二月十日	1780	2	10	切紙	1	千野簀治より手紙 到来		57-11 が千野 簀治の 手紙 この主 殿は先 代の主 殿 安 永ころ		3-3-457~458
283	(書状)	吉田式部左衛門	上諏方五官 衆中	七月三日	1781	7	3	切紙	1	御代参に付(忠 肅)		式部左 衛門は 天明か ら寛政 用人	虫食い	3-3-459~460

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
284	代替ニ付郡中順村日誌	実顕		安政二乙卯 年五月	1855	2		横帳	1	実延より実顕へ代 替りに付				3-3-461~466
285	勸金請取覚			安政二乙卯 年五月	1855	3		横帳	1	代替りに付き勸金 受取				3-3-467~472
286	神長官御代替観化帳	小井川村		(安政二年)	1855	5		横帳	1	湖北方面				3-3-473~486
287	村々諸入用覚帳	金井勝守 小坂 仙右衛門		安政二乙卯 年五月	1855	4		横帳	1	湖北方面				3-4-487~508
288	寄附名面	神長官		(安政二年)	1855	6		縦帳	1	湖北方面	朱印	60と対		3-4-509~515
289	於御射山 墓目御祈禱 二付入用覚			安政五戊午 年十月	1858	10		横帳	1			56.55関 係 悪 病退散 の為か		3-4-516~529
290	(覚)	(神長官)		(文政九年)	1826			折紙	1	下社虚空蔵の社 の作り方			虫食い	3-4-530~532
291	信州諏方上宮神事祭 礼大概	信州諏方上之宮		辰九月	1680	9		継紙	1	上社社例記に似 た内容	江戸時代 明治時代 か		虫食い 朱墨	3-4-533~549
292	(諏訪大明神由来)	(神長官)			1898			継紙	1	由来考察			虫食い	3-4-550~555
293	(棟上文書)	神長官神実延 岩波定吉他一名		文政九年七 月廿七日	1826	7	27	継紙	1	御射山大明神内 陣拝殿・虚空神内 陣拝殿	花押 裏 に割り印		メモ	3-4-556~558
294	(書状)	矢嶋杉之丞		天保九戊戌 年八月	1838	8		継紙	1	御射山神楽所造 立に付			虫食い 破れ	3-4-559~562
295	御射山社分見絵図			寛政三亥年 三月	1791	3	1		1	御射山地域全体				3-4-563~568
296	(御射山絵図)				1791	2			1	本社中心の絵図				3-4-569~572
297	御射山諸事日記	(守矢岩江)		文化三丙寅 年七月吉日	1806	7		横帳	1	幟・御神体紛失の 件に付				3-4-573~588
298	御知行并入上ヶ米覚	矢嶋杉之丞		天保四癸巳 年十月	1833	10		横帳	1	神長官の知行・年 貢				3-4-589~603
299	諸事日記	(守矢宮内)		天保十四癸 卯年十月吉	1843	10		横帳	1	十五年四月廿六 日まで		宮内は 実顕	虫食い	3-4-604~622・ 4-1-1~23
300	原山願書扣	田部村 下金子 村他三十七ヶ村	(郡奉行)	享和三癸亥 年五月	1803	5		横帳	1	原山入会三十九ヶ 村が中道新田等 五ヶ村を訴えた				4-1-24~37
301	祖税貢献簿	守矢		明治八乙亥 年十二月	1875	12		横帳	1	廿一年までの租税 納入				4-1-38~60
302	屋敷坪数其他持地 預ヶ覚			文政二己卯 年十一月吉	1819	11		横帳	1					4-1-61~73
303	(書留)				1867			横半 帳	1	棒火矢に付書留		江戸期		4-1-74~81

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
304	神道葬祭御免許ニ付高嶋に届始末	(守矢岩江)		(文化五戊辰年二月廿五日)	1808	2	25	横帳	1	神葬祭に付き藩との折衝				4-1-82~134
305	神道葬祭願留帳	(守矢岩江)		文化五戊辰年二月	1808	2		横帳	1	神葬祭に付き藩との折衝				4-2-135~172
306	口上書	神長官守矢岩江	(藩の用人)	(文化四年)丁卯四月	1807	4		横帳	1	法華寺離壇に付き願出				4-2-173~229
307	御騎馬行列并諸事書留	御役所		嘉永七甲寅年四月	1854	4		横帳	1	神子の手伝い等			虫食い	4-2-230~254
308	御柱騎馬役附牒			天明二壬寅年四月十二	1783	4	12	横帳	1					4-2-255~265
309	騎馬行列覚帳			嘉永元戊申年四月十七	1848	4	17	横帳	1	行列人数増加の指摘				4-3-266~275
310	御柱行烈役附帳			安永五丙申	1776			横帳	1					4-3-276~286
311	御騎馬人足名面書上帳	下古田村		万延元庚申年四月	1860	4		横帳	1	下古田村分担				4-3-287~290
312	御射山御普請ニ付書留帳	矢嶋藤右衛門 矢嶋杉之丞		文政八年五月	1825	5		横帳	1	九年七月落成まで				4-3-291~299
313	歳貢納帳			嘉永五壬子年十月	1852	10		横帳	1	明治十六年まで	割り印		虫食い 破れ	4-3-300~354
314	(順達)	岩江	要人 能登 守他二名	六月廿四日	1800	6	24	継紙	1	通達の旨	②の頭として他官に回覧し	69-00袋(高島来)		4-3-355~357・360
314	(通達)	松田元之助 久保嶋平左衛門	守矢岩江 守屋要人他三名	六月廿四日	1800	6	24	継紙		柳口へ出頭通達		①②は継いである		4-3-358~359
315	口上之覚	守矢岩江 守屋要人他三名		二月	1800	2		継紙	1	御柱騎馬行列に付		文化ころ		4-3-361~363
316	(書状)	志賀武左衛門 小沢忠左衛門他一	守屋主殿	七月十九日	1800	7	19	継紙	1	音楽の稽古に付		忠左衛門は寛政ころ賄い役	鋏の痕	4-3-364~366
317	(書状)	主計	岩江 丹下 他二	(文化五)壬六月四日	1808	6	4	継紙	1	仰付けの他の御祈禱に付			虫食い	4-3-367~369

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
318	(書状)	志賀利兵衛他一	守矢主税	五月十六日	1800	5	16	継紙	1	鉄砲に付尋ねの ため登城通知		宇田川 助右衛 門は寛 政年中 大目 付、主 税は宝 暦八年 死	虫食い	4-3-370~372
319	(書状)	岩本忠右衛門	守矢主殿 矢嶋左京	(天保三年) 九月朔日	1832	9	1	継紙	1	棟梁原五左衛門 鳥居問合せに付			虫食い	4-3-373~376
320	(書状)	両角十郎右衛門	守矢主殿	三月七日	1827	3	7	切紙	1	御柱御貸人願		十郎右 衛門は 文政十 から十 一年郡 奉行		4-3-377~378
321	(書状)	牛山源五左衛門 高山作右衛門 他三	上社五官中	八月廿一日	1868	8	21	継紙	1	源太郎牢破り出奔 に付				4-3-379~381
322	下書				1868			継紙	1	守屋采女末期願 に付			虫食い	4-4-384~385
323	(下書)	神長官神実延 矢嶋杉之丞他一 名		(文政九年)	1826	7	27	継紙	1	御射山大明神内 陣拝殿・虚空神内 陣拝殿棟上文書		70-00 袋(御 柱二付 用書留 入) 63-04と 同じ内		4-4-382~383・ 386~390
324	(書状)				1868			折紙	1	御柱由来に付			虫食い	4-4-391・392
325	(下知)	豊房	廣橋前大納 言	(嘉永七年) 二月廿七日	1854	2	27	折紙	1	諸蛮渡来に付き御 祈祷下知		3/5:2/5 の割合 で折っ てある		4-4-393~396
326	御柱人割帳			天明二壬寅 年二月吉日	1782	2		横帳	1	役分担	割り印			4-4-397~401
327	(檄文)			(天保七年)	1836			縦帳	1	大塩平八郎の檄			破れ	4-4-402~409
328	覚			(江戸時代) 午年十二月	1855	4		切紙	1	屏風一艘貸金の 利息に			虫食い	4-4-410
329	弓術稽古定書之事	守矢宮内他九		(安政ころ)	1584			折紙	1		上社社人 が連名		メモ	4-4-411~414

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
330	手扣	(神長官)	(藩)	(嘉永七年) 八月	1854	8		切紙	1	宗門證状の件御 尋ねに付				4-4-415
331	(書状)	松平上総介	神長官	二月	1868	2		折紙	1	御玉会礼状				4-4-416~417
332	(書状)	金子	守矢	六月十六日 文化十三丙 子年九月	1868	6	16	継紙	1	借金返済遅延に 付き詫状			虫食い	4-4-418~420
333	納帳				1816	9		横帳	1	年貢納帳	割り印		虫食い 裏打ち	4-4-421~475
334	(口上書)	(神長官)	(幕府)	十一月	1868	11		横帳	1	御年礼御用捨に 上社御宮番より誓 紙				4-4-476~479
335	指上申誓紙之事	清左衛門他一	五官中	延亨元甲子 年	1744			縦紙	1				メモ	4-4-480
336	指上申誓紙之事	御宮番要右衛門 他	五官中	明和四丁亥 年	1767			縦紙	1	上社御宮番より誓 紙		73-01と 同じ内 容		4-4-481
337	(覚書)		(神長官)	(文政ころ)	1820			切紙	1	太々神楽の飾付 け等と宮番問題	主殿・歌 之助の名 有り			4-4-482
338	(封書上書)				1803			切紙	1	大祝のやり方に付 き此の書面内々に 御覧下されたき旨		73- 08,73- 09関連 か		4-4-483
339	(覚書)	(神長官)			1868			切紙	1	諏訪大隅の召使 い懐妊問題		大隅 (頼本) は天明 元年大 祝とな		4-4-484~485
340	(覚書)				1803			折紙	1	諏訪内膳が神職を 取り上げられた経		73-04 関連	鉄痕	4-4-486~489
341	(通達)	本多長門守他二	諏訪因幡守	(文化ころ)三 月十八日	1804	3	18	折紙	1	神長官訴訟に付 奉行より指示				4-4-490~492
342	(覚書)	(神長官)			1803	2		折紙	1	大祝に対する批判		73-04 関連		4-4-493~496
343	(覚書)	(神長官)			1803	1		折紙	1	大祝に対する批判		73-04 関連		4-4-497~500
344	(覚書)	(神長官岩江)		(文化ころ)	1803			折紙	1	大祝に対する批判	下書	73-04 関連		4-4-501~504
345	證拠書	(神長官)			1818			折紙	1	宮番に関する申 達・誓紙等に付				4-4-505~508
346	(覚書)			(文政ころ)	1818			切紙	1	享保十七年の宮 番の仮役			破れか	4-4-509~510
347	(覚書)				1818			切紙	1	宮番を勤めた人の 名前			破れか	4-4-511

目録番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
348	差出申一札		神長官	安政二乙卯年十月	1855	10		継紙		山田新田より年貢納め			一枚の紙に継いである	6-1-36
349	(通達)			(文化ころ)十二月廿六日	1818	12	26	継紙	1	登城通達				4-5-512~514
350	宮番	(神長官)	(藩)		1818			継紙	1	元禄三年から文化六年まで宮番の出し方と名前				4-5-515~517
351	覚	諏方大祝	五官中	酉二月	1803	2		縦紙	1	大祝と五官中・寺方中の関係に付				4-5-518
352	(棟札写)			元和三年十一月吉日・元和六年十二月吉日	1617	11		切紙	1	上社御拝殿造立棟札		他一枚		4-5-519~520
353	口上覚	長坂掃部他四	山中牧太他二	文化十五戊寅年三月六	1818	3	6	継紙	1	上社宮番の件に付五官より口上書		73-11 関連		4-5-521~522
354	口上覚	守矢主殿他四	(郡奉行)	五月	1817	5		継紙	1	上社宮番の件に付			変則的な継ぎ方	4-5-523~533
355	書付			文政元戊寅年六月十二	1818	6	12	横帳	1	神長官家主要什物類書上				4-5-534~537
356	書付			文政元戊寅年六月十二日	1818	6	12	横帳	1	神長官家主要什物類書上		73-20と 同じ内容		4-5-538~541
357	(通達)	本長門守他二	諏訪大祝	六月十四日	1804	6	14	折紙	1	大祝永宣願に対する幕府申達				4-5-542~543
358	(書状)	諏訪因幡守	小笠原山城守他二	三月廿三日	1804	3	23	折紙	1	神長官訴訟に付き申渡		73-07 返信		4-5-544~545
359	口上			三日	2000		3	切紙	1	御書留相分からず候由				4-5-546
360	信濃国伊那郡大嶋郡名子村神護原鎮座諏訪神社	諏訪神長官守矢実顕	名子村諏訪神社	明治三十五年一月十三日	1902	1	13	縦帳	1	御符納証明書				4-5-547~549
361	(書状)	副祝 擬祝他三	御家老中	十一月吉日	1868	11		折紙	1	肥後守様へ進上の御玉会に付	花押			4-5-550~553
362	江戸出府規定之事	守矢宮内 守屋要人他三名		安政四丁巳年正月	1855	1		継紙	1	当番病気等の時の次番依頼規定	裏印 市文化財		包紙糊付けメ	4-5-554~558
363	覚	藤右衛門他十四	(神長官)	元禄十五年十月廿八日	1702	10	28	縦紙	1	不作の年の御頭御初尾に付			破れしみ虫食い	4-5-559
364	(永宣旨写)			永禄二年八月二日	1689	8	2	縦紙	1	正親町天皇の綸旨				4-5-560

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
364	(添状写)			永禄二年八月二日	1689	8	2	縦紙		万里小路輔房の添状			メモ	4-5-560
365	口上覚	五官中	諏方内膳	元禄十三庚辰年三月二	1700	3	2	切紙	1	掃除番に付			メモ	4-5-561
366	覚	副祝他四	諏訪大祝	寛文十二年十一月	1672	11		縦紙	1	寺社奉行所へ七ヶ条願に付			メモ	4-5-562
367	口上覚	守屋内記他四	諏訪大隅守	元禄三庚午年四月朔日	1690	4	1	縦紙	1	神前掃除番の勤め方			メモ	4-5-563
368	口上之覚	守屋内記他四	諏方大隅守	元禄三庚午年四月朔日	1690	4	1	縦紙	1	神前掃除番の勤め方		-07と同じ内容	メモ	4-5-564
369	(書状)	朝日千助	神長官	十二月	1843	12		折紙	1	出羽守への御玉会礼状	花押	天保以後か		4-5-565~566
370	(書状)	座光寺為邑	神長官	十二月	1868	12		折紙	1	御玉会拝受				4-5-567~568
371	(書状)	副祝 擬祝他三	御家老中	十一月吉日	1868	11		折紙	1	肥後守様進上の御玉会に付	花押 朱印	15-01と同じ内容		4-5-569~572
372	(書状)	座光寺為邑	神長官		1868			折紙	1	御玉会拝受		15-10と同じ内容年度が異なるか		4-5-573~574
373	(書状)	内藤与兵衛 星野宇左衛門他三	守矢宮内	正月朔日	1868	1	1	切紙	1	御祈祷の儀今後飛脚を以て		安政以降		4-5-575~576
374	(書状)	垂水伊織	神長	十一月	1868	11		折紙	1	出羽守への御玉会礼状	花押	-09と同じ内容	メモ	4-5-577~578
375	(書状)	赤木文左衛門	神長官	十一月	1868	11		折紙	1	出羽守への御玉会礼状	花押	-09と同じ内容		4-5-579~580
376	(書状)	内藤与兵衛 星野宇左衛門他三名	守矢宮内	正月朔日	1868	1	1	折紙	1	御祈祷依頼	花押	-13と同じ内容安政以降		4-5-581~583
377	初伝				1865			横半帳	1	壱韻・言霊・枕詞等の解説				4-5-584~623
378	(書状)	副祝他四	諏方大祝	(江戸時代)十一月廿五	1855	3	25	折紙	1	「物忌令」を認め進上				5-1-1~4
379	(書状)	諏因幡守忠晴	諏方大隅守	四月十日	1690	4	10	切紙	1	安芸守婚礼調いに付礼状	花押	元禄初		5-1-5~6
380	東武公務覚書				1637			縦帳	1	五官出府覚書	(安永以前が主)		破れ 虫食い	5-1-7~41

目録番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
381	江戸表勤番之留				1645			横帳	1	出府覚書	市文化財 (安永以前が主)			5-1-42~73
382	差上申御請書之事	御本社世話人宮坂甚兵衛 宮坂丞右衛門他二名	上之御社御奉行所	天保三壬辰年六月	1832	6		継紙	1	御本社建替請書	裏印		破れ	5-1-74~77
383	(書状)	神長官守矢主殿 権祝矢嶋左京他一名		天保七丙申年三月	1836	3		継紙	1	本社再建寄付金の集め方に付	花押 朱印		破れ	5-1-78~83
383	(書状)	神宮寺村名主鮎沢久三郎 年寄今井源助他二名		天保七丙申年三月	1836	3		継紙		本社再建寄付金の集め方に付				5-1-84~89
384	乍恐奉願上口上書之御事	大和村甚兵衛 猶右衛門他二名	一ノ宮御奉行所	天保三壬辰年四月	1832	4		継紙	1	本社再建造営願棟上済みに付御神酒差上	裏印			5-1-90~92
385	口上扣	守矢主殿 矢嶋左京	(藩)	(天保三年)	1832			切紙	1				穴	5-1-93~94
386	奉願口上覚	守矢主殿 矢嶋左京		(天保三年)辰三月	1832	3		継紙	1	拝殿建替願	改朱印	袋入り		5-1-95~102
386	奉願口上覚	守矢主殿 矢嶋左京		天保三年辰三月	1832	3		継紙		建て方に付き尋ねの返答		袋入り (拝殿建替)		5-1-103~106
386	(通達)	百瀬庄兵衛 工藤三助	守矢主殿 矢嶋左京	(天保三年)三月八日	1832	3	8	継紙		寛政四年以前の宮絵地図を差出す				5-1-107~109
386	(書状)	守矢主殿 矢嶋左京	百瀬庄兵衛 工藤三助	(天保三年)三月八日	1832	3	8	継紙		絵地図相無候				5-1-110~112
386	(通達)	両角市郎右衛門 中川瀬左衛門	守矢主殿 矢嶋左京	(天保三年)三月五日	1832	3	5	継紙		三月六日のは延びたらしい				5-1-117~119
386	(通達)	百瀬庄兵衛	矢嶋左京 伊藤主膳	(天保三年)四月四日	1832	4	4	継紙		藩へ出向くよう				5-1-113~114
386	(覚)	百瀬庄兵衛	矢嶋左京 伊藤主膳	(天保三年)四月五日	1832	4	5	継紙		藩より実地見聞に来るので				5-1-115~116
386	(書状)	守矢主殿 矢嶋左京	両角市郎右衛門 中川瀬左衛門	(天保三年)四月五日	1832	4	5	継紙		四月五日六日の見聞承知しました				5-1-120~122
386	(通達)	百瀬庄兵衛 工藤三助他一名	守矢主殿 矢嶋左京	(天保三年)四月廿日	1832	4	20	継紙		登城通達				5-1-123~124
386	奉願口上覚	(藩)	守矢主殿 矢嶋左京	(天保三年)四月	1832	4		継紙		建替許可の申渡し				5-1-125~128
386	(使口上)	宮奉行	立川和四郎 伊藤傳蔵他一名	(天保三年)五月廿九日	1832	5	29	継紙		世話人交替に付				5-1-129

目録番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
386	(覚)			(天保三年)	1832			継紙		今後神楽殿世話人交替				5-1-129
387	御請書之事	宮坂九郎右衛門 宮坂甚兵衛他三名	御宮御奉行所	天保四癸巳年五月	1833	5		継紙	1		裏印			5-1-130~132
388	覚	白木屋作右衛門	袴屋徳太郎	(天保三年)二月晦日	1832	2	28	継紙	1	生地代請求書				5-1-133
389	宮田渡焼失二付留書	(守矢主殿)		文政十三甲寅年七月九	1830	7	9	横帳	1	焼失後復旧の為の材木確保		袋入り	メモ	5-1-134~150
390	(通達)	諏訪八之進 千野弥太郎	守矢岩江	(文化五年)二月廿三日	1808	2	23	継紙	1	申し達する儀有り			修正液痕	5-1-151~153
391	(書状)	守矢岩江	諏訪八之進 千野弥太郎	(文化五年)二月廿三日	1808	2	23	継紙	1	罷出べき旨承知		78-02返書		5-1-154~156
392	(書状)	守矢岩江 伊藤縫殿	久保嶋平左衛門	(文化五年)四月廿七日	1808	4	27	切紙	1	御用之儀承知		78-05返書		5-2-157~158
393	(通達)	久保嶋平左衛門	守矢岩江 伊藤継殿	(文化五年)四月廿七日	1808	4	26	継紙	1	御用之儀有に付				5-2-159~160
394	(書状)	柴田権之助	守屋岩江	(文化五年)五月廿四日	1808	5	24	継紙	1	郡方へ差出た口上書書き直し			しみ	5-2-161~164
395	(書状)	守矢主殿	山中牧太	十一月廿一日	1818	11	21	切紙	1	御書付拝見		78-08返書 文化ころ		5-2-165~166
396	(通達)	山中牧太	守矢主殿	十一月廿一日	1818	11	20	継紙	1	登城通達		文化ころ	虫食い	5-2-167~169
397	(書状)	守矢岩江 伊藤縫殿	(藩)	(文化五年)閏六月	1808	6		継紙	1	神道葬祭免許返上願				5-2-170~17
398	(通達)	諏訪八之進 山中牧太	守矢岩江 伊藤縫殿	(文化五年)四月廿一日	1808	4	21	継紙	1	申し達する儀有				5-2-176~178
399	(通達)	志賀初左衛門	守矢主殿	十一月十日	1867	11	10	切紙	1	登城通達		78-12と一連 文政ころ		5-2-179~180
400	(通達)	両角久兵衛	志賀初右衛門	十一月十日	1867	11	10	切紙	1	登城通達		文政ころ		5-2-181
401	(書状)	志賀初右衛門	守矢主殿	十一月	1806	11		切紙	1	外様勤め仰せ付けられに付吹聴		文化ころ	破れ	5-2-182~183
402	(通達)	千野弥太郎 山中牧太	守矢岩江 伊藤縫殿	(文化六年)十一月廿六	1809	11	26	継紙	1	登城通達				5-2-184~186
403	口上覚	守矢岩江	諏方八之進 山中牧太	(文化五年)閏六月四日	1808	6	4	継紙	1	不快に付き倅主殿名代願	裏印			5-2-187~190

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
404	差上申一札之事			寛政十二申 年四月廿七	1800	4	27	継紙	1	甲州の神道葬祭 の例				5-2-191~195
405	神葬御書抜 巻巻	実延		文化四丁卯 年二月廿二	1807	2	22	縦帳	1	諸国神主の神道 葬祭				5-2-196~202
406	差上申切支丹證文之 事	輿石土佐守	野田松三郎	文化四丁卯 年三月	1807	3		縦紙	1	輿石土佐守の宗 門改めの証文				5-2-203
407	上木納覚帳			延享二乙丑 年十二月吉	1745	12		横帳	1	山田新田から神長 官へ上木納覚		79-00 袋		5-2-204~210
408	上木帳			宝曆二壬申 年十一月吉	1752	11		横帳	1	山田新田から神長 官へ上木納覚			しみ 穴	5-2-211~222
409	上木納牒			安永七戊戌 年十一月吉	1778	11		横帳	1	山田新田から神長 官へ上木納め覚			折れ 破 れ	5-2-223~232
410	上木納牒			天明五甲辰 年十月廿八	1785	10	28	横帳	1	山田新田から神長 官へ上木納め覚	甲辰は天 明四年			5-2-233~237
411	上木納帳			寛政十戊午 年十月吉日	1798	10		横帳	1	山田新田から神長 官へ上木納覚				5-2-238~242
412	上木納帳			寛政十一己 未年十二月	1799	12		横帳	1	山田新田から神長 官へ上木納覚				5-2-243~247
413	上木納帳			寛政二庚戌 年十二月吉	1790	12		縦帳	1	山田新田から神長 官へ上木納覚				5-2-248~252
414	無風古渡里 上				1868			横半 帳	1	鳥の餌のこしらえ 方		江戸期	三冊合 冊	5-2-253~267
414	諸鳥餌飼百千鳥				1868			横半 帳	1	鳥の飼い方病氣 の治療法		江戸期	三冊合 冊	5-2-267~278
414	喚子鳥 巻之下				1868			横半 帳	1	餌の与え方		江戸期	三冊合 冊	5-2-278~287
415	御宝物劔類并諸品扣			明治三庚午 年五月四日	1870	5	4	横帳	1				メモ	5-2-288~316
416	御宝物牒			延宝九辛酉 年正月廿八	1681	1	28	横半 帳	1	上社御宝物				5-3-317~349
417	口上覚	伊藤縫殿 守矢 岩江	諏方八之進 山中牧太	(文化五年) 閏六月	1808	6		継紙	1	口上書御下げ渡 願		83-00 袋		5-3-350~354
418	奉願口上書	伊藤縫殿 守矢 岩江他一	諏方八之進 千野弥太郎	文化六己巳 年二月廿六	1809	2	26	継紙	1	神道葬祭免許願 下げに付				5-3-355~357
419	(書状)	伊藤縫殿 守矢 岩江	宮川弾正	(文化四年) 三月廿日	1807	3	20	継紙	1	神道葬祭式相伝 許容願				5-3-358~360
420	(書状)	伊藤縫殿 守矢 岩江	宮川弾正	(文化五年)	1808			折紙	1	神道葬祭日延願 に付		大内介 関連		5-3-361~362
421	口上覚	守矢主殿	(藩)	(文化六年) 巳四月廿六 日	1809	4	26	継紙	1	神道葬祭願下げ に付		主殿は 岩江名 代		5-3-363~369

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
422	(書状)	宮川弾正	守矢岩江 伊藤縫殿	(文化四年) 十二月十日	1807	12	10	継紙	1	神道葬祭願書差 出し御礼金落手				5-3-370~372
423	覚	(宮川弾正)	(守矢氏)	(文化ころ)	1810	1		折紙	1	東照宮を勧請して いる大名の書上げ		83-08 へ続く		5-3-373~374
424	(覚)	宮川弾正	(守矢氏)	(文化ころ)	1810	2		折紙	1	東照宮を勧請して いる大名の書上げ		83-07 の続き		5-3-375
425	(断簡)	(守矢岩江)		(文化五年) 戌辰正月	1808	1		折紙	1	神道葬祭に付 法華寺との掛合に 付				5-3-376
425	(書状)	守矢岩江	(藩)	(文化五年)	1808			折紙						5-3-377
426	(書状)	伊藤縫殿 守矢 岩江	宮川弾正	(文化五年) 十二月三日	1808	12	3	継紙	1	御日延の儀に付 法華寺一件の取 扱いに付		83-04と 同じ内 容		5-3-378~382
427	(書状)	柴田権之助	守屋岩江	(文化五年) 八月三日	1808	8	3	継紙	1	御朱印の儀叶い 難き旨				5-3-383~386
428	(書状)	諏訪出雲守	神長官他四	霜月十八日	1869	11	18	折紙	1	神長官訴訟の儀 旧例を用いるよう				5-3-387~388
429	(通達)	小笠原山城守他 二	諏方因幡守	三月十八日	1804	3	18	折紙	1	先の通達の通り申 渡し候		83-13- ①の返 書		5-3-389
429	(書状)	諏訪因幡守	小笠原山城 守他二	三月廿三日	1804	3	23	折紙						
430	奉願	守矢岩江 諏訪 大祝	御本所御役 人	文化四丁卯 年六月廿日	1807	6	20	継紙	1	神道葬祭御相伝 願	市文化財	84-00 袋		5-3-391~395
431	口上書覚	守矢岩江	御本所御役 人	文化四丁卯 年六月廿日	1807	6	20	継紙	1	神道葬祭願出の 理由		84-01と 一緒に 差出た 物		5-3-396~398
432	(口上書)	守矢岩江 伊藤 縫殿	(藩)	(文化五年) 閏六月	1808	6		継紙	1	葬祭免許返納願 に付指示				5-3-399~401
433	(書状)	(藩)	守矢岩江	(文化五年)	1808	6		継紙	1	葬祭免許返納願 に付指示		84-03- ①関連		5-3-399~401
434	口上覚	守矢主殿	(藩)	(文化六年) 巳五月十五	1809	5	15	切紙	1	日延の儀差出した 書面は別紙の通り				5-3-402
435	(書状)	山中牧太 諏訪 八之進	鈴鹿筑後守 鈴鹿河内守 他一名	(文化五年) 三月十八日	1808			折紙	1	岩江が神職として 事済みにできる旨 承知				5-3-403~404
436	口上覚	守矢主殿	(藩)	(文化六年) 巳四月廿七 日	1809	4	27	継紙	1	神道葬祭願下げ に付		83-05と 同じ内 容		5-3-405~410

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
437	(覚)	(守矢岩江)		(文化五年)	1808			継紙	1	葬祭免許一件の 内容箇条書き		84-10 の下書		5-3-411~413
438	口上覚	矢嶋左京	(藩)	(文化七年) 三月十三日	1810	3	13	切紙	1	岩江母死去、取置 如何		岩江母 文化七 年死		5-3-414
439	(書状)	山中牧太 千野 儀太郎	鈴鹿筑後守 鈴鹿河内守 他一名	(文化五年) 五月八日	1808	5	8	継紙	1	親子正統の者神 道祭免許に付		84-05 関連		5-3-415~417
440	口上覚	守矢岩江 伊藤 縫殿	(藩)	(文化五年) 閏六月十一 日	1808	6	11	継紙	1	葬祭免許に付き一 部始終		84-07 の箇条 書きに よる		5-3-418~424
441	(口上覚)	守矢岩江 伊藤 縫殿	(藩)	(文化五年) 四月	1808	4		継紙	1	神道葬祭に対する 藩の指示に付				5-3-425~427
442	口上覚	(守矢岩江)	(藩)	(文化五年) 五月七日	1808	5	7	継紙	1	神道葬祭の件を大 内介殿へ届けるに 付				5-3-428~430
443	(口上申聞)	吉田式部左衛門	守矢岩江 伊藤縫殿	(文化五年)	1808			継紙	1	願出の仕方が不 埒に付		86-22と 同じ内 容		5-3-431~435
444	奉願口上覚	伊藤縫殿 守矢 岩江	諏方歌之助	(文化五年) 年閏月日	1808			継紙	1	宗門請合御礼禄 金拝借に付		85-00- 1袋 85-00- 2包紙 (仮免 許)		5-3-436~442
445	不幸之節取定之事	守矢宮内 守屋 要人他三		慶応元乙丑 年六月	1865	6		縦紙	1	五官間の不幸に 付取定				5-3-443
446	一札	守矢主殿	諏訪郡左衛 門	辰二月	1785	2		縦紙	1	諏方大隅守舎弟を 養子に申受ける件		天明こ ろ		5-3-444
447	指出シ申一札之事	小沢沢名主長右 衛門	高部村惣左 衛門	明和七寅年 六月	1770	6		縦紙	1	当村所生長兵衛 神人に成りたき旨				5-3-445
448	正月十四日於京都表 御達之御書付写人相	刑法官 行政官		(明治二年)	1869	1		継紙	1	横井小楠暗殺犯 人手配書				5-3-446~449
449	一札	小町屋村惣代庄 兵衛 甚右衛門 他一名	守矢主殿	天保四癸卯 年六月	1843	6		継紙	1	拾間廊床下棹出 入に付				5-3-450
450	権祝 能登守正六位下 任官叙爵之次第				1865			継紙	1	任官叙爵の時朝 廷に於ける手続き				5-3-451~453
451	奉願口上覚	上笹尾村今井貢	神長官	明治三年六 月十三日	1870	6	13	継紙	1	祭典向神録の式 の相伝願				5-3-454~457

目録番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
452	一礼	金沢町山之神辰之助他1名	小池惣左衛門	文化三丙寅年八月	1806	8		縦紙	1	山の神職分解役目替りに付				5-3-458
453	乍恐以書付奉願上候	下市田村権左衛門 金左衛門	神長官	萬延元庚申年四月	1860	4		縦紙	1	権左衛門病気に付き神人職免許願				5-3-459
454	奉願上口之覚	小池甚左衛門	矢嶋杉之丞	安政六己未年四月	1859	4		縦紙	1	神長官家来の家督相続願				5-3-460
455	差出し申一礼之事	下市他物庄屋六左衛門	神長官	萬延元申年	1860			縦紙	1	権左衛門の心願に付き庄屋の身分証明				5-3-461
456	乍恐奉願上口上之御事	糸萱新田一類惣代利右衛門 年寄伴右衛門他二	神長官御役人中	安政六己未年正月	1859	1		縦紙	1	御神銚免許願				5-3-462
457	口上書覚	南熊井村受人弥市右衛門 一類茂市郎他一	矢嶋杉之丞	文久元辛酉年十一月	1861	11		縦紙	1	御神銚伝授の礼と誓約書				5-3-463
458	一礼	上場沢新田一類惣代値三郎 年寄仲右衛門他一	神長官	明治二年己巳年三月	1869	3		縦紙	1	御神銚免許願				5-3-464
459	奉願上口上覚	笹原新田願人常五郎 一類惣代三郎右衛門他二	神長官御役人中	天保九戊戌年二月	1838	2		縦紙	1	御神銚免許願				5-3-465
460	奉願一礼之事	木間村一類惣代弥右衛門 同断弥兵衛他一	神長官御役人中	慶応三丁卯年二月	1867	2		縦紙	1	御神銚免許願				5-3-466
461	奉願一礼之事	木間村一類惣代藤助 同断有左衛門他一	神長官御役人中	慶応三丁卯年二月	1867	2		縦紙	1	御神銚免許願				5-3-467
462	奉願上申上覚	横吹新田願人清兵衛 一類惣代半左衛門他二	神長官御役人中	嘉永六年十一月	1853	11		縦紙	1	御神銚免許願				5-3-468
463	一礼	須栗平新田一類惣代熊蔵 年寄元右衛門	神長官御役人中	明治三辛未年二月	1870	2		縦紙	1	御神銚免許願				5-3-469
464	奉願上口上覚	□□□村一類惣代愛之丞 年寄□□他一	神長官御役人中	安政六己未年十一月	1859	11		縦紙	1	御神銚免許願				5-3-470
465	奉願一礼之事	本人条左衛門 一類久作他二	神長官	慶応二丙寅年十月	1866	10		縦紙	1	御神銚免許願				5-4-471
466	一礼	堀新田一類惣代吉左衛門 年寄勝左衛門他一	神長官 御役人中	安政六己未年	1859			縦紙	1	御神銚免許願				5-4-472

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
467	一札	一類惣代権右衛門年寄孫兵衛他二	神長官 御役人中	慶応三丁卯年四月	1867	4		縦紙	1	御神鉾免許願				5-4-473
468	奉願上口上覚	瀬沢村一類惣代百蔵年寄嘉兵衛他一	神長官 御役人中	安政七庚申年三月十六日	1860	3	16	縦紙	1	御神鉾免許願				5-4-474
469	奉願上口上覚	上古田村一類惣代作蔵年寄吉蔵他一	神長官 御役人中	安政六己未年二月	1859	2		縦紙	1	御神鉾免許願				5-4-475
470	一札	埴原田一類惣代弥丞右衛門年寄藤右衛門	神長官 御役人中	明治二己巳年四月	1869	4		縦紙	1	御神鉾免許願				5-4-476
471	奉願上一札之御事	瀬沢村受人猶右衛門同断碩右衛門他一	神長官 御役人中	慶応元乙丑年極月	1865	12		縦紙	1	御神鉾免許御礼				5-4-477
472	奉願上口上書御事	百瀬六兵衛	矢嶋杉之丞	安政三丙辰年七月	1855	7		縦紙	1	不快に付き俵へ引替願				5-4-478
473	奉願上口上書之御事	百瀬玉蔵	矢嶋杉之丞	慶応三丁卯年五月	1867	5		縦紙	1	番代菊三郎不快に付き私へ				5-4-479
474	一札	尾之子村一類惣代菊右衛門年寄鹿右衛門他一	神長官御役人中	慶応四戊辰年二月	1868	2		縦紙	1	御神鉾免許願				5-4-480
475	奉願上候一札之事	下市田村庄屋六左衛門	神長官御役人中	万延元申年四月	1860	4		縦紙	1	御神鉾免許願				5-4-481
476	奉願御事	柿野沢村名主伊平次組頭奎兵衛他一名	神長官	延享二丑年三月十五日	1745	3	15	縦紙	1	宮之内但馬世倅官名願				5-4-482
477	奉願上口上之御事	立沢村一類惣代四郎兵衛年寄九郎次他五	神長官御役人中	元治二乙丑年三月	1865	3		縦紙	1	御神鉾免許願				5-4-483
478	一札	池袋村本人伝兵衛証人伊右衛	神長官	享保十七壬子年九月三	1732	9	3	切紙	1	伝兵衛の身元引請				5-4-484~485
479	御引請一札之事	御射山神戸村請人長右衛門他一	神長官御役人中	文久三癸亥年八月	1863	8		縦紙	1	太々神楽取勸出役三重郎の身元				5-4-486
480	(免許状)	神長官神実頭	(市田村権左衛門)	万延元庚申年四月	1860	4		縦紙	1	神鉾免許				5-4-487
481	(免許状)	神長官神実頭	山寺村(小松八蔵)	万延元庚申年十月十五	1860	10	15	切紙	1	当家神拝の節帯刀免許				5-4-488

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
482	一札	白井出新田一類 園右衛門 百姓 代古役民右衛門 他一	神長官御役 人中	明治三庚申 年二月	1870	2		縦紙	1	御神銚免許願				5-4-489
483	奉願上口上書之御事	堀新田願人覚右 衛門 一類久五	神長官内細 野桑之助	文化十三丙 子年六月廿	1816	6	29	縦紙	1	御神銚免許願				5-4-490
484	奉願上口上之御事	当人牧右衛門 一類惣代浅吉他	神長官内矢 嶋杉之丞	安政五戊午 年九月十一	1858	9	11	縦紙	1	御神銚免許に付き 身元引請				5-4-491
485	乍恐奉願上口上書覚	高森村願主兵部 年寄殿右衛門他 四	神長官内細 野桑之助	文化十三丙 子正月	1816	1		継紙		吉田家より烏帽子 狩衣御免許願				5-4-493
485	乍恐奉願上口上書覚	高森村願主兵部 年寄他一	御奉行所	文化十二乙 亥年十二月	1815	12		継紙	1	吉田家より烏帽子 狩衣御免許願				5-4-492
486	奉願口上之覚	守矢主殿(実友)	諏方大祝	(天明八年) 十一月十四 日	1788	11	14	切紙	1	倅岩江へ家督相 続願		27-04と 同じ、こ の主殿 は実友		5-4-494
487	奉願上口上覚	瀬沢村一類惣代 傳兵衛 一類惣 代清吉他五	神長官御役 人中	安政六己未 年十一月	1859	11		継紙	1	御神銚免許願				5-4-495~497
488	(書状)	原源右衛門 羽 生与兵衛	神長官御役 人	三月六日	2000	3	6	折紙	1	伊奈郡の神主より 名前頂戴願				5-4-498~499
489	(免許状)	諏方宮神長官神 実顕	(塩沢村伴 右衛門妻)	安政六己未 年四月十五	1859	4	15	縦紙	1	神銚免許				5-4-500~501
490	以書付御届申上候覚	守矢岩江 伊藤 縫殿	御本所御出 役東宮大内 介	文化七庚午 年五月	1810	5		継紙	1	神道葬祭証状返 書届に付		86-00 袋「神 道葬祭 書附数 通入」		5-4-502~506
491	口上書覚	守矢岩江	(藩)	文化四丁卯 年四月	1807	4		継紙	1	神道葬祭願	正式願書 前の口上 書			5-4-507~515
492	奉願	神長官守矢岩江	御本所御役 人	文化四丁卯 年六月廿日	1807	6	20	継紙	1	神道葬祭御相伝 願		84-01と 同じ内 容		5-4-516~518
493	口上書(請書)	伊藤縫殿 守矢 岩江	諏訪八之進 千野弥太郎	文化六己巳 年三月廿二	1809	3	22	継紙	1	神道葬祭免許願 下げ請書				5-4-519~520
494	口上覚	(大祝)諏方歌之 助	(藩)	(文化五)戊 辰二月廿六	1808	2	26	継紙	1	神道葬祭免許願 手続筋違いに付				5-4-521~526

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
495	(申達し)	(藩)	神長官守矢 岩江 擬祝 伊藤縫殿	(文化五年) 四月	1808	4		継紙	1	葬祭免許受けに 対する申達し				5-4-527~533
496	内済取替一札之事	暖人花岡市之進 本人伊藤縫殿他 一	法華寺 安 国寺他一	文化六己巳 年七月十五 日	1809	7	15	継紙	1	岩江・縫殿、法華 寺との転位金に付 き内済一札				5-4-534~539
497	(覚)	(藩の用人)	(守矢主殿)	(文化七年)	1810	7		継紙	1	守矢主殿家督相 続許し				5-4-540~542
498	(申達し)	(藩)	神長官守矢 岩江 擬祝 伊藤縫殿	(文化五年) 四月	1808	4		継紙	1	葬祭免許受けに 対する申し達		86-06と 同じ内 容		5-4-543~549
499	(書状)	法華寺	守矢岩江 伊藤縫殿	(文化五年) 三月二日	1808	3	2	継紙	1	各々様この度神道 葬祭免許の由	起請文継 ぎ			5-4-550~554
500	(書状)	守矢岩江 伊藤 縫殿	諏訪八之進 山中牧太	(文化五年) 三月十日	1808	3	10	切紙	1	明十一日は祭祀 のため名代				5-4-555
501	(書状)	諏訪八之進 山 中牧太	守矢岩江 伊藤縫殿	(文化五年) 三月十日	1808	3	10	継紙	1	登城通達				5-4-556~559
502	口上覚	伊藤縫殿 守矢 岩江	諏訪八之進 千野弥太郎	(文化六年) 巳二月廿五	1809	2	25	継紙	1	神道葬祭に付藩 からの質問へ返答				5-4-560~563
503	以書付御届申上候覚	神長官守矢岩江 擬祝伊藤縫殿	諏訪八之進 山中牧太	(文化五年) 戊辰二月晦	1808	2	28	継紙	1	今後自分印形にて 神道葬祭仕る				5-4-564~568
504	以書付御届申上候覚	守矢岩江 伊藤 縫殿	吉田式部左 衛門	(文化五年) 戊辰二月廿 五日	1808	2	25	継紙	1	今後自分印形にて 神道葬祭仕る		86-14と 同じ内 容		5-4-569~572
505	口上覚	伊藤縫殿 守矢 岩江	諏訪八之進 山中牧太	(文化五年) 辰三月十三	1808	3	13	継紙	1	寺請札日延願				5-4-573~581
506	下書(書状)	守矢岩江 伊藤 縫殿	法花寺	(文化五年) 二月廿四日	1808	2	24	継紙	1	自分印形にて家内 一統神道葬祭致し ます				5-4-582~586
507	(口上書)	守矢岩江 伊藤 縫殿	(藩)	(文化六年) 巳五月	1809	5		継紙	1	葬祭免許願下げ に付宮川弾正会 見内容				5-4-587~601
508	口上覚	守矢岩江 伊藤 縫殿	諏訪八之進 山中牧太	(文化五年) 三月五日	1808	3	5	継紙	1	神道葬祭免許一 件の委細				5-4-602~616
509	内済取替一札之事	江音寺 安国寺 他一	守矢岩江 伊藤縫殿他 一名	文化六己巳 年七月十五 日	1809	7	15	継紙	1	岩江・縫殿、法華 寺との転位金に付 き内済一札		86-07と 同じ内 容		6-1-1~6
510	御尋二付申上候事	伊藤縫殿 守矢 岩江代守矢主殿	御本所役所	文化六年五 月十四日	1809	5	14	継紙	1	神道葬祭免許に 付き吉田家より御 尋の返事日延願				6-1-7~13

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
511	口上覚	(吉田式部左衛門)	(守矢岩江伊藤縫殿)	(文化五年)	1808			継紙	1	願出の仕方が不埒に付		86-22と同じ内容		6-1-14~18
512	(申達)	諏訪八之進 山中牧太	守矢岩江伊藤縫殿	(文化五年)三月三日	1808	3	3	継紙	1	登城通達				6-1-19~21
513	口上手扣	(土橋主税)	(久保嶋平左衛門)	文化七庚午年八月	1810	8	20	継紙	1	岩江と縫殿跡目相続届に付伺い				6-1-22~25
514	(口上書断簡)	守矢岩江		文化四丁卯年四月	1807	4		継紙	1	神道葬祭願断簡		86-02の前欠		6-1-26~28
515	差出一札	吉之丞	神長官	嘉永元戊申年十二月二日	1848	12	2	継紙	1	山田新田より年貢納め		87-00袋「山田新田神之原村工納入」	一枚の紙に継いでである	6-1-29~31
516	差出一札	庄吉	神長官	嘉永二己酉年十一月	1849	11		継紙		山田新田より年貢納め			一枚の紙に継いでである	6-1-31~32
517	一札	又七	神長官	嘉永三庚戌年十二月	1850	12		継紙		山田新田より年貢納め			一枚の紙に継いでである	6-1-32~33
518	一札	次郎兵衛	神長官	嘉永四辛亥年十一月	1851	11		継紙		山田新田より年貢納め			一枚の紙に継いでである	6-1-33~34
519	一札	丑蔵	神長官	嘉永五壬子年十一月	1852	11		継紙		山田新田より年貢納め			一枚の紙に継いでである	6-1-34
520	差出申一札	喜太郎	神長官	嘉永六癸丑年十一月	1853	11		継紙		山田新田より年貢納め			一枚の紙に継いでである	6-1-35
521	一札	勇吉	神長官	安政元甲寅年十一月	1854	11		継紙		山田新田より年貢納め			一枚の紙に継いでである	6-1-35~36
522	一札	房八	神長官	安政三丙辰年十一月十六日	1856	11	16	継紙		山田新田より年貢納め			一枚の紙に継いでである	6-1-36~37
523	差出一札	徳蔵	神長官	安政四丁巳年十月	1857	10		継紙		山田新田より年貢納め			一枚の紙に継いでである	6-1-37~39

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
524	差出一札	久左衛門	神長官	安政五戊午 年十一月	1858	11		継紙		山田新田より年貢 納め			一枚の 紙に継 いである	6-1-39~40
525	一札	久左衛門	神長官	安政五戊午 年十月	1858	10		継紙		山田新田より年貢 納め			一枚の 紙に継 いである	6-1-40~41
526	差出一札	彦四郎	神長官	安政六己未 年十一月十 九日	1859	11	19	継紙		山田新田より年貢 納め			一枚の 紙に継 いである	6-1-41~42
527	差出一札	茂左衛門	神長官	萬延元庚申 年十一月	1860	11		継紙		山田新田より年貢 納め			一枚の 紙に継 いである	6-1-42~43
528	一札	辰蔵	神長官	文久元辛酉 年十一月	1861	11		継紙		山田新田より年貢 納め			一枚の 紙に継 いである	6-1-43
529	差出し一札	次郎右衛門	神長官	文久二壬戌 年十月廿九 日	1862	10	29	継紙		山田新田より年貢 納め			一枚の 紙に継 いである	6-1-43~44
530	差出し一札	金左衛門	神長官	文久三癸亥 年十一月	1863	11		継紙		山田新田より年貢 納め			一枚の 紙に継 いである	6-1-44
531	差出し一札	庄吉	神長官	元治元甲子 年十一月	1864	11		継紙		山田新田より年貢 納め			一枚の 紙に継 いである	6-1-44~45
532	差出一札	吉五郎	神長官	慶応元乙丑 年十一月	1865	11		継紙		山田新田より年貢 納め			一枚の 紙に継 いである	6-1-45~46
533	差出一札	長五郎	神長官	慶応二丙寅 年十一月	1866	11		継紙		山田新田より年貢 納め			一枚の 紙に継 いである	6-1-46
534	一札	利左衛門 左助 他二名	神長官	慶応二丙寅 年十月	1866	10		継紙		山田新田より年貢 納め			一枚の 紙に継 いである	6-1-46~48
535	一札	伴右衛門	神長官	慶応三丁卯 年十一月	1867	11		継紙		山田新田より年貢 納め			一枚の 紙に継 いである	6-1-48
536	御年貢指出	名主忠兵衛 同 佐兵衛他二名	主税	宝永元甲申 年十二月	1704	12		継紙	1	山田新田より年貢 納め			一枚の 紙に継 いである	6-1-49~50

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
537	御年貢指出	名主平右衛門 同断庄左衛門	神長官	元文元丙辰 年八月十二 日	1736	8	12	継紙		山田新田より年貢 納め			一枚の 紙に継 いである	6-1-50~52
538	御年貢差出し覚	名主幸門 同断 仙左衛門	神長官	明和三丙戊 年二月晦日	1766	2	28	継紙		山田新田より年貢 納め			一枚の 紙に継 いである	6-1-52~53
539	御年貢差出し覚	名主富左衛門 同断幸門	神長官	安永二癸巳 年十月	1773	10		継紙		山田新田より年貢 納め			一枚の 紙に継 いである	6-1-53~55
540	覚	名主浅右衛門 同断仙左衛門	神長官	安永四閏乙 未年十二月	1775	12		継紙		山田新田より年貢 納め			一枚の 紙に継 いである	6-1-55~56
541	覚	年寄宗八 同断 米左衛門他二名	神長官	天明六丙午 年十月	1786	10		継紙		山田新田より年貢 納め			一枚の 紙に継 いである	6-1-56~57
542	覚	名主林左衛門	神長官	(文化元年) 甲子十月十 八日	1804	10	18	継紙		山田新田より年貢 納め			一枚の 紙に継 いである	6-1-57~58
543	御年貢指出覚	名主次郎左衛門 同断与三郎	守矢神長官	寛政四壬子 年二月	1792	2		継紙		山田新田より年貢 納め			一枚の 紙に継 いである	6-1-58~60
544	御上納覚	年寄吉兵衛 同 断次郎右衛門	神長官	文化三丙寅 年十二月	1806	12		継紙		山田新田より年貢 納め			一枚の 紙に継 いである	6-1-60~62
545	一札	年寄吉左衛門 同断久七他二名	神長官	文化五戊辰 十月	1808	10		継紙		山田新田より年貢 納め			一枚の 紙に継 いである	6-1-62
546	一札	名主藤吉	神長官	文化六己巳 年十月	1809	10		継紙		山田新田より年貢 納め			一枚の 紙に継 いである	6-1-62~63
547	覚	名主幸右衛門	神長官	文化七庚午 十月廿八日	1810	10	28	継紙		山田新田より年貢 納め			一枚の 紙に継 いである	6-1-63
548	一札	名主与右衛門	神長官	文化十癸酉 年十月	1813	10		継紙		山田新田より年貢 納め			一枚の 紙に継 いである	6-1-63
549	一札	名主七左衛門	神長官	文化十三丙 子年十月	1816	10		継紙		山田新田より年貢 納め			一枚の 紙に継 いである	6-1-64

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
550	一札	名主八五郎	神長官	天保四癸巳 年十月	1833	10		継紙		山田新田より年貢 納め			一枚の 紙に継 いである	6-1-64~65
551	一札	名主丑蔵	神長官	天保六乙未 年十月	1835	10		継紙		山田新田より年貢 納め			一枚の 紙に継 いである	6-1-65~67
552	一札	年寄三之丞 同 断梅蔵他二名	神長官	天保七丙申 年十月	1836	10		継紙		山田新田より年貢 納め			一枚の 紙に継 いである	6-1-67~68
553	(一札)	名主治右衛門	神長官	天保八丁酉 十二月	1837	12		継紙		山田新田より年貢 納め			一枚の 紙に継 いである	6-1-68~69
554	癸巳御検地指出覚	年寄奥左衛門 同断惣兵衛他二 名	神長官	安永五丙申 年十二月十 一日	1776	12	11	継紙	1	神之原村より物成 差出し	市文化財		一枚の 紙に継 いである	6-1-70
555	甲戌御上納奉差上候 一札	名主彦五郎	森屋神長官	文化十二乙 亥年三月	1815	3		継紙		神之原村より物成 差出し	(市文化 財)		一枚の 紙に継 いである	6-1-70~71
556	壬寅分御物成指出し 一札	名主長兵衛	神長官内矢 嶋杉之丞	天保十四癸 卯年三月晦 日	1843	3	31	継紙		神之原村より物成 差出し	(市文化 財)		一枚の 紙に継 いである	6-1-71~72
557	乙巳分御物差出一札	名主政五郎	守矢神長官 内矢嶋杉之 丞	弘化三丙午 年三月晦日	1846	3	31	継紙		神之原村より物成 差出し	(市文化 財)		一枚の 紙に継 いである	6-1-72~73
558	丁未分御物差出一札	名主条右衛門	守矢神長官 内矢嶋杉之 丞	弘化五戊申 年三月	1848	3		継紙		神之原村より物成 差出し	(市文化 財)		一枚の 紙に継 いである	6-1-73
559	戊申分御成ヶ差出一 札	名主条右衛門	守矢神長官 内矢嶋杉之 丞	嘉永二己酉 年三月	1849	3		継紙		神之原村より物成 差出し	(市文化 財)		一枚の 紙に継 いである	6-1-73~74
560	丙巳分御成ヶ差出一 札	名主条右衛門	守矢神長官 内矢嶋杉之 丞	嘉永三庚戌 年三月	1850	3		継紙		神之原村より物成 差出し	(市文化 財)		一枚の 紙に継 いである	6-1-74~75
561	庚戌分御成ヶ差出一 札	名主伊兵衛	守矢内矢嶋 杉之丞	嘉永四辛亥 年三月	1851	3		継紙		神之原村より物成 差出し	(市文化 財)		一枚の 紙に継 いである	6-1-75~76
562	壬子分御成ヶ差出一 札	名主伊兵衛	神長官内矢 嶋杉之丞	嘉永六癸丑 年三月	1853	3		継紙		神之原村より物成 差出し	(市文化 財)		一枚の 紙に継 いである	6-1-76~77

目録番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
563	甲寅分御物成差出一札	名主廣吉	神長官内矢嶋杉之丞	安政二乙卯年三月	1855	3		継紙		神之原村より物成差出し	(市文化財)		一枚の紙に継いである	6-1-77
564	乙卯分御成差出一札	名主廣吉	神長官内矢嶋杉之丞	安政三丙辰年三月	1856	3		継紙		神之原村より物成差出し	(市文化財)		一枚の紙に継いである	6-1-77~78
565	丙辰分御成ヶ差出一札	名主幸吉	神長官内矢嶋杉之丞	安政四丁巳年二月	1857	2		継紙		神之原村より物成差出し	(市文化財)		一枚の紙に継いである	6-1-78~79
566	丁巳分御成ヶ差出一札	名主幸吉	神長官内矢嶋杉之丞	安政五戊午年三月	1858	3		継紙		神之原村より物成差出し	(市文化財)		一枚の紙に継いである	6-1-79~80
567	戊午分御成ヶ差出一札	名主幸吉	神長官内矢嶋杉之丞	安政六己未三月	1859	3		継紙		神之原村より物成差出し	(市文化財)		一枚の紙に継いである	6-1-80~81
568	己未分御物成差出一札	名主作之助	神長官内矢嶋杉之丞	安政七庚申年三月	1860	3		継紙		神之原村より物成差出し	(市文化財)		一枚の紙に継いである	6-1-81
569	庚申分御物成差出一札	名主作之助	守屋神長官内矢嶋杉之丞	文久元辛酉年三月	1861	3		継紙		神之原村より物成差出し	(市文化財)		一枚の紙に継いである	6-1-82
570	辛酉分御物成差出一札	名主作助	守屋神長官内矢嶋杉之丞	文久二壬戌年三月	1862	3		継紙		神之原村より物成差出し	(市文化財)		一枚の紙に継いである	6-1-82~83
571	壬戌分御物成差出一札	名主与四郎	守屋神長官内矢嶋杉之丞	文久三癸亥年三月	1863	3		継紙		神之原村より物成差出し	(市文化財)		一枚の紙に継いである	6-1-83~84
572	癸亥分御成差出一札	名主與四郎	守屋神長官内矢嶋杉之丞	元治元甲子年二月	1864	2		継紙		神之原村より物成差出し	(市文化財)		一枚の紙に継いである	6-1-84~85
573	甲子分御成差出一札	名主與四郎	守屋神長官内矢嶋杉之丞	元治二乙丑年三月	1865	3		継紙		神之原村より物成差出し	(市文化財)		一枚の紙に継いである	6-1-85
574	乙丑分御成ヶ差出一札	名主幸三郎	守屋神長官内矢嶋杉之丞	慶応二丙寅年三月	1866	3		継紙		神之原村より物成差出し	(市文化財)		一枚の紙に継いである	6-1-86
575	丁卯分御成ヶ差出一札	名主幸三郎	守屋神長官内矢嶋杉之丞	慶応四戊辰年三月	1868	3		継紙		神之原村より物成差出し	(市文化財)		一枚の紙に継いである	6-1-86~87
576	神宮寺村分新検名寄				1869			切紙	1	神宮寺村で新たに検地を受けた分				6-1-88

目録番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
577	(預り米覚)				1869			折紙	1	山田新田上納米預り覚				6-1-89~90
578	壬申御成ヶ	神之原村名主源佐衛門	(神長官役人)惣左衛	(宝暦二年)壬申三月晦	1752	3	31	切紙	1	神之原村より御成一札				6-1-91
579	預り米	金子太左衛門	(神長官)	(享保十六年)辛亥二月	1731	2	7	切紙	1	主税分山田新田七兵衛預米一札				6-1-92
580	預り米	金子太左衛門	(神長官)	(享保十六年)辛亥二月	1731	2	7	切紙	1	主税分山田新田忠兵衛預米一札				6-1-93
581	口上書	神長官	(酒井左衛門尉内)	(天保十二年)丑正月	1841	1		継紙	1	御祈禱御守を差上げたい	市文化財			6-1-94~97
582	(書状)	酒井左衛門尉内大山庄太夫他一名	神長官	(天保十二年)閏正月四日	1841	1	4	継紙	1	御祈禱御守の件お断りに付		87-09の返書		6-1-98~102
583	靈鷹写生御許可願(及び回答書)	宮川村長中村甚之助 代理助役浜松治	守矢実久	明治廿七年十二月廿八日	1904	12	28	罫紙	1	写生の鷹献納の儀不採用に付		袋入り		6-1-103~122
584	庚戌分御年貢指出し	山田新田名主弥左衛門	守屋主税	(享保十六年)亥六月十日	1731	6	17	切紙	1	山田新田より年貢納め				6-1-123
585	口上覚	長坂主計 伊藤主膳他三名	山中牧太菅沼磯右衛	文化十癸酉年十二月	1813	12		継紙	1	畑直した田を上田物成したき願				6-1-124~125
586	乍恐奉願上口上書御事	山田新田願人と三郎 梅左衛門他三名	御宮奉行所	享和元辛酉年十二月	1801	12		継紙	1	畑直し願				6-1-126~127
587	口上二而申達覚	大目付		(天明元年)九月廿四日	1781	9	24	継紙	1	二の丸一件の時、大目付よりの申達				6-1-128~129
587	謹而奉願口上之覚	諏訪御給人・御給米取		(天明元年)九月廿六日	1781	9	26	継紙		二の丸一件の時、諏訪御給人等の口上				6-1-129~131
587	奉願口上之覚	右惣家中		(天明元年)十月	1781	10		継紙		二の丸一件の時、惣家中よりの口上				6-1-132
587	謹而奉願口上覚			(天明元年)	1781	13	4	継紙		二の丸一件の時、家中より口上				6-1-132~134
588	山田新田検地目録			貞享二乙丑年十一月十日	1685	11	17	罫紙	2		市文化財			6-1-135
590	検地目録			安永二癸巳年四月十七日	1773	4	17	継紙	1	山田新田				6-1-136~139
591	戊申ノ当引指出	山田新田名主庄左衛門 政右衛門他二名	守矢主税	(享保十三年)戊申十二月二日	1728	12	2	罫紙	1	山田新田の当引				6-1-140
592	一札	(高部村)	神長官 祢宜太夫他二	寛延二己巳年十二月廿	1749	12	26	罫紙	1	高部村に於ける五官の知行高	市文化財			6-1-141

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
593	(口上覚)	長(坂)衛守 伊藤(藤)鞠負他三名	山田新田惣百姓中	宝永三丙戌年八月朔日	1706	8	1	豎紙	1	山田新田百姓困窮に付	市文化財			6-1-142
594	奉願口上之覚	連地院 神宮寺他八	三沢九左衛門 百瀬猶太夫	(寛延三年)庚午十一月	1750	11		継紙	1	高部村水帳諸帳紛失に付				6-1-143~145
595	口上書之御事	高部村百姓惣代作左衛門 伊兵衛他三名	小地頭	寛延三庚午年八月廿八日	1750	8	28	継紙	1	知行米上納、小役勤めず	市文化財			6-1-146~147
596	指上申一札	山田新田名主岡衛門 七兵衛他二名	守矢主税	享保十二丁未年三月一日	1727	3	1	豎紙	1	山田新田暮米に付				6-1-148~149
597	覚	上之宮五官中	山田新田庄屋中	宝永七庚寅年三月晦日	1710	3	31	切紙	1	御柱棧敷道具に付申達				6-1-150
598	口上覚	長坂主計 伊藤主膳他三名	山中牧太菅沼礒右衛門	文化十癸酉年十二月	1813	12		継紙	1	畑直した田を上田物成にしたい	市文化財	88-03と同じ内容		6-1-151~152
599	(書留)	長坂衛守 伊藤鞠負他三名		宝永元甲申年八月廿九日	1704	8	29	継紙	1	山田新田百姓訴えに付き処置書留	市文化財			6-1-153~154
600	田方坪引目録	山田新田八左衛門 清左衛門	守矢民部	元禄五壬申年十二月四日	1692	12	4	豎紙	1	坪引及び上納分				6-1-155
601	乍恐奉願上口上書御事	山田新田願人三郎 年寄梅右衛門他二名	御宮御奉行所	享和二壬戌年五月	1802	5		継紙	1	畑直し願				6-2-156
602	(覚)	諏方源太左衛門 千野伊豆守	神長官	壬寅九月十三日	1662	9	13	豎紙	1	四ヶ村より上納石高		寛文二年か		6-2-157
603	覚	高山善右衛門 矢嶋八兵衛他四	三沢孫左衛門	元禄六癸酉年十二月十日	1693	12	18	豎紙	1	検地後の土地取扱いに付				6-2-158
604	定			寛文五年七月十一日	1665	7	11	豎紙	1	神社条目写	市文化財	89-00袋「公文所		6-2-159~162
605	覚			天和三癸亥年二月	1683	2		豎紙	1	着物規制の触書	市文化財			6-2-163
606	御條目			天和二壬戌年八月	1682	8		継紙	1	綱吉公御条目		102-13と同じ内容 葬祭の事有り		6-2-164~165
607	信州諏方領之覚	諏訪出雲守	安藤右京進 松平出雲守	正保四年十一月十三日	1647	11	13	豎紙	1	幕府への諏訪神社社領報告	市文化財			6-2-166

目録番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
608	覚	上諏訪大祝名代 小出織部 五官 惣代祢宜太夫	(幕府)	天和三癸亥 年二月三日	1683	2	3	竪紙	1	公方様へ御玉会 献上の経緯				6-2-167
609	(書状)	菅沼磯右衛門	五官中	四月九日	1840	4	9	継紙	1	御柱に付き太刀献 上				6-2-168~169
610	(通達)	中嶋林益 吉野 栄二他一名		正月廿七日	1868	1	27	切紙	1	登城通達				6-2-170
611	(手扣)	塩原彦七 牛山 政左衛門	五官中	四月三日	1840	4	3	折紙	1	御柱に付き綱及び 建道具準備				6-2-171
611	(手扣)	守矢主殿 伊藤 主膳	(藩)	四月五日	1840	4	5	折紙		御手紙承知				6-2-171
611	(手扣)	守矢主殿	諏訪安丸	四月五日	1840	4	5	折紙		痛所有るに付き御 柱の節倅神平名 代		諏訪安 丸(頼 武)は 天保十 二年大 祝とな		6-2-171~172
611	(手扣)	守矢主殿名代守 矢神平 守屋要 代名代桃井泰蔵 他二名		九日	1840	4	9	折紙		高嶋へ左京が参 上				6-2-172
611	(手扣)	菅沼磯右衛門	五官中	四月九日	1840	4	9	折紙		神納の御太刀相 勤めます		89-06 の物		6-2-172
612	御柱入用帳			文化十五戊 寅年三月	1818	3		横半 帳	1			棧敷杭 92本そ の他		6-2-173~177
613	覚	(幕府寺社奉行)	御朱印頂戴 の寺社	丑十二月	1858	12	9	継紙	1	御朱印下さるに付				6-2-178
614	(御柱役割)				1868			切紙	1	役割配分		89-11- 00袋 「壬寅 年御柱 切手等		6-2-179~182
615	(御柱役割)				1868			切紙	1	役割配分				6-2-183~184
616	おぼへ		守矢主殿		1840			切紙	1	ぶり・白魚・ひじき 納品書				6-2-185
617	(下げ札)	赤沼村太兵衛	守屋主殿		1840			切紙	1					6-2-186
618	(切紙)	茅野八次郎	守屋主殿		1840			切紙	1	騎馬杖突				6-2-187
619	(覚)	山田新田市兵衛 年寄仲左衛門他 二名		安政七庚申 年三月	1860	3		切紙	1	騎馬の役割か				6-2-188~189

目録番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
620	覚				1868			折紙	1	せいひつ・鞍履・ホしみの等				6-2-190~191
621	白米拂				1868			横帳	1	御柱に使った白米払覚				6-2-192~197
622	覚	伊藤勝之助	御苗神長官	六月	1868	6		切紙	1	細工代請求				6-2-198~199
623	(覚)				1868			折紙	1	騎馬道具と代金		89-17の続き		6-2-200~201
624	覚				1868			折紙	1	騎馬道具と代金				6-2-202~205
625	覚	大祝名代土橋東馬 社家惣代称宜太夫他一	寺社奉行松平和泉守 毛利讃岐守他一	宝暦十三癸未年正月廿三日	1763	1	23	切紙	1	若君様へ献上願書に付				6-2-206~207
626	(雛形)				1868			切紙	1	御朱印高有無の事報告の雛形				6-2-208
627	(書状写)	茅野与惣左衛門他一	守屋伊賀守	(寛文ころ)正月十三日	1670	1	13	折紙	1	家老と神長官間の問題	守矢伊賀守(政真)は延宝二年死亡			6-2-209~210
628	(社領朱印の由来届)	諏方大祝名代土橋藤馬 社家五官惣代神長官他一名	(幕府)	四月	1858	4	7	切紙	1	御朱印四回頂戴				6-2-211~212
629	(社領朱印の由来届)	諏方大祝名代土橋藤馬 社家五官惣代神長官他一名	(幕府)	四月	1858	4	8	切紙	1	御朱印四回頂戴		89-21と同じ		6-2-213~214
630	(社領朱印の由来届)	諏方大祝名代河西右内 社家五官惣代神長官他一名	(幕府)		1858	6		切紙	1	御朱印三回頂戴		89-21より以前		6-2-215~216
631	御柱二付入費序拂			明治五壬申年	1872			横帳	1	三月廿三日~七月十三日				6-2-217~226
632	御貸人役附覚	上宮五官祝	(藩)	文化九壬申年四月	1812	4		横帳	1	御騎馬役割				6-2-227~240
633	永代當國一之宮代参	更級郡塩崎村四之宮講中		万延二辛酉年正月吉祥寛延二己巳年十二月	1861	1		竖帳	1	諏訪上宮代参名面帳		袋入り		6-2-241~250
634	持地田畑名寄帳				1749	12		横帳	1	田地の所在地	市文化財			6-2-251~256
635	御造営御蔵通帳	守矢主殿	矢崎織右衛門	文政五壬午年三月	1822	3		横半帳	1	(文政四年~十二年の)御造営御蔵の序と払い				6-2-257~279

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
636	御造営御蔵通帳	守矢主殿	矢崎織右衛門	天保九戊戌年三月	1838	3		横半帳	1	(天保八年~弘化二年の)通帳		袋入り		6-2-280~310
637	差引帳	守矢氏		天保五甲午年三月	1834	3		横半帳	1	天保四年~五年				6-3-311~318
638	御造営御蔵通帳	守矢主殿		天保二辛卯年三月	1831	3		横半帳	1	天保二年~天保八年				6-3-319~339
639	差引帳	守矢氏		天保七申年三月	1836	3		横半帳	1	天保六年~嘉永元年				6-3-340~361
640	差引帳	守矢氏		嘉永三庚戌年三月	1850	3		横半帳	1	嘉永二年~明治五年				6-3-362~390
641	御造営御蔵通帳	守矢主殿		弘化三丙午年三月	1846	3		横半帳	1	弘化二年~安政元年				6-3-391~415
642	御造営御蔵通帳	守矢宮内		安政三丙辰年三月	1856	3		横半帳	1	安政元年~明治三年				6-3-416~447
643	(書状扣)	(神長官)	(下社)	正月八日	1800	1	8	切紙	1	掛合申候御教書の儀				6-3-448~451
644	(書状)	(神長官)			1800	11		継紙	1	御相談出来かねに付				6-3-452~453
645	(書状)	下之社五官	上之社五官	正月十日	1800	1	10	継紙	1	開封の書き物の取扱いに付				6-3-454~459
646	(書状)	下之社五官	上之社五官	正月廿四日	1800	1	24	継紙	1	教書の儀役所に伺いたき旨				6-3-460~463
647	(書状)	下之社五官	上之社五官	正月廿六日	1800	1	26	継紙	1	神事終了後役所に伺いたし				6-4-464~470
648	(書状)	(神長官)	(下社)	二月廿四日	1800	2	24	折紙	1	教書規定書の下書拝見したき願				6-4-471
649	(書状扣)	上社五官	下社五官中	正月十三日	1800	1	13	継紙	1	教書的一条に付相談願				6-4-472~474
650	覚書(口上書)	(神長官)	(藩)	二月	1800	2		継紙	1	教書一件経緯				6-4-475~485
651	(書状)	下社五官	上之社五官中	正月十三日	1800	1	13	継紙	1	都合伺い				6-4-486~489
652	(書状)	下社五官	上之社五官中	正月十二日	1800	1	12	継紙	1	教書の儀相談したき旨				6-4-490~494
653	(書状)	(神長官)	(下社)		1800	12		継紙	1	教書一条郡方申出に付				6-4-495
654	(書状)	上社五官	下之社五官中	正月廿四日	1800	1	24	切紙	1	教書一条郡方申出に付				6-4-496~498

目録番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
655	一札	本人菅沼磯弥 仲人今井牛吉	武井三右衛門	文政十二己 丑年十一月	1829	11		継紙	1	磯弥婿入時一札		102-00 包紙 「宗門 一札」 包紙付		6-4-499~505
656	一札	本人菅沼磯弥 仲人今井牛吉	武井三右衛門	文政十二己 丑年十二月	1829	12		継紙	1	磯弥婿入時一札	本書 押 印			6-4-506~508
657	一札	本人武井三右衛門 証人今井牛	菅沼磯弥	文政十二己 丑年十一月	1829	11		継紙	1	養父より婿へ一札		102-02 と対		6-4-509~511
658	一札	守矢主殿	矢嶋湊江亮		1867			縦紙	1	神長官宗門一札		この主 殿は後 年の主 殿 弘 化から 嘉永		6-4-512
659	人別請取一札	守矢真榊在京中 に付守矢志津満	高部村名主 廣八	明治二己巳 年二月	1869	2		縦紙	1	神長官家人杉之 丞の人別請取				6-4-513
660	寺請一札	臨濟宗法花寺	菅沼磯右衛門 志賀 惣兵衛	嘉永五癸丑 年三月十五 日	1852	3	15	縦紙	1	守矢主殿娘の寺 請				6-4-514
661	寺請一札	臨濟宗法花寺	小沢弘人	弘化三丙午 年三月十五	1846	3	15	縦紙	1	守矢主殿娘の寺 請				6-4-515
662	差上申切支丹證文之事	建岡神社諏訪大明神 主與石土佐守	野田松三郎	文化四丁卯 年三月	1807	3		縦紙	1	甲斐国武士神官 宗門一札				6-4-516
663	寺請一札	法花寺	矢嶋浪湊衛亮	嘉永七甲寅 年三月十五	1854	3	15	縦紙	1	守矢主殿娘の寺 請				6-4-517
664	奉願口上之御事	瀬沢村願主音右衛門 上槻木村一類 惣代圓蔵他	神長官内細野代右衛門	文政二己卯 年八月	1819	8		縦紙	1	病身に付き被官免 許願				6-4-518
665	乍恐奉言上候	御崎宮宮本信濃 他一	弁事伝達役所	慶応四辰閏 年四月十七	1868	4	17	縦紙	1	諏訪社へ総触頭 役仰付けられたし	市文化財			6-4-519~520
666	覚	北熊井村源右衛門 高部村軍之	高部村御屋鋪	亥五月廿七日	1868	5	27	縦紙	1	金五両の借用証 文				6-4-521
667	綱吉公御条目			天和二壬戌 年八月	1682	8		縦紙	2			89-03と 同じ内 容 葬 祭の事 有り		6-4-522~523

目録番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
669	夜学燈寸法				1875			縦紙	1	夜学の為の照明 図面	図面	夜書見 のため の灯火 明治か		6-4-524~525
670	人別送り一札	高部村名主広八	守矢真榊	明治二己巳 年二月十五	1869	2	15	縦紙	1	神長官家人杉之 丞の人別請取				6-4-526~527
671	一札	守矢主殿	小沢弘人	弘化三丙午 年三月十五	1846	3	15	縦紙	1	神長官宗門一札	市文化財			6-4-528
672	寺請一札	臨濟宗法花寺	菅沼儀右衛 門 志賀口 惣兵衛	嘉永五癸丑 年三月十五 日	1852	3	15	縦紙	1	守矢主殿娘の寺 請		102-06 と同じ 内容		6-4-529
673	人別送一札	下諏訪町名主彦 右衛門	古橋薨	明和二乙酉 年二月十五	1765	2	15	切紙	1	下諏訪町平兵衛 娘人別送り	市文化財			6-4-530~532
674	江戸勤方日記	(守矢)実延		天保十二辛 丑年正月	1841	1		横半 帳	1			江戸出 府の間 の日記		6-4-533~544
675	唐崎大明神一ツ松之				1865			縦紙	1		木版			6-4-545
676	石山寺名所之図				1865			縦紙	1		木版			6-4-546
677	石山寺由来略縁起				1865			縦紙	1		木版			6-4-547
678	摂州住吉絵図	版本彫工堺烏丸 堂鬼一郎		元治元甲子	1864				1		木版	袋付き		6-4-548~551
679	金毘羅善通寺弥谷寺 道案内図	原田屋板			1865				1		木版		破れ	6-4-552~553
680	金毘羅参詣案内大略	丸亀松栄堂板			1865				1		木版		虫喰い	6-4-554~555
681	御免日光御絵図	御絵図所植山弥 平			1865				1		木版	袋付き		6-4-556~558
682	草木撰種録				1868				1	草木の男種女種 図解	木版	袋付き 江戸期		6-4-559~561
683	関ヶ原御陣場之図				1865				1		木版	袋付き		6-4-562~567
684	諏方上宮堂塔佛具御 尋二付御答書写			慶応四年	1868			縦帳	1	神仏分離の太政 官布告に対する答			メモ	6-4-568~576
685	古帳写	大祝頼隆			1681	2		縦帳	1	延宝九年宝物帳と の照合			メモ	6-4-577~621
686	(諏方上宮堂塔佛具御 尋二付御答書写)	大祝名代土橋主 税他一	神祇事務御 局	慶応四戊辰 年四月	1868	4		縦帳	1	神仏分離の太政 官布告に対する答		113と同 じ内容	メモ	7-1-1~7
687	神宝祭器並奉納物取 調 上社	大祝諏方四郎丸 他五		明治四辛未 年七月	1871	7		縦帳	1	上社の神宝祭器・ 奉納物書上げ			メモ	7-1-8~49
688	奉願口上之覚	守屋要人	諏方歌之助	文化十二乙 亥年二月十	1815	2	12	縦紙	1	倅丹宮へ家督相 続願		117-00 袋	メモ し み	7-1-50~52
689	(奉願状)	下伊那郡虎岩村 田中右京	神長官	三月十五日	2000	3	15	縦紙	1	官名引続き頂戴願				7-1-53

目録番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
690	目録之事	田中数馬	神長官		1868	13		縦紙	1	御礼の目録			穴	7-1-54
691	乍恐以書付奉願上候御事	(片桐村)大宮神主宮沢因幡守弟子吉沢浅倉他一名	神長官	宝暦九己卯年十一月	1759	11		縦紙	1	官名頂戴願			しみ	7-1-55
692	以書付奉願候御事	虎岩村平沢藤兵衛 岡島義左衛	神長官	享保十一年二月	1726	2		縦紙	1	官名頂戴願			メモ	7-1-56
693	奉願	片桐村因幡守	神長官	享保九甲辰年三月十四	1724	3	14	縦紙	1	官名頂戴願			メモ	7-1-57
694	乍恐奉願御事	柿之沢村願主庄次郎 庄屋倉兵衛他三名	神長官	享保拾一年二月廿九日	1726	2	29	縦紙	1	官名頂戴願				7-1-58
695	(証文覚)	神長官惟実	墨牛村長九郎	正徳丙申六年三月十三	1716	3	13	折紙	1	祢宜役毎々通り勤むべきもの也	花押		しみ	7-1-59
696	以書付奉願御事	柿沢村庄屋弥右衛門 組頭伊平次他一名	神長官	寛延二巳年十月	1745	10		縦紙	1	官名頂戴願			メモ	7-1-60
697	以書付奉願候御事	下伊那郡柏原村願主平内 庄屋角左衛門	神長官	享保拾一年三月	1726	3		縦紙	1	官名頂戴願				7-1-61
698	奉願候御事	柏原村橋爪平内	神長官 矢嶋左中	享保拾一年三月	1726	3		縦紙	1	神事願			メモ	7-1-62
699	(神職官等月俸被定)	内務郷大久保利通		明治十年十二月八日	1877	12	8	縦紙	1	新神職の名称及び定数等		118-00袋	穴	7-1-63~66
700	社寺禄給与二付達	大蔵郷大隈重信		明治八年五月三十日	1875	5	30	縦帳		旧神官の受ける配当			三種合綴	7-1-69~71
700	社寺禄給与二付達	筑摩県権令永山盛輝		明治八年六月二十日	1875	6	20			旧神官の受ける配当	活版		三種合綴	7-1-68
700	(社寺禄給与二付達)	太政大臣三條実美		明治七年九月三日	1874	9	3	折紙	1	社寺朱黒印除地上地に伴う社寺禄に付			三種合綴	7-1-67
701	(社寺禄給与二付達)	筑摩県参事高木惟矩		明治八年九月十九日	1875	9	19		1	旧神官の受ける配当	罫紙			7-1-72~75
702	証書写	旧神長官守矢実顕		明治三甲午閏十月	1870	10			1	神長官知行高証文	罫紙			7-1-76~87
703	(通達)	戸長矢澤正雄	諏訪上社旧神長官土橋正後 笠原雅之他一同	明治十一年十月十四日	1878	10	14		1	旧神官配当に付出頭通達	朱印 罫紙			7-1-88~90
704	旧禄取調	守矢実顕	筑摩県権令永山盛輝	明治八年七月	1875	7			1	守矢家旧禄報告				7-1-91~113

目録番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
705	(書状)	土橋正後 笠原雅之	守矢実頭 矢嶋正守	二月五日	1869	2	5		1	守矢・矢嶋氏の受取った越米に付	割印 罫紙	包紙	ホッチキス痕	7-1-114~116
706	給禄請取通帳	守矢真賢木		明治四辛未年十月	1871	10		横半帳	1	現給禄の五分受取				7-1-117~121
707	(書状)	諏訪一十郎 宮沢栄之助	神長官	(嘉永六年) 丑年四月	1853	4		折紙	1	御頭御符料奉納相済み		119-00 包紙		7-1-122~125
708	覚書	守矢		(嘉永六年) 三月廿六日	1853	3	26	継紙	1	沖田御頭米差滞りに付		裏書き		7-1-126~129
709	(書状)	桜井茂兵衛 久保田伝右衛門	神長官	(嘉永六年) 九月三日	1853	9	3	継紙	1	大草村御頭米差滞りの者有るに付				7-1-130~132
710	奉願口上覚	諏方宮神長官	飯嶋御役所	嘉永六癸丑年三月	1853	3		継紙	1	源五郎御頭米差滞りに付	裏印	包紙付		7-1-133~136
711	一札之事	大草村日曾利香坂織右衛門	神長官手代 矢嶋杉之丞	嘉永六丑年三月	1853	3		縦紙	1	御符米奉納にします				7-1-137
712	差出申一札之事	大草村源五郎	神長官	嘉永六丑年三月	1853	3		継紙	1	御符米滞納分差出し一札	裏印			7-1-138
713	一札之事	大草村庄屋下平七十郎	神長官手代 矢嶋杉之丞	嘉永六丑年三月	1853	3		縦紙	1	御符米奉納にします				7-1-139~140
714	別紙	諏訪一十郎 宮沢栄之助	神長官	(嘉永六年) 丑四月朔日	1853	4	1	継紙	1	源五郎御頭米差滞り解決に付				7-1-141~143
715	(書状)	諏訪七郎兵衛 宮沢八右衛門	神長官	(文化八年) 壬二月四日	1811	2	4	折紙	1	御頭御符料奉納相済み	花押	119-01 と同じ内容 包紙		7-1-144~146
716	覚	諏訪七郎兵衛 宮沢八右衛門	神長官	(文化八年) 未壬二月四日	1811	2	4	折紙	1	勘定書		119-09 付属の物 包紙		7-1-147~149
717	(書状)		神長官	(嘉永六年) 九月三日	1853	9	3	継紙	1	御頭米差滞りの者有るに付		119-03 と同じ内容		7-1-150~153
718	口上覚	神長官名代 矢嶋杉之丞		(嘉永六年) 丑三月	1853	3		継紙	1	御頭米に付き名代として参上				7-2-154~155
719	覚	諏訪一十郎 宮沢栄之助	神長官	(嘉永六年) 丑四月朔日	1853	4		継紙	1	源五郎上納勘定書		119-08 関連		7-2-156~158
720	覚	大草日曾利	高部	嘉永六丑年十二月二日	1853	12	2	切紙	1	勘定書		199-05 関連		7-2-159
721	伊奈郡大草村沖田之源五郎御府料滞候二			嘉永六癸丑年二月	1853	2		横帳	1	二月より一件落着まで書留		袋入り	メモ	7-2-160~176
722	雑訴決断所牒	大江朝臣 小槻宥段	神長有実	建武元年九月廿六日	1334	9	26	縦紙	1	神長職に付	写			7-2-177

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
723	定	市川宮内助	大草郷	(元亀元)庚 午年九月十	1570	9	17	豎紙	1	来年三月御頭役 に付	写			7-2-178
724	(書状)	酒井忠次	神長官	(天正十年) 七月十九日	1582	7	19	豎紙	1	着陣通知	写	420- 06,- 09,-21- 1と同じ		7-2-179
725	補任状	(幕府)		建長元年十 二月十六日	1249	12	16	豎紙	1	神長職に付	写			7-2-180
726	(手扣)				1868		4	折紙	1	御騎馬行列役割				7-2-181~182
727	名面書上一札	山田新田名主勇 吉 喜太郎	神長官	嘉永七甲寅 年四月	1854	4		豎紙	1	騎馬人足名届		包紙付		7-2-183~184
728	(覚)	守矢主殿	千野平太	三月十六日	1840	3	16	切紙	1	右両人御宛遣わ れ下さるべく				7-2-185
729	(書状)	栗田利右衛門 山田又吉	守矢主殿	(天保元年) 閏三月二日	1830	3	2	継紙	1	新井村御貸人に 付	扣			7-2-186~188
730	(扣帳断簡)				1868		5	切紙	1	御柱騎馬行列の 一部				7-2-189
731	(扣帳断簡)				1868		6	切紙	1	騎馬行列役割の 一部			裏書き	7-2-190
732	上原村人足				1868		7	切紙	1	騎馬人足名面			破れ	7-2-191
733	(扣帳断簡)				1868		8	継紙	1	騎馬行列名面				7-2-192~193
734	差出之覚	山田新田名主房 右衛門	神長官	文化十五戊 寅年四月	1818	4		切紙	1	棧敷杭差出し一札				7-2-194
735	行烈覚				1868		9	折紙	1	騎馬行列役割順 序			虫喰い 穴	7-2-195~196
736	(扣帳)				1868		10	横帳	1	全郡の馬数・人数				7-2-197~208
737	(断簡)				1868		11	継紙	1	騎馬行列の一部				7-2-209
738	差出一札	山田新田名主佐 吉	神長官	文政七甲申 年四月	1824	4		切紙	1	棧敷杭差出し一札				7-2-210~211
739	指出一札	山田新田名主九 十蔵	神長官	文政十三庚 寅年四月	1830	4		切紙	1	棧敷杭差出し一札				7-2-211~214
740	(書状)	千野平太	守矢主殿	三月十五日	1840	3	15	継紙	1	刀差しの袴着用に 付		天保こ ろ	破れ 穴	7-2-215~217
741	(書状)	立木与左衛門	守矢主税	三月十一日	1750	3	11	継紙	1	中間差出し名面				7-2-218~221
742	(断簡)		守矢主殿		1868		12	継紙	1	新井村・刀差中間 口取名面	扣		穴	7-2-222~224
743	(書状)	大熊郡右衛門 高山善右衛門	守矢主殿 伊藤主膳	四月朔日	1840	4	1	継紙	1	呼出し通知			裏書き	7-2-225~227
744	(書状)	小沢弥次左衛門 伊東和兵衛	守矢主殿	四月廿一日	1840	4	21	継紙	1	御貸人割切り切手 に付			破れ	7-2-228~230

目録番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
745	(扣帳断簡)	小沢弥次左衛門 伊東和兵衛	守矢主殿	四月廿一日	1840	4	21	継紙	1	御貸人割切り切手に付				7-2-230
745	(扣帳断簡)	守矢主殿	小沢弥次左衛門 伊東和兵衛		1830					仰せの通りにいたします		返書 天保ころ		7-2-231~234
746	(地図)	藤原政文		寛政十一年	1799				1	神代旧跡略図	享和元年 中沢彦次郎写		破れ	7-2-235~242
747	覚	上田屋安兵衛	上	四月廿六日	1868	4	26	切紙	1	羽織代金請取		122-00 袋		7-2-243~245
748	覚	山田左門 吉田連	笠原甚右衛門	五月十一日	1868	5	11	切紙	1	元利請取				7-2-246
749	(口上覚)	(神長官)	(藩)	(慶応四年)	1868	6		継紙	1	下社検校太夫が除仏を出した経緯	扣 後欠		穴	7-2-247~250
750	乍恐御届奉申上候	諏訪両社惣代増沢左近	神祇官役所	(慶応四年) 七月二日	1868	7	2	竪紙	1	両社除仏相済み届				7-2-251
751	おぼへ	伊那県前嶋鉄之丞	上社宮田徑	(明治元年) 十月十七日	1868	10	17	継紙	1	馬乗地袴地等調達願		包紙付		7-2-252~253
752	(覚)			(文久二年)	1862	9		折紙	1		伊那廻村の入用か			7-2-254~255
753	覚	神谷季太郎		四月廿九日	1868	4	29	切紙	1	菓子料証文料請				7-2-256
754	覚	西村八治郎代久七	守矢宮内	四月廿七日	1860	4	27	継紙	1	御燈下乗等請取	起請文継ぎ	安政以後		7-2-257~259
755	奉拝借金子之事	左門 宮内他二	神谷季太郎	四月	1868	4		竪紙	1	金五十両借用証				7-2-260
756	(書状)	今井監物	守矢宮内		1868	13		切紙	1	取勘定に付		袋付き		7-2-261
757	口状	富饒夫 宮本信濃	神長官	(慶応四年) 廿六日	1868		26	継紙	1	御入来下さるべく候		同年の日記に富饒夫の記事有り		7-2-262~263
758	(書状下書)			(慶応四年)	1868	13		継紙	1	下社検校太夫(増沢左近)が除仏届を出した経緯		122-03 と同じ内容	穴	7-2-264~267
759	(書状)	伊那県前嶋鉄之助	諏訪大社執事中	(明治元年) 十月十二日	1868	10	12	継紙	1	社旧例御取調べに付		包紙		7-2-268~270
760	(書状)	大社上官富饒夫	上下両社大祝部両五官	(慶応四年) 七月六日	1868	7	6	継紙	1	除仏に付き伊勢守より問合せ	花押			7-2-271~275
761	(書状)	清彦	両皆々様	(慶応四年) 七月八日	1868	7	8	継紙	1	富饒夫帰国に付				7-2-276
762	(書状)	靖共	守矢	(慶応四年) 七月十日	1868	7	10	継紙	1	除仏に付			メモ	7-2-277~282

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
763	(書状)	義春	御両君	(明治元年) 十月十七日	1868	10	17	継紙	1	御沙汰次第除仏 に取り掛かる				7-2-284~286
764	(断簡)				1869	13		切紙	1		八の坊に 武士らし き氏名		穴	7-2-287
765	(断簡)				1869	13		切紙	1	団扇十本唐ちり面 二尺五寸				7-2-288
766	(断簡)	仏光寺通り菊屋 五兵衛			1869	13		切紙	1		封書の裏			7-2-289
767	(書状)	下社五官	上御社五官 中	(慶応四年) 七月十六日	1868	7	16	継紙	1	増沢左近昨夜罷 帰るに付		慶応四 年九月 八日明 治とな	穴 破れ	7-2-290~295
768	(書状)	飯嶋(村)	神長官	(明治元年) 十月晦日	1868	10	30	継紙	1	前嶋公の一条万 端に及び候処		包紙	穴 破れ	7-2-296~308
769	(書状)	宮川弾正	守矢主殿 伊藤主膳	(文化八年)	1811	8	25	折紙	1	職分継目免許に 付	花押	123- 00-1 「新年 祭書 類」袋 123- 00-2包 紙(中 包) 389-11		7-3-1~313
770	奉願口上覚	守矢宮内 伊藤 主膳		(安政五年) 二月	1858	2		継紙	1	吉川家の神道葬 祭免許願に付				7-3-314~319
771	覚	(神長官)			1860	2		竪紙	1	宝物・古器・古書 拝見に付				7-3-320
772	(手扣)	(神長官)			1860	3		竪紙	1	丙午祈年祭鎮火 斎の触れ				7-3-321
773	(手扣)			午五月	1682	5		継紙	1	祈年祭御祈禱料 受取書雛形	江戸時代			7-3-322
774	(書状)	志賀初右衛門	(守矢主殿)	正月廿日	1830	1	20	折紙	1	一件の事相済み 候由		文政こ ろ	切れ	7-3-323~326
775	口上覚	守矢岩江	(藩)	二月	1800	2		継紙	1	高部村岩江分入 用割付に付		文化こ ろ		7-3-327~335
776	(拾間廊図)			(天保十三)	1842				1	平面図				7-3-336~338

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
777	(書状)	守矢主税	寺社中	十月九日	1750	10	9	切紙	1	拙者屋敷除地の儀	扣	宝暦ころ 123-10 返書		7-3-339
778	(書状)	寺社中	守矢主税	十月九日	1750	10	9	切紙	1	御屋敷除地の儀 書付有り		主税は 宝暦八 年死		7-3-340~342
779	(書状)	宇多川助右衛門	守矢岩江	九月九日	1800	9	9	継紙	1	御奉納の鏡に付		助右衛 門は寛 政から 文化二 年迄用 人		7-3-343~345
780	三月御頭之次第	神長官信真	山宮	九月晦日	1650	9	30	継紙	1	正月御占から項目 的に	市文化財		裏書き	7-3-346~348
781	以書付奉願候	守矢主殿	御本所御役 所	文化八未年 正月	1811	1		縦紙	1	職分継目訴状御 礼録用捨願				7-3-349~350
782	(鉾・幢・幡・鼓・鉦の 覚)				1860	4		継紙	1					7-3-351~358
783	覚	神長官	安国寺村嘉 兵衛	享和元辛酉 年六月十五	1801	6	15	縦紙	1	御柱棧敷造り状再 発行の件		124-00 袋	メモ	7-3-359~361
784	(書付)	(各村)	守屋岩江		1800			継紙	1	騎馬役割報告		文化こ ろ	付箋張り 付け修 理痕	7-3-362~365
786	御柱積書上	神之原村山作幸 左衛門 源左衛 門他六	上ノ御社奉 行所	天保七丙申 年四月	1836	4		継紙	1	御柱の大きさ	市文化財 裏印			7-3-366~367
787	御柱騎馬順				1868		13	継紙	1	騎馬の童名				7-3-368~369
788	御柱二付諸事書留	五官中		文政七甲申 年三月	1824	3		横帳	1	藩より御柱の心得、藩との折衝二 月十一日~	市文化財		二冊合 冊	7-3-370~395
788	御貸人役附覚	五官中		文政七甲申 年四月	1824	4		横帳			市文化財		二冊合 冊	7-3-396~409
789	御柱行列并献立人足 江祝物覚帳			文化九壬申 年四月六日	1812	4	6	横帳	1					7-3-410~419
790	御柱諸事留并御辻宮 之事有			文化十五戊 寅年二月	1818	2		横半 帳	1	御柱建立経過				7-3-420~449
791	御柱二付諸事懐中留	守矢主殿		文化九壬申 年二月	1812	2		横半 帳	1	藩より御柱の心得・藩との折衝	市文化財		藩の指 示等	7-3-450~475
792	御柱祭礼之事並雑記				1610			横帳	1	御柱のいわれ、郡 外諸氏騎馬奉仕 の古記録抜書			御柱の 謂れ騎 馬奉仕	7-4-476~519

目録番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
793	御柱諸事書留			万延元庚申年三月	1860	3		横帳	1	騎馬行列役割・献立				7-4-520~540
794	御柱行烈			正徳六丙申年	1716			継紙	1	行列順序		包紙	マジック書き有り	7-4-541~547
795	佐敷書上帳			文化三丙寅年四月十三	1806	4	13	横帳	1	壱間口~六間口				7-4-548~553
796	御柱行列			文政十三庚寅年四月十	1830	4	15	継紙	1	行列と個人名				7-4-554~562
797	御柱行列			文化十五戊寅年四月十	1818	4	11	継紙	1	行列と個人名				7-4-563~570
798	御柱行列			文政七甲申年四月十五	1824	4	15	継紙	1	行列と個人名				7-4-571~576
799	(御柱行列)				1868		14	継紙	1	行列と個人名				7-4-577~582
800	(御柱行列)				1868		3	継紙	1	行列雛形				7-4-583~588
801	一札	高部村権助	守矢主税内小池惣左衛門	宝暦四甲戌年三月六日	1754	3	6	切紙	1	古証文改め			メモ	7-4-589
802	一札	安国寺村一類惣代勝右衛門他一名	神長官役人中	天保九戊戌年三月	1838	3		縦紙	1	前宮付近に私家普請・棧敷掛けに付			メモ	7-4-590
803	一札	矢ヶ崎鹿主皆三郎他二	小池惣左衛門	寛政甲寅年四月	1794	4		切紙	1	御座石祭礼御膳の儀間違い詫状			メモ	7-4-591
804	御借り申居屋敷手形之事	本人与左衛門請人善次郎	小池惣左衛門	天明六丙午年三月	1786	3		切紙	1	年貢取決め			メモ	7-4-592
805	證	山口養造	高部	四月廿三日	1868	4	23	縦紙	1	金四両借用			メモ	7-4-593
806	賣渡シ申畑手形之事	宮田渡村儀兵衛他二名	守矢主殿	文政二己卯年十一月十	1819	11	11	縦紙	1	下山畑十年季にて売渡し			メモ	7-4-594~595
807	一札	高部村名主松次郎他二名	御宮奉行所	嘉永七甲寅年十月	1854	10		縦紙	1	高部村の総草高・抜高報告			メモ	7-4-596
808	御預り申屋敷手形之事	高部村長右衛門他二名	守矢主殿	宝暦七丁丑年九月六日	1757	9	6	継紙	1	屋敷借用年貢取決め・棧敷掛	裏印		メモ	7-4-597
809	一札之事	小町屋仁左衛門新右衛門	守矢主税	宝永元甲申年五月十日	1704	5	10	切紙	1	御柱御馬立場に付不調法有			メモ	7-4-598
810	差上申詫文之事	小町屋村一類常吉 本人又四郎	守矢主殿内細野桑之助	文化十三丙子年三月十	1816	3	13	縦紙	1	神原目付不埒有				7-4-599
811	差上申證文之事	本人角次郎 受人惣次郎	守屋主殿	文化十三丙子年四月六	1816	4	6	縦紙	1	車屋建てに付き借地	市文化財			7-4-600
812	奉願口上書	安国寺村嘉兵衛一類	神長官内小池惣左衛門	寛政六甲寅年四月	1794	4		縦紙	1	棧敷場証文焼失に付			メモ	7-4-601
813	差上申一札之事	長沢町弥兵次請人山口兵衛	神長官役人矢嶋杉之丞	万延元庚申年四月	1860	4		切紙	1	御くね御田水より水引きに付			メモ	7-4-602~603

目録番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
814	(一札)	田辺村三郎右衛門他七		明暦二丙申年四月十五日	1656	4	15	縦紙	1	不届を申出て糾明されたに付			起請文裏打メモシミ破れ	7-4-604
815	一札	小町屋村彦三郎 請人茅野英之進	神長官屋敷 矢嶋杉之丞	安政六己未年十一月	1859	11		継紙	1	神原常審役仰付られに付	市文化財		メモ	7-4-605~606
816	覚			未十一月	1868	11		縦紙	1	遠国寺社山伏年礼出府に付き通達			メモ	7-4-607
817	起請文前書事	肝煎之与兵衛 箆舎者八	(藩)	明暦三年西十二月廿七日	1657	12	27	縦紙	1	肝煎之公事に付き箆舎に仰付られ候事		126-14 関連	メモ裏打穴しみ	7-4-608
818	口上覚	花岡市之進	土橋主税	文化六己巳年十一月	1809	11		継紙	1	竹倉屋新之丞太々神楽興行願			メモ	7-4-609~612
819	(覚)	大祝 神宮寺他十五	千野十郎兵衛	正保五戊子年正月廿九	1648	1	29	縦紙	1	上社明神領に付き申分無候事	花押		しみ 穴	7-4-613
820	御社用日記			明治三庚午年十二月十七日	1870	12	17	縦帳	1	長坂廣海・守矢真賢木が笠原豊宛に出した請求書覚				7-4-614~618
821	名前覚帳			天保十一年子十一月	1840	11		横帳	1	佐久間村・柿之沢村・地久平村、名主・頭分・平方名				8-1-1~18
822	御符神納米諍ひ出入二付道中入用	諏方上社神長官 内伊藤小平次						横帳	1	支払覚及び道中泊り扣				8-1-19~26
823	諏訪略縁記 全				1590	9		縦帳	1	甲賀三郎伝説	文政八乙酉年菊月上旬写			8-1-27~43
824	宮田渡一条之留	(守矢実頭)		慶応元乙丑年六月	1865	6		縦帳	1	諏訪大炊允病氣に付千野修弼三男家督相続の経				8-1-44~54
825	志都満元服祝儀書留	(守矢実頭)		元治元甲子年十一月十日	1864	11	15	縦帳	1				メモ	8-1-55~62
826	諸事日記	(守矢岩江)		寛政十二辛酉年正月吉日	1800	1		横帳	1	四月八日まで	神之原村下草出入り有り			8-1-63~83
827	日記	(守矢岩江)		文化四丁卯年三月廿六	1807	3	26	横帳	1	八月十八日まで	離檀問題有り		メモ	8-1-84~122
828	諸事日記	古翠館(実久)		天保十四癸卯年正月吉日	1843	1		横帳	1	九月廿一日まで			メモ 穴	8-2-123~185
829	覚書	(守矢岩江)		文化六己巳年正月	1809	1		横帳	1	三月二日まで			メモ	8-2-186~213

目録番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
830	諸事日記	(守矢実延)		天保十五甲辰年四月廿七日	1844	4	27	横帳	1	十月廿四日まで		嘉永七年七月二十一日主殿死	メモ 穴	8-2-214~237
831	神事社用留	(守矢主殿)		文政六癸未年十一月九	1823	11	9	横帳	1	文政十二年二月四日まで			メモ 穴	8-2-238~251
832	諸事日記	(守矢岩江)		文化三丙寅年正月吉日	1806	1		横帳	1	正月晦日まで	吉田家回状の事有り		メモ	8-3-252~264
833	横内村神社建直シ留帳写			天明二壬寅年九月(写)	1782	9		横帳	1		寛正十二年二月十五日棟梁原五左衛門留書写、宮奉行・宮棟		メモ 穴	8-3-265~274
834	御小屋山榎樽木駄数覚帳			文化十二乙亥年八月吉	1815	8		横帳	1		市文化財		馬で搬出した	8-3-275~320
835	御小屋山より榎樽木附送高駄賃銭渡帳	矢崎織右衛門		文化十二乙亥年十二月	1815	12		横帳	1	村々へ渡した駄賃			メモ	8-3-321~335
836	宮奉行仮役日記	(守矢主殿)		文化十三丙子年十月廿八日	1816	10	28	横帳	1	文政二年十二月まで		文化十四年八月十四日岩江死	メモ	8-3-336~376
837	上御社片拝木取帳	立川		子三月吉日	1868	3		横帳	1	荒木取覚			メモ	8-3-377~387
838	拝殿建替之書留			天保三壬辰年二月	1832	2		横帳	1	拝殿・両片拝・脇片拝			メモ	8-4-388~421
839	拾間廊建替始末日記帳	(矢嶋杉之丞)		天保十三壬寅年五月吉	1842	5		横帳	1	十四年二月末まで			メモ	8-4-421~437
840	御符納二付諸事覚帳			文化十四丁丑年十一月	1817	11		横帳	1	片切郷他の村々			メモ	8-4-438~447
841	御符納諸事覚帳			文政十三庚寅年十一月	1830	11		横帳	1	飯沼村他の村々			メモ	8-4-448~455
842	御符納諸事覚帳	(矢嶋杉之丞)		文政七甲申年十二月	1824	12		横帳	1	飯沼村他の村々より御符料納入				8-4-456~463
843	御符料并御符納帳	矢嶋杉之丞		文政十二己丑年十一月	1829	11		横帳	1	葛嶋村他の村々				8-4-464~471
844	御符納諸事覚帳	(矢嶋杉之丞)		天保十三壬寅年十二月	1842	12		横帳	1	飯沼村他の村々			虫喰い	8-4-472~479

目録番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
845	御符料并納帳	矢嶋杉之丞		天保六未 年三月吉 日	1835	3		横帳	1	前沢村他の村々				8-4-480~487
846	御符納諸事覚帳			天保七丙 申年十二 月吉	1836	12		横帳	1	飯沼村他の村々				8-4-488~496
847	御符納諸事覚帳	神長官内 矢嶋杉之丞		嘉永六癸 丑年十一 月	1853	11		横帳	1	葛嶋村他の村々より御符料納入				8-4-497~504
848	御符納諸事覚帳	矢嶋杉之丞		萬延元庚 申年十二 月	1860	12		横帳	1	飯沼村他の村々				8-5-505~513
849	御符料并諸事覚帳	矢嶋杉之丞		安政六己 未年十二 月	1859	12		横帳	1	葛嶋村他の村々				8-5-514~522
850	御符納諸事覚帳	神長官内 矢嶋杉之丞		嘉永元戊 申年十一 月	1848	11		横帳	1	市田村他の村々			破れ	8-5-523~532
851	御符納諸事覚帳	神長官内 矢嶋杉之丞		嘉永七甲 寅年十一 月	1854	11		横帳	1	田切村他の村々				8-5-533~542
852	御符納諸事覚帳	神長官手 代矢嶋杉之丞		慶応一丙 寅年十一 月	1865	11		横帳	1	飯沼村他の村々				8-5-543~552
853	御符納并御初穂帳	神長官内 矢嶋杉之丞		弘化四丁 未年十一 月	1847	11		横帳	1	葛嶋村他の村々				8-5-553~562
854	御符納諸事覚帳	矢嶋杉之丞		天保十二 辛丑年十 一月	1841	11		横帳	1	葛嶋村他の村々				8-5-563~572
855	當宮 社例記 全	大隅守神 頼隆	松平山城 守	延宝七己 未年六月 九日	1679	6	9	竖帳	1	諏訪上社社例記写				8-5-573~594
856	諏訪史料 卷之壱上	山梨県飯 田好太郎	守矢実久	明治三十 年八月十 五日	1897	8	15	竖帳	1	諏訪神家由来		封筒・ 葉書付		8-5-595~621
857	武田系譜	小早川式 部少輔能 久 八田太 郎 左衛門 友重			1868			竖帳	1	清和天皇～勝頼の子				9-1-1~15
858	八宗	久保五兵 衛正永		寛文六年 二月	1666	2		横帳	1	全国寺院の格式・書礼	花押			9-1-16~98
859	大祓式	教部省		(明治五) 壬申六月	1872	6		竖帳	1					9-1-99~104
860	神社考(写)	二條通鶴 屋町田原 仁左衛門		正保二乙 酉年孟春 吉辰	1645	1		竖帳	1	全国主要神社由緒				9-2-105~151
861	古書写				1736			竖帳	1	守矢家古書目録	二十七品 目			9-2-152~189
862	日本書記 舊事記 古事記 本居宣長伝拔書			(江戸時代)	1855	1		竖帳	1					9-2-190~213
863	新嘗布告書			(明治元) 辰十一月	1868	11		竖帳	1		木版			9-2-214~218
864	(本尊由緒)			享保十五 庚午年十 月	1730	10			1	荒神薬師如来由緒	写 罫紙			9-2-219~221

目録番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号	
865	御皇統図譜			明治二己巳年	1869			縦帳	1	天照皇大神~明治天皇			虫喰い	9-2-222~233	
866	嘉禎并至徳古神事式				1354	5		縦帳	1		年中神事次第上・下の写			9-3-234~289	
867	千野矢崎両姓祖先二関スル所蔵古記取調	神長官(守矢実久)		明治廿九年七月	1896	7		縦帳	1		扣書 朱印			9-3-290~300	
868	名勝旧蹟及社寺堂宇取調	守矢実久	(諏訪郡役所)	明治三十二年三月十日	1899	3	10	縦帳	1	御掛松・矢作武田八幡神社等	扣			9-3-301~340	
869	上原神主土橋氏来歴	神長官(守矢実久)		明治廿九年	1896				1	守矢文書より抜粹	罫紙			9-4-341~347	
870	社寺佛堂取調書	守矢実久		明治三十一年三月七日	1898	3	7	縦帳	1	南大塩・神之原・中金子・小泉等寺社調	扣			9-4-348~391	
871	(社寺佛堂取調書)	守矢実久	長円寺住職 宮坂祐賛他五	明治廿八年五月十五日	1895	5	15	縦帳	1	酒室・田沢・粟沢地籍仏堂調べ及び長円寺薬師如来の来歴取調書	扣		二冊合冊	9-4-392~418	
871	闕庵神社往古由来	(守矢実久)			1895	5	16				罫紙		二冊合冊	9-4-419~427	
872	神長官所蔵古書(写)			明治丙申年二月	1896	2		縦帳	1	江戸時代以前の短文写			長野県知事浅田徳則諏訪郡巡視時守矢家所蔵古文書及び什器見学の記録	補修痕	9-5-428~504
873	殿様御隠居御願二付御祈祷被仰付候處大祝殿御礼之儀二付仲々間中江掛合萬端	武居祝		天保十一庚子年三月	1840	3		縦帳	1				下社大祝人躰の有無問題	9-5-505~518	
874	外記大夫 源大夫 葛井大夫 右近大夫 左近大夫 左源大夫 雛大夫各家系図(茅野)				1882				1		罫紙			9-6-519~531	
875	御宝殿			(天保三年)	1832			縦帳	1	寸法書				9-6-532~535	
876	古代造営年限之有無				1868			縦帳	1	春秋二社の造営年限		江戸		9-6-536~543	

目録番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
877	大祝一件二付御用人 三輪五郎右衛門殿御 尋始末留			天保六乙未 年四月	1835	4		縦帳	1			大祝仰 せ付有 無の問 題		9-6-544~557
878	諏方大社往古七拾余 度祭典次第				1945			縦帳	1	神事祭礼を項目的 に	内容は古 式だが戦 後に書い た物か			9-6-558~567
879	諸家略系譜				1868			縦帳	1	小笠原家・武田 家・諏方家・村上 家系譜				9-6-558~591
880	健御名方社(旧名)神護 原諏訪神社由緒調査 書	下伊那郡大島村 名子村社氏子惣 代米山峰治良他 四		明治三十五 年五月九日	1902	5	9		1		罫紙			9-6-592~603
881	(断簡)				1868				1	志ぶノ神様荒神よ り御引ヶ被遊候	罫紙			9-6-604
882	日記	神暢館(守矢実 顕)		明治十八年	1885			縦帳	1	二十年十二月廿 九日まで	祈禱殿建 替		メモ	9-6-605~10- 1-23
883	記事	神長官(守矢実 久)		明治廿八年	1895	1	1	横帳	1	廿九年十二月三 十一日まで	頼真三百 年祭		メモ	10-1-24~102
884	記事	神長官(守矢実 久)		明治三十年	1897			横帳	1	三十一年十二月 三十一日まで	大洪水の 事		メモ	10-2-103~180
885	記事	神長官(守矢真 幸)		明治三十四 年	1901			横帳	1	三十五年三月六 日まで	六月六日 より母作 子記す		メモ	10-3-181~208
886	古翠館日誌	(守矢実久)		明治三庚午 年正月	1870	1		縦帳	1	十二月廿九日まで			メモ	10-3-209~245
887	米金手形払扣	伊藤監物 長坂 衛守		安永三癸巳 年十二月廿	1774	12	21	縦帳	1				メモ	10-3-246~257
888	御用日記	執事(守矢実顕)		明治五壬申 年正月	1872	1		縦帳	1	四月七日まで			メモ	10-3-258~271
889	西京日誌	(守矢実顕)		明治元戊辰 年十一月	1868	11		縦帳	1	明治二年七月三 日まで			メモ	10-4-272~339
890	御頭御祭礼諸事書留			文久二壬戌 年正月三日	1862	1	3	横帳	1	親郷福嶋村			虫喰い 破れ	10-4-340~359
891	年貢定納牒			寛延元戊辰 年十月吉祥	1789	10		縦帳	1	山田新田・神宮寺 村				10-4-360~370
892	御頭御祭礼諸事書留			文政九丙戌 年正月三日	1826	1	3	横帳	1	親郷小坂村				10-4-371~390

目録番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
893	御頭御祭礼諸事書留		矢ヶ崎村	慶応三丁卯年正月	1867	1		横帳	1	親郷矢ヶ崎村				10-5-391~412
894	御頭御祭礼諸事書留			文政五壬午年正月	1822	1		横帳	1	親郷矢ヶ崎村				10-5-413~422
895	御頭御祭礼諸事書留帳	御頭郷上金子村		文政十二己丑年正月三	1829	1	3	横帳	1	親郷上金子村				10-5-423~442
896	飯田御頭郷書留牒			宝暦二壬申年十月	1752	10		横帳	1	御頭金請取と遺物留				10-5-443~455
897	伊奈郡御頭日記			文政六癸未年二月	1823	2		横帳	1	文政六・九・十二年嘉永六年安政六年元治二年の			メモ	10-5-456~476
898	御頭御祭礼諸事書留			文政七甲申年正月	1824	1		横帳	1	親郷有賀村				10-5-477~490
899	飯田御頭之郷遺物帳也			宝永元甲申年十月廿七	1704	10	27	横帳	1	請取と遺物帳			虫喰い穴 破れ	10-5-491~509
900	御頭祭礼諸事日記	取次立石半三郎		文化十四丁丑年正月	1817	1		横帳	1	親郷上金子村				10-6-510~531
901	御頭御祭礼諸事書留帳	有賀村		慶応四戊辰年正月	1867	2		横帳	1	親郷有賀村				10-6-532~555
902	御頭御祭礼諸事書留帳			文政二己卯年正月	1819	1		横帳	1	親郷大熊郷		この年より槻木新田等出る		10-6-556~574
903	御頭祭礼諸事書留帳			文化十五戊寅年正月	1818	1		横帳	1	親郷上桑原郷				10-6-575~591
904	御頭祭礼諸事書留			文政三庚辰年正月	1820	1		横帳	1	親郷上原郷				10-6-592~607
905	御頭郷役人名面帳			文化九壬申年正月	1812	1		横帳	1	親郷小坂郷				10-6-608~620
906	御頭御祭礼諸事書留			文政十一戊子年正月	1828	1		横帳	1	親郷中金子村				11-1-1~17
907	御頭祭礼諸事日記	取次立石半三郎		文化十三丙子年正月	1816	1		横帳	1	親郷真志野村		この年より小六新田でる		11-1-18~40
908	御頭御祭礼諸事書留	田部村		天保十五甲辰年正月三	1844	1	3	横帳	1	親郷田部村、席論あり				11-1-41~62
909	御頭御祭礼諸事書留	上桑原村		弘化五戊申年正月	1848	1		横帳	1	親郷上桑原村			虫喰い	11-1-63~82
910	御頭御祭礼諸事書留	茅野村		慶応二丙寅年正月	1866	1		横帳	1	親郷茅野村		別席下諏訪町		11-1-83~104

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
911	御頭御祭礼諸事書留			文政十三庚寅年正月三日	1830	1	3	横帳	1	親郷南大塩村	神場沢等八新田含む			11-1-105~122
912	御頭御祭礼諸事書留	茅野村		天保七丙申年正月三日	1836	1	3	横帳	1	親郷茅野村				11-2-123~141
913	御頭御祭礼諸事書留	御頭田部村		安政六己未年正月三日	1859	1	3	横帳	1	親郷田部村	烏帽子等七新田含む			11-2-142~163
914	御頭御祭礼諸事書留			天保八丁酉年正月三日	1837	1	3	横帳	1	親郷上原村			メモ 穴 破れ	11-2-164~182
915	御頭諸事書留帳			文化十一甲戌年正月	1814	1		横帳	1	親郷福嶋村				11-2-183~196
916	御頭二付諸事留帳	取次立石半三郎		文化十二乙亥年正月	1815	1		横帳	1	親郷中金子村				11-2-197~209
917	御頭御祭礼諸事書留			文政十丁亥年正月三日	1827	1	3	横帳	1	親郷田部郷				11-2-210~229
918	御頭并諸事日記	(守矢岩江)		文化五戊辰年正月吉日	1808	1		横帳	1	親郷下桑原村、法華寺一件のことあ			メモ	11-3-230~280
919	信濃国諏訪神社撰				1809	3		横半帳	1	諏訪神社撰社				11-3-281~286
920	御頭御祭礼諸事書留帳	御取次方		安政四丁巳年正月三日	1857	1	3	横帳	1	親郷上金子村				11-3-287~307
921	軍銃奉納願	立木虎視他一	長野県知事 木梨精一郎	明治廿二年四月八日	1889	4	8		1	守矢祈禱所へ奉納	罫紙			11-3-308
922	御頭郷留牒	茅野村		宝暦十一辛巳年正月吉	1761	1		横帳	1	親郷茅野村			メモ	11-3-309~317
923	(東筑摩郡)寿村白川区諏訪神社事由	(守矢実久)		(明治ころ)	1905	1		縦紙	1					11-3-318~320
924	差上申切支丹證文之事(写)	輿石土佐守	野田松三郎	文化四丁卯年三月	1807	3		切紙	1	甲州の神職宗門一札	守矢岩江写	231-00 包紙コ ピー無 しメモ		11-3-321~323
925	神国宗之弁 全	中津齊		安永十辛丑年弥生月	1781	3			1	浄土真宗だけを神国宗とする			虫喰い 穴	11-3-324~329
926	御挨拶手扣	(五官)	(藩)	卯	1818			横帳	1	大祝言い分に対し挨拶(反論)				11-4-330~370
927	巻紙手紙也	(守矢主殿)		文政六癸未年十一月廿慶応二丙寅年孟春吉辰	1823	11	23	横帳	1	大祝・五官争論顛末書付け	写			11-4-371~444
928	歳中日記	守矢(実久)		年孟春吉辰	1866	1		縦帳	1	十二月晦日まで			メモ	11-5-445~486

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
929	歳中日記	守矢(実久)		慶応三丁卯 年正月元旦	1867	1	1	縦帳	1	十二月晦日まで	宅内御祈 禱所の事		メモ	11-5-487~522
930	歳中日記	古翠館(実久)		慶応四戊辰 年	1868			縦帳	1	正月元旦~十月 十五日	高松殿・ 査察使の		メモ	11-6-523~565
931	祈禱料并賽銭帳			天保六乙未 年正月吉辰	1835	1		横帳	1	天保十五年十二 月十五日まで			二冊合 冊	11-6-566~12- 1-34
931	祈禱料并賽銭帳			天保十己辛 年正月吉祥	1839	1		横帳		天保十五年十二 月十五日まで			二冊合 冊	12-1-35~44
932	祈禱料并賽銭等覚	古翠館(実久)		嘉永四辛亥 年正月元旦	1851	1	1	横帳		十二月十五日まで			二冊合 冊	12-1-61~87
932	萬覚			嘉永六癸丑 年正月	1853	1		横帳	1	嘉永七年までの祈 禱料并賽銭帳	買地の件		二冊合 冊	12-1-45~60
933	祈禱料并賽銭覚帳	御納戸方		文政十三庚 寅年正月吉	1830	1		横帳	1	天保五年まで	買地の件 あり			12-1-88~12- 2-150
934	祈禱料賽銭等之覚			弘化二己巳 年正月	1845	1		横帳	1	嘉永四年まで				12-2-151~205
935	御祈禱料并賽銭覚			安政二乙卯 年正月吉辰	1855	1		横帳	1	明治五年まで				12-2-206~12- 4-485
936	祈禱料并賽銭覚帳			文化元甲子 年正月吉日	1804	1		横帳	1	文化七年まで				12-4-486~12- 5-554
937	祈禱料并賽銭覚帳			文化十四丁 丑年五月十	1817	5	11	横帳	1	文政十二年まで				12-5-555~13- 1-38
938	諸事書留帳	古翠館(実久)		嘉永三庚戌 年十一月	1850	11		横帳	1	嘉永六年までの買 物支払帳				13-1-39~81
939	年中日記帳	守矢(実久)		文久二壬戌 年正月	1862	1		縦帳	1	十二月廿九日まで	悪病流行 の事	実久= 志津満 =篁山	メモ	13-1-82^126
940	歳中日記帳	守矢(実久)		文久三癸亥 年正月	1863	1		縦帳	1	十二月大晦日まで			メモ	13-2-127~160
941	歳中日記	守矢(実久)		文久四甲子 年正月	1864	1		縦帳	1	十二月廿九日まで			メモ	13-2-161~186
942	歳中日記帳	守矢		元治二乙丑 年正月	1865	1		縦帳	1	慶応二年正月八 日まで	吉田家書 状の事	元治元 年志津 満元服	メモ し み	13-2-187~237
943	御左口神建立寄附謂 書	神長官守矢実胤	飯田領御頭 御役人	寛保三癸亥 二月吉日	1743	2		縦帳	1	神長官屋敷内御 左口神建て替え、 由緒	朱印 花 押 市文 化財		メモ	13-2-238~242
944	年中日記帳	守矢		萬延二辛酉 年正月	1861	1		縦帳	1	十二月大晦日まで			メモ	13-3-243~280

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
945	日記	(守矢岩江)		文化五戊辰 年正月元日	1808	1	1	縦帳	1	文化四年十二月 廿六日～五年一 月二十六日			メモ	13-3-281~296
946	日記 式番帳	(守矢岩江)		文化八辛未 年八月	1811	8		縦帳	1	十二月晦日まで	五官と大 祝の不和 の事		メモ	13-3-297~317
947	日記	(守矢主殿)		文化九壬申 年正月吉辰 日	1812	1		縦帳	1	十月廿七日まで	二官と大 祝の不和 の事	文化九 年二月 ころ岩 江より 主殿 (実延) へ家督	メモ	13-3-318~13- 4-380
948	日記	(守矢主殿)		文化十癸酉 年正月	1813	1		縦帳	1	十二月廿八日まで			メモ	13-4-381~397
949	日記	(守矢主殿)		文化十二乙 亥年正月	1815	1		縦帳	1	九月廿九日まで			メモ	13-4-398~403
950	日記	(守矢主殿)		文化十一甲 戌年正月	1814	1		縦帳	1	十二月廿七日まで			メモ	13-4-404~420
951	日記	(守矢主殿)		文化十三丙 子年正月	1816	1		縦帳	1	文政元年九月三 日まで	神子免許 の事		メモ	13-4-421~458
952	寛政一年	(守矢岩江)		寛政一年	1789	1	1	縦帳	1	正月～十二月廿 九日諸事日記	御杖を粗 末にした 件	天明九 年正月 二十五 日寛政 となる		13-4-459~490
953	諸事日記	(守矢岩江)		寛政三辛亥 年正月元日	1791	1	1	縦帳	1	十一月廿五日まで			メモ	13-5-491~511
954	諸事日記	(守矢岩江)		寛政四壬子 年正月元旦	1792	1	1	縦帳	1	十二月廿九日まで	吉田家へ 請書の件		メモ	13-5-512~519
955	諸事日記	(守矢岩江)		寛政五癸丑 年正月元旦	1793	1	1	縦帳	1	七月八日まで			メモ 穴	13-5-520~554
956	諸事日記	(守矢岩江)		寛政六甲寅 年正月元旦	1794	1	1	縦帳	1	七月廿七日まで	買地の件	寛政六 年八月 十九日 主殿死	メモ	13-5-555~599
957	諸事日記	(守矢岩江)		寛政二庚戌 年正月元日	1790	1	1	縦帳	1	正月十一日～三 月廿日	御杖の傷 の件			13-5-600~607
958	諸事日記	(守矢岩江)		寛政七乙卯 年正月元日	1795	1	1	縦帳	1	正月廿六日まで				13-5-608~615

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
959	諸事日記	(守矢岩江)		寛政八丙辰 年正月元旦	1796	1	1	竖帳	1	二月四日まで			メモ	14-1-1~13
960	諸事日記	(守矢岩江)		寛政十戊午 年正月吉日	1798	1		竖帳	1	正月十二日まで			メモ	14-1-14~19
961	日記	(守矢岩江)		寛政十一己 未年正月元	1799	1	1	竖帳	1	三月十三日まで	大草村御 符料の件		メモ 穴	14-1-20~38
962	日記	(守矢主殿)		天明六丙午 年	1786	6		竖帳	1	六月~十二月十 二日		主殿は 実友	メモ	14-1-39~47
963	諸事日記	(守矢主殿)		天明七丁未 年正月元旦	1787	1	1	竖帳	1	十一月廿七日まで	大祝即位 お齒黒の 事あり		メモ	14-1-48~75
964	諸事日記	(守矢主殿)		天明八戊申 年正月元旦	1788	1	1	竖帳	1	六月六日まで			メモ	14-1-76~99
965	日記	(守矢岩江)		天明八戊申 年九月	1788	9	15	竖帳	1	九月十五日~十 二月晦日		天明八 年十二 月六日 主殿よ り岩江 (実綿) へ家督	メモ	14-1-100~106
966	諸事日記	(守矢岩江)		天明九己酉 年正月元旦	1789	1	1	竖帳	1	三月廿一日まで			メモ	14-1-107~126
967	諸事日記	(守矢岩江)		享和二壬戌 年正月元日	1802	1	1	竖帳	1	十二月廿三日まで			メモ	14-2-127~158
968	諸事日記	(守矢岩江)		享和三癸亥 年正月元日	1803	1	1	竖帳	1	十二月廿三日まで			メモ	14-2-159~164
969	諸事日記	(守矢岩江)		享和四甲子 年正月元日	1804	1	1	竖帳	1	正月廿七日まで			メモ	14-2-165~179
970	神政所日誌	五官		明治三庚午 年正月	1870	1		竖帳	1	十二月廿七日まで			メモ	14-2-180~243
971	神長官日誌	内記局(守矢実久)		明治 重光 治年次 元	1871	1	1	竖帳	1	十二月廿九日まで			メモ	14-3-244~319
972	古翠館日誌	(守矢実久)		明治二己巳 年正月	1869	1		竖帳	1	十二月晦日まで	洩矢神御 社参詣の 事		メモ	14-3-320~349
973	参籠所日誌	五官		明治二己巳 年正月	1869	1		竖帳	1	十二月晦日まで	神葬祭名 面あり		メモ	14-4-350~456
974	公私日記	(守矢主殿)		文政二己卯 年正月	1819	1		竖帳	1	十月十七日までと 文政四年記事			メモ	14-5-457~461
975	御用日記	宮奉行		万延元庚申 年正月	1860	1		竖帳	1	十二月まで			メモ	14-5-462~514

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
976	東京在府日記	神長官		明治二己巳 年八月	1869	8		縦帳	1	十二月十日まで			メモ	14-5-515~553
977	御造営定拂帳	長坂衛守 伊藤 監物	矢崎織右衛 門	安永甲午年 正月	1774	1		縦帳	1				メモ	14-6-554~558
978	(出張人数名簿)			明治元辰年 二月	1868	2		縦帳	1	高松殿御発向等 十回の出張名面	市文化財	当年日 記に高 松殿の 記事有 り	メモ	14-6-559~566
979	年貢定納牒			延享三丙寅 年十月吉祥	1746	10		縦帳	1	山田新田・神宮寺 村等			メモ	14-6-567~574
980	参籠所日記	五官		慶応四戊辰 年正月	1868	1		縦帳	1	十二月廿九日まで	高松殿・ 富饒夫の 事		メモ	14-6- 575~621~15- 1-86
981	物成帳	守矢民部盛実		寛文拾年九 月吉日	1670	9		縦帳	1	神長官知行	花押 市 文化財		穴 破れ	15-1-87~98
982	伺願中日誌			明治 重光 治年次 十又 三日	1871	1	13	縦帳	1	賀表・玉串献上の 事に付き上京	明治四年 一月十三 日		メモ	15-1-99~108
983	御歳文寺社分高出之 帳		山田新田	元禄十四辛 巳年三月三	1701	3	3	縦帳	1	高と抜高			メモ	15-1-109~116
984	御造営御成序帳	伊藤監物 長坂 衛守		安永三甲午 年正月	1774	1		縦帳	1	御朱印高・増減・ 物成	市文化財		メモ	15-1-117~125
985	高部村検地二付手前 屋敷入組留帳	神長官		寛延二己巳 年十月	1740	10		縦帳	1	手前の屋敷は除 地の筈			メモ	15-2-126~130
986	年貢定納牒			享保十七壬 子年十一月	1732	11		縦帳	1	高部・宮脇・山田 新田				15-2-131~137
987	神宮寺分持地名寄			寛政六甲寅 年十二月	1794	12		縦帳		高と物成			メモ 二 冊合冊	15-2-148~151
987	古検名寄新検名寄扣	守矢岩江		(寛政六年)	1794			縦帳	1	高と物成			メモ 二 冊合冊	15-2-138~148
988	物成納牒			享保八癸卯 年十一月	1723	11		縦帳	1	神宮寺村・高部 村・山田新田			メモ 穴	15-2-152~164
989	飯田御頭郷書状下書	神長官	(嶋田村)	天明二壬寅	1782			縦帳	1	御符料納通知			メモ	15-2-165~174
990	年貢物成帳			天和三癸亥 年十月廿九	1683	10	29	縦帳	1	山田新田			メモ	15-2-175~182
991	諏訪宮御符料帳	市田郷		文政六未年 十一月	1823	11		縦帳	1	弘化四年十二月 まで御符料納入帳	朱印			15-2-183~188

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
992	上社領租税録			元治子年(元年)	1864			縦帳	1	以後明治辰年まで 神宮寺・神之原・ 高部・田沢・丸山・ 北久保・山田新田	市文化財		メモ	15-2-189~197
993	諏方宮御符料帳	田嶋村		文化十四丑 年十一月	1817	11		縦帳	1	弘化四年十二月 八日まで	朱印		メモ	15-2-198~204
994	御玉会御初尾覚			享保七寅年 三月	1722	3		縦帳		御初尾料			二冊合 冊	15-2-214~219
994	飯田御頭之郷			元禄五壬申 年十二月吉	1692	12		縦帳	1	御符料			二冊合 冊	15-2-205~214
995	諏方宮御符料帳	七久保村		文化十四丑 年十二月	1817	12		縦帳	1	弘化四年十二月 まで	朱印		メモ	15-2-220~225
996	日記	長官(守矢主殿)		文化八辛未 年十一月	1811	11		横半 帳	1	神長官代替わりに 付き伊那郡廻村			メモ	15-3-226~265
997	公私記			明治十四年	1881				1	明治十四年四月 ~明治十七年十 一月廿八日	罫紙		メモ	15-3-266~280
998	諏方宮御符料帳	上片桐		(文化十四 年)丑十二月 十四日	1817	12	14	縦帳	1	弘化四年十二月 十二日まで	朱印			15-3-281~286
999	日記	古翠		明治七甲戌 年一月	1874	1		縦帳	1	七月十七日まで	御頭祭礼 行列順有 り		メモ	15-3-287~297
1000	諏方宮御符料帳	柏原郷		(文化十一 年)戌十一月 廿六日	1814	11	26	縦帳	1	子十二月二十四 日まで	朱印			15-3-298~300
1001	神政局日誌	五官中		明治五壬申 年正月	1872	1		縦帳	1	六月廿七日まで			メモ	15-3-301~338
1002	諏方宮御符料帳	大嶋町 名子村		文政六年未 十一月	1823	11		縦帳	1	弘化四年十二月 まで	朱印		メモ	15-3-339~344
1003	大検見引目録	牛山彦左衛門 岩波源五左衛門		安政五戊午 年十月廿二	1858	10	22	横帳	1	神領山田新田不 作に付検見			メモ	15-3-345~356
1004	筆記	守矢		明治九年一 月	1876	1		縦帳	1	十三年十一月廿 九日まで			メモ	15-3-357~15- 4-384
1005	日誌	守矢		明治六癸酉 年一月	1873	1		縦帳	1	十二月三十一日 まで			メモ	15-4-385~417
1006	歩割 條并新古越萬書 上帳				1867	2		横帳	1	歩割を五箇条に大 別			メモ 穴	15-4-418~428
1007	乙卯年高嶋 渡候書附 写			(寛政七年) 乙卯年	1795			縦帳	1	神領永引起返差 引越米に付			メモ	15-4-429~450

目録番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
1008	神長官日誌			明治五壬申年正月	1872	1		縦帳	1	十二月二日まで			メモ	15-4-451~15-5-513
1009	田畑町歩高目録扣	高部村地引九兵衛		寛延二己巳年十二月	1749	12		縦帳	1	高部村の町歩と高上社四寺院八坊の年貢			メモ	15-5-514~523
1010	(年貢高書付)				1867	1		縦帳	1				メモ	15-5-524~532
1011	御祭礼請事書留	御取次矢嶋杉之丞		安政二乙卯年正月三日	1855	1	3	横帳	1	親郷上原村				15-5-533~553
1012	名寄扣				1869			縦帳	1	田畑町歩高			メモ	15-5-554~564
1013	御頭御祭礼諸事書留			文政八乙酉年正月三日	1825	1	3	横帳	1	親郷下桑原郷				15-5-565~580
1014	御頭御祭礼諸事書留	御頭上金子		嘉永三庚戌年正月吉日	1850	1		横帳	1	親郷上金子村				15-5-581~601
1015	御頭御祭礼諸事書留			安政三丙辰年正月三日	1856	1	3	横帳	1	親郷下桑原村				15-5-602~623
1016	御頭御祭礼諸事書留帳	立石半三郎		文政六癸未年正月	1823	1		横帳	1	親郷上金子郷				16-1-1~11
1017	御頭御祭礼諸事書留	真志墅村		萬延二辛酉年正月	1861	1		横帳	1	親郷真志野村				16-1-12~33
1018	御頭御祭礼諸事書留	大熊村		元治二乙丑年正月三日	1865	1	3	横帳	1	親郷大熊郷				16-1-34~54
1019	御頭御祭礼諸事書留	茅野村		嘉永五壬子年正月三日	1852	1	3	横帳	1	親郷上桑原村	表紙と異なる	内容は317		16-1-55~75
1020	御頭御祭礼諸事書留	御頭上桑原村		文久三癸亥年正月三日	1863	1	3	横帳	1	親郷茅野村	表紙と異なる	内容は316		16-1-76~96
1021	御頭御祭礼諸事書留			嘉永四辛亥年正月三日	1851	1	3	横帳	1	親郷矢ヶ崎村				16-1-97~116
1022	御頭御祭礼諸事書留			天保二辛卯年正月吉日	1831	1		横帳	1	親郷福嶋村				16-2-117~132
1023	御頭御祭礼諸事書留			安政七庚申年正月吉日	1860	1		横帳	1	親郷南大塩村				16-2-133~154
1024	御頭御祭礼諸事書留	有賀村		天保十己亥年正月三日	1839	1	3	横帳	1	親郷有賀村			虫喰い破れ	16-2-155~176
1025	御頭御祭礼諸事書留			弘化二乙巳年正月三日	1845	1	3	横帳	1	親郷真志野				16-2-177~198
1026	御頭御祭礼諸事書留	上金子郷		天保六乙未年正月三日	1835	1	3	横帳	1	親郷上金子郷			虫喰い	16-2-199~218
1027	御頭御祭礼諸事書留	上金子村		文久四甲子年正月三日	1864	1	3	横帳	1	親郷上金子村				16-2-219~239
1028	御頭御祭礼諸事書留			天保十四癸卯年正月三	1843	1	3	横帳	1	親郷上金子村				16-3-240~261

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
1029	年貢定納牒			明和九壬辰 年十月	1772	10		縦帳	1	高部村・山田新 田・神宮寺村			メモ	16-3-262~266
1030	御頭御祭礼諸事書留			天保九戊戌 年正月三日	1838	1	3	横帳	1	親郷矢ヶ崎村			虫喰い	16-3-267~284
1031	御物成指出シ帳	高部村年寄幸七 同断仙松他一名	神長官	寛政四壬子 年三月	1792	3		縦帳	1				メモ	16-3-285~289
1032	御頭御祭礼請書留	上桑原村		天保四癸巳 年正月三日	1833	1	3	横帳	1	親郷上桑原村				16-3-290~306
1033	米金手形拂扣			安永六丁酉 年正月	1777	1		縦帳	1				メモ	16-3-307~322
1034	御頭郷規約書			明治九年二 月八日	1876	2	8	縦帳	1	旧例改め新規約	朱印			16-3-323~331
1035	年貢定納牒			宝暦六丙子 年十月吉祥 日	1756	10		縦帳	1	山田新田・神宮寺 村・高部村・神ノ原 村			メモ	16-3-332~336
1036	御物成書上帳	高部村	(守矢主殿)	文政十一戊 子年八月	1828	8		縦帳	1				メモ	16-3-337~341
1037	年貢定納牒			寛延三戊午 年十月吉祥	1750	10		縦帳	1	高部村・山田新 田・神宮寺村			メモ	16-3-342~349
1038	年貢定納牒			寛延二己巳 年十月吉祥	1749	10		縦帳	1	山田新田・神宮寺 村・高部村			メモ	16-3-350~358
1039	御物成指出帳	高部村		天明五乙巳 年十一月	1785	11		縦帳	1				メモ 破 れ	16-3-359~363
1040	年貢定納牒			宝暦七丁丑 年十月吉日	1757	10		縦帳	1	山田新田・神宮寺 村・高部村・神ノ原 村			メモ	16-3-364~369
1041	年貢定納牒			寛延四辛未 年十月吉祥	1751	10		縦帳	1	高部村・山田新 田・神宮寺村			メモ	16-4-370~380
1042	年貢定納牒			宝暦五乙亥 年十月吉祥	1755	10		縦帳	1	高部村・山田新 田・神宮寺村・神ノ			メモ	16-4-381~387
1043	御尋二付書上扣	(下社)大祝 武 居祝他三		嘉永四辛亥 年八月	1851	8		縦帳	1	狩衣免状神道伝 授一件に付				16-4-388~398
1044	諏方社祭祀再興武田 信玄下知十一軸写			永禄八乙丑 年十二月七 日	1566	12	7	縦帳	1	上社の部九軸	明治廿七 年七月神 長官写			16-4-399~470
1045	守矢氏神長正三位神 頼真卿書留写			天文十一年	1542			縦帳	1	十八年まで	写			16-4-471~479
1046	武田家祭典下知十一 軸ノ内下諏方社之分式			永禄九丙寅 年九月晦日	1566	9	30	縦帳	1					16-4-480~506

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
1047	(書状)	高橋兵庫頭 牧 主計頭 青木四 位 種田刑部少	神長官 祢 宜大夫 権 祝 擬祝	正月	1868	1		折紙	1	鷹司へ献じた祝 詞・御玉会・御末 広礼状	花押	包紙付		16-5-507~512
1048	嘉禎四年古神事式			嘉禎四年	1238	12	2	竖帳	1	年中神事次第写	写	418-08 の写		16-5-513~527
1049	(書状)	頼忠	祢宜大夫 権祝他二名	卯月廿二日		4	22	竖紙	1	御玉会礼状	花押 写			16-5-528
1050	(書状)	勝頼	権祝	(天正九年) 十二月廿八 日	1581	12	28	竖紙	1	勝頼が新館に移る ときあげた御玉会 礼状	花押 写			16-5-529
1051	(書状)	晴信	矢崎和泉守	天文十四乙 巳年六月	1545	6		竖紙	1	塩尻合戦感状	写			16-5-530
1052	諏訪神社畧縁起	(守矢実久)			1868			竖帳	1		守矢実久 編纂によ 書留人小 川昇之助			16-5-531~544
1053	當社御旧格大凡	諏訪大祝他五	鎮撫使岩倉 前少将他一	慶応四戊辰 年三月	1868	3		竖帳	1	諏訪社旧格報告				16-5-545~559
1054	證	文科大学教授星 野恒他三	守矢実頭	明治二十二 年九月四日	1889	9	4		1	守矢文書借用書	罫紙			16-5-560~567
1055	年中神拝畧記	神宮祭主兼大教 正正二位近衛忠 房		(明治)	1868	2		竖帳	1	国の祭日に付				16-5-568~582
1056	古書抜粹				1869			竖帳	1	諏訪国・神田・神 階・祭祠等に付抜 書				16-5-583~594
1057	嘉暦四年鎌倉將軍下 知上中下十三所造栄 目録	相模守平朝臣高 時		嘉暦四己巳 年三月	1329	3		竖帳	1	大宮御造營之目 録より十三所の分 抜書	写			16-5-595~607
1058	神長官古文書抜粹			(明治ころ)	1905	2			1	千野氏関係抜書	罫紙			16-5-608~611
1059	旧記留古書写			(明治ころ)	1905			竖帳	1	上社・大祝関係等 抜書				16-5-612~17- 1-17
1060	下諏方社				1590			竖帳	1	中世下社宛公文	十三通写			17-1-18~31
1061	大宮御造營之目録			嘉暦四年	1329			竖帳	1		写			17-1-32~54
1062	文明十七年神長継實 手記大祝職位傳授次 第	浅寛		文明十七年 閏三月廿七 日	1485	3	27	竖帳	1	スワヲオハウリトノ 御シヨクイトキ十 三シヨ御シヤサン 次第写	写 花押			17-1-55~62
1063	神守矢氏従五位下信 濃守神満實書留				1469			竖帳	1		明治二十 五年守矢 実久写	寛政七 年より		17-1-63~93

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
1064	神国令	(吉田殿神学教諭方玉田永教)			1868			縦帳	1	あらゆる事物に神がある事	文政十年二月神実延写			17-1-94~106
1065	古事記傳抜書				1869			縦帳	1	建御名方神部分抜書				17-2-107~135
1066	御布告之摸	神朝官高鞞(模)		明治四辛未年十月	1871	10		縦帳	1	神官の身分・神社の社格等	花押 写			17-2-136~157
1067	上諏方御柱大鳥居御宝殿御門屋廊末社造宮帳清書帳			天正六戊寅年二月吉日	1578	2		縦帳	1	御柱年における造営	写			17-2-158~204
1068	守屋大連公家譜并畧				1891	2			1		野紙			17-2-205~213
1069	夷船渡来二付御祈禱御教書七通写			嘉永六年十一月	1853			縦帳	1	京都からの御教書		御教書を巡り上下社で争い有り101以		17-2-214~222
1070	御柱出之事	横内村矢嶋左近	伍龍女宮大明神	天正拾二甲申年十月	1584	10		縦紙	1	横内村への御小屋山榎木出し許可証文	写か控			17-2-223
1071	当社今年神使頭番役之事	神長官			1868	1		縦紙	1	外県介役指示書雛形				17-2-224
1072	大塔軍記抜書				1400			縦帳	1	大塔軍記・高遠記・伊那武鑑根元記抜書				17-2-225~233
1073	大祝代々職位傳授書				1891	1		縦帳	1	大同元年～幕末、神長代々も記す	明治廿四年六月下浣神朝臣実久写	原典不明		17-3-234~248
1074	諏方本宮攝社末社書上帳	諏方大祝	(吉田御本所)	文化六己巳年十一月	1809	11		縦帳	1		守矢実延写			17-3-249~257
1075	上原千鹿頭社他右古文書取調書			(明治ころ)	1905	3		縦帳	1	守矢文書より由緒調べ				17-3-258~300
1076	社格記				1868			縦帳	1	諏訪大社の社格由緒	古翠館			17-3-301~309
1077	御答書諏方上社				1868			縦帳	1	神社下問への答	(古翠館)			17-3-310~318
1078	日記書抜				1584			縦帳	1	天正十二年～宝暦十一年三月五	写			17-3-319~329

目録番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
1079	應永年間御符并御渡写／嘉暦四年鎌倉殿御下知状写			嘉暦四年	1329			縦帳	1	神使頭差定書・御渡報告・御射山頭役結番の事	写	下知状は御射山頭役結番の事		17-3-330~348
1080	州波社年中古典祝詞集	高鞆		明治二年八月朔旦	1869	8	1	縦帳	1					17-4-349~365
1081	銀台遺事、地鈔出	(細川重賢)			2004			縦帳	1	阿蘇大宮司家に高木権宮司御尋ねに付返書下書				17-4-366~371
1082	年中祭式下帳	(守矢)実頭	権宮司高木雅矩		1872	6	16	縦帳	1					17-4-372~385
1083	雑誌	神長官(実久)		明治廿七年一月一日	1894	1	1	縦帳	1	廿八年一月十五日まで	渡辺国武の事		メモ	17-4-386~432
1084	雑誌	神長館		明治廿一年	1888			縦帳	1	廿六年十二月十日まで	照雲石塔の事		メモ	17-4-433~5-512
1085	(御射山御祈祷の折行列人数覚断簡)			(安政四年)	1858			切紙	1			袋付		17-5-513・514
1086	社領千石				1868			縦帳	1	諏訪社略歴と七不思議、郡内名所				17-5-515~526
1087	奉伺上書	香取神宮大宮司	神祇官御役所	明治元戊辰年十一月	1868	11		縦帳	1	堂塔撤去・神葬祭に付き伺	写		メモ	17-5-527~534
1088	下宮祝部由緒書(他)				1869			縦帳	1	下宮及び上宮之祝部由緒・頭役状雛形・神事免所務高の事等	写			17-5-535~549
1089	物成納帳			元禄七甲戌年十二月吉日	1694	12		縦帳	1	神宮寺村物成及び宝永元年山田新田差出し			メモ 虫喰い	17-5-550~561
1090	(年内神事次第旧記写)				1354	4		縦帳	1		文安五年写			17-5-562~607
1091	(願状下書)				1811			折紙	1	装束差別に付き願		388-00「葬祭一巻		17-5-608~611
1092	口上書覚	神長官守矢岩江	御本所御役人	(文化五年)	1808			継紙	1	御頭郷死人の神道葬祭に付	市文化財			18-1-001・002
1093	(書状下書)	(守矢岩江)		(文化六年)	1809	13		折紙	1	碎御厄介に付き礼状及び諏訪大祝誓約の儀に付き土橋出府の件			メモ	18-1-003・004
1094	口上書覚	(守矢岩江)		(文化五年)	1808	13		継紙	1	神道葬祭に付菊池東原依頼			メモ	18-1-005~010

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
1095	(書状下書)	(守矢岩江)	(吉田役所)	(文化五年)	1808	13		継紙	1	神道葬祭免許及び証状拝受に付届出懸合書状案文教授願			メモ	18-1-011~014
1096	(書状扣)	(守矢岩江)		(文化五年)	1808	13		継紙	1	神道葬祭に付き藩不認可の経緯			メモ	18-1-015~019
1097	教諭	(守矢岩江)		(文化五年)	1808	13		継紙	1	神道葬祭に付き藩不認可の経緯	下書			18-1-020~024
1098	(書状扣)	(守矢岩江)		(文化五年)	1808	13		継紙	1	倅及び矢嶋能登守厄介礼状				18-1-025~027
1099	(書状扣)	(守矢岩江)	(吉田本所役所)	(文化五年)	1808	13		継紙	1	神葬御伝授願書に付			メモ	18-1-028・029
1100	(書状下書)	守矢岩江	宮川	(文化五年)	1808	13		継紙	1	神道葬祭伝授並に証状拝受願に			メモ	18-1-030~034
1101	奉願	擬祝伊藤縫殿 神長官守矢岩江	(御造営役人)	(文化五年)	1808	13		継紙	1	神道葬祭伝授並に証状拝受に付金子拝借願	下書		穴	18-1-035~037
1102	下書	(守矢岩江)	(吉田本所役人)	(文化五年)	1808	13		継紙	1	神道葬祭伝授礼状及び面倒の経	包紙		メモ	18-1-038
1103	以書付御届申上候覚	上諏方神長官守矢岩江 同社擬祝伊藤縫殿	(藩)	(文化五年)	1808	13		継紙	1	神道葬祭免許取得に付き届出			メモ	18-1-046~048
1104	(書状下書)	(守矢岩江 伊藤縫殿)	(法華寺)	(文化五年)	1808	13		継紙	1	神道葬祭免許取得に付き届出			メモ	18-1-049・050
1105	(書状手扣)	(守矢岩江)	(吉田役所)	(文化五年)	1808	13		切紙	1	吉田式部左衛門より申し聞けに付			メモ	18-1-051
1106	(断簡)		諏訪八之進 山中牧太	(文化五年) 戊辰閏六月 四日	1808			切紙	1			年月と 名前だけ	メモ	18-1-052
1107	(書状下書)	長坂主計 伊藤縫殿他二名	宮川弾正	(文化五年) 正月十五日	1808	1	15	継紙	1	神道葬祭別紙にて 申し上げる		83-03 に続く		18-1-053・054
1108	内々理解申聞候手扣	(藩)	(守矢岩江)	(文化五年)	1808	13		継紙	1	神道祭願下げ許可に付			メモ	18-1-055~060
1109	覚書	(守矢岩江)		(文化六年)	1809			継紙	1	立烏帽子御免許に付		388-01 関連 大内介 出張の 次の年		18-1-061~067
1110	(書状)	(守矢岩江)	(志賀初右衛門)	十一月十日	1810	8	10	折紙	1	登城通達に付		27-07・ 78-13 関連		18-1-068~069

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
1111	口上	小川	宮内	(嘉永七年) 廿九日	1854		29	継紙	1	口上書落手に付		388-34 関連 小川氏	メモ	18-1-070~071
1112	(口上下書)	(守矢岩江)	(藩)	(文化五年)	1808	13		切紙	1	神道祭願下げ口 上書に付			メモ	18-1-072
1113	覚	(守矢岩江)		(文化五年)	1808	13		継紙	1	神道祭願下げ折 衝の経緯			メモ	18-1-073・074
1114	(書状)	今井	伊藤 守矢	(嘉永七年) 閏七月二日	1854	7	2	継紙	1	法華寺一件示談 に付				18-1-075~079
1115	舌代	工藤権右衛門	守矢宮内	(嘉永七年) 七月二十四	1854	7	24	継紙	1	昨日一件に付き法 花寺へ書取差出			メモ	18-1-080~082
1116	(書状)	今井蔵人	守矢宮内	(安政五年) 二月廿五日	1858	2	25	継紙	1	出府の砌吉田家 へ罷出に付			メモ	18-1-083~086
1117	口上覚	守矢宮内 伊藤 主膳		(嘉永七年)	1854			継紙	1	神葬祭願下げに 付き法華寺帰檀	包紙			18-1-087~090
1118	(書状下書)	守矢宮内	法華寺	(嘉永七年)	1854	8		切紙	1	主殿死去後法華 寺帰檀に付			メモ	18-1-091~092
1119	(書状)	蔵人	宮内	(嘉永七年) 廿九日	1854		29	切紙	1	神道葬祭に付		388-30 関連		18-1-093
1120	(書状)	(守矢宮内)		(安政五年)	1858			継紙	1	吉川家より葬祭伝 授に付き郡方及び 法華寺との折衝		388-34 関連 小川氏 立ち入	破れ	18-1-094~095
1121	書取大畧	(守矢宮内)	(郡方)	(嘉永七年)	1854			折紙	1	主殿死去に付き神 葬祭にて葬儀仕候 儀				18-1-096・097
1122	口上	(守矢宮内)	(郡方)	(嘉永七年) 七月廿九日	1854	7	29	切紙	1	主殿葬儀吉田家と 無関係の旨			破れ メ モ	18-1-098
1123	(書状)	今井蔵人	守矢宮内	(嘉永七年) 八月十四日	1854	8	14	継紙	1	主殿改葬の噂に 付			メモ	18-1-099~101
1124	(書状下書)	(守矢宮内)	(藩)	(嘉永七年)	1854			折紙	1	法華寺と示談した が法事延期		小川氏 立ち入		18-1-102
1124	(書状下書)	(守矢宮内)	(藩)	(嘉永七年)	1854				1	法華寺と示談に付 き口上書願下げ		小川氏 立ち入		18-1-103
1125	(書状下書)	法華寺	守矢主殿		1830			切紙	1	宗門一札雛形		文政こ ろ	メモ	18-1-104~106
1126	(書状)	要人 主計	主膳 宮内	(嘉永七年) 廿七日	1854		27	継紙	1	吉田家との係わり の有無差出す様 申達し		388- 32、 389- 01-8と 関連	メモ	18-1-107~109

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
1127	手扣			文化八年正月十一日	1811	1	11	切紙	1	跡目の宗門証状受領に付			メモ	18-1-110~111
1128	手扣	守矢宮内	(藩)	(嘉永七年) 閏七月	1854	7		切紙	1	主殿病氣に付き届書差出し遅延詫び状			メモ	18-2-112
1129	口上覚	伊藤縫殿 守矢岩江	諏訪八之進 山中牧太	(文化五年) 辰三月十三	1808	3	13	継紙	1	神道祭日延願に付			メモ	18-2-113~119
1130	口上覚	伊藤縫殿 守矢岩江	千野弥太郎 山中牧太	(文化六年) 巳十一月廿一日	1809	11	21	継紙	1	吉田役所へ提出した神道祭日延願一件如何	裏印		メモ	18-2-120~122
1131	(書状写)	(郡方)	(守矢)	(文化五年)	1808			継紙	1	葬祭免許願下げは筋に有らず			メモ	18-2-123~125
1132	(書状)	主膳 宮内	要人 隼人 主計	(嘉永七年) 廿一日	1854		21	継紙	1	手順不備に付高嶋へ差出した別紙添状			メモ	18-2-126~128
1133	手扣	守矢宮内	(郡方)	(嘉永七年) 閏七月	1854	7		継紙	1	主殿死去届遅延詫状			メモ	18-2-129
1133	手扣	守矢宮内	(郡方)	(嘉永七年) 閏七月	1854	7		継紙	1	主殿死去届遅延詫状			メモ	18-2-130
1134	口上書覚	守屋岩江	御本所御役人	(文化四年) 卯四月	1807	4		継紙	1	神道葬祭御許容願			メモ 破れ	18-2-131・132
1135	(書状)	要人 主計	宮内	(嘉永七年) 廿二日	1854		22	切紙	1	宮田渡に届出に付				18-2-133・134
1136	(書状)	守之助	主膳 宮内	(嘉永七年) 壬七月一日	1854	7	1	継紙	1	法華寺一件に付き能々相談仕候様			メモ	18-2-135~139
1137	(書状)	今井蔵人	守矢宮内	(嘉永七年) 八月十一日	1854	8	11	継紙	1	法事日延承知			メモ	18-2-140~142
1138	規定書	法花寺	守矢宮内 伊藤主膳	安政二乙卯年三月	1855	3		継紙	1	宗判承諾	市文化財	389-01-00 袋		18-2-143~147
1139	別紙	今井(蔵人)	伊藤(主膳) 守矢(宮内)	(嘉永七年)	1854			継紙	1	示談後吉川家伝授を受ける可く	包紙		メモ	18-2-148~151
1140	規定書草案	法花寺	守矢宮内 伊藤主膳	(安政二年)	1855	3		継紙	1	宗判承諾		389-01-01 草案		18-2-152~156
1141	(草案)	(守矢宮内)	(宮田渡)	(嘉永七年)	1854			継紙	1	主殿死去に付届出及び葬儀の件			メモ	18-2-157~159
1142	(申達)	(幕府寺社奉行)		(嘉永七年) 寅二月	1854	2		継紙	1	離檀改宗の手続きに付			メモ	18-2-160・161
1143	(書状下書)	(守矢宮内)	(藩)	(嘉永七年)	1854			継紙	1	主殿葬儀執行に付き詫状			メモ	18-2-162・163

目録番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
1144	(書状下書)	(守矢宮内)	(藩)	(嘉永七年)	1854			折紙	1	法華寺寺判申受け届			メモ	18-2-164・165
1145	(書状)	隼人	宮内	(嘉永七年) 廿三日	1854		23	切紙	1	神葬に付き、宮田渡の詰問通知			メモ	18-2-166・167
1146	(書状)	守矢宮内	法華寺	(嘉永七年) 七月廿三日	1854	7	23	折紙	1	吉田一件一応事済み			メモ	18-2-168・169
1147	(書状)	兩人	宮内	(嘉永七年) 七月	1854	7		切紙	1	主殿死去届に付			メモ	18-2-170・171
1148	(書状)	法華寺	守矢宮内	(嘉永七年) 七月廿三日	1854	7	23	継紙	1	葬祭一件行き違に付き埋葬見合わせる可			メモ	18-2-172~175
1149	(書状)	守矢宮内 宮坂作左衛門	法華寺	(嘉永七年) 寅八月	1854	8		継紙	1	宗印請け改葬仕る			メモ	18-2-176~178
1150	(書状)	守矢宮内	法華寺	(嘉永七年) 寅八月	1854	8		継紙	1	帰檀し宗印請け申し候			メモ	18-2-179・180
1151	(書状断簡)	守矢宮内	(藩)	(嘉永七年) 二月	1854	2		継紙	1	宗門一札の受け方指図願	前欠		メモ	18-2-181
1152	(書状)	(守矢宮内)	(宮田渡)	(嘉永七年) 七月廿四日	1854	7	24	切紙	1	神葬仕りたき儀			メモ	18-2-182・183
1153	(書状)	今井蔵人	守矢宮内 伊藤主膳	(嘉永七年) 四月朔日	1854	4	1	切紙	1	御一条御案文に付		小川氏	メモ	18-2-184~186
1154	(書状下書)	守矢宮内	法華寺	(嘉永七年) 寅八月	1854	8		切紙	1	帰檀し宗印請け申し候	下書	389-01-13 下書	メモ	18-2-187・188
1155	口上覚	今井蔵人	小川守之助 守矢宮内	(嘉永七年) 壬七月廿九	1854	7	29	折紙	1	一件に付き一計の施しようもなく	包紙		メモ	18-2-189~191
1156	一札	守矢主殿	菅沼磯右衛門	嘉永六癸丑年三月十七日	1853	3	17	竪紙	1	宗門一札		389-03-00 「甲寅宗門一札」包	メモ	18-2-192・193
1157	一札	守矢主殿	矢嶋湊江亮	嘉永六癸丑年三月十七日	1853	3	17	竪紙	1	宗門一札			メモ	18-2-194
1158	口上覚	守矢主殿 伊藤主膳	(藩)	三月	1830	3		継紙	1	文化以前の通り寺判申受けたきに付		文政ころ	メモ	18-2-195~197
1159	口上覚	守矢宮内	(藩)	(安政五年) 二月	1858	2		継紙	1	吉川家へ葬祭免許請けたき儀	包紙		メモ	18-2-198~201
1160	口上覚	守矢主殿 伊藤主膳	(藩)	(文化十年) 三月	1813	3		継紙	1	吉田家一件片付に付き宗門一札書			メモ	18-2-202~204
1161	口上覚	守矢主殿 伊藤主膳	(藩)	(文化十年) 酉三月十一	1813	3	11	継紙	1	吉田家宗門証状書替に付			メモ	18-2-205~207

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
1162	口上覚	伊藤主膳 守矢 宮内		(嘉永七年) 七月廿八日	1854	7	28	継紙	1	主殿葬儀穩便願 神道葬祭執行申 開き			メモ	18-2-208~210
1163	口上覚	伊藤主膳 守矢 宮内	(藩)	(嘉永七年) 閏七月	1854	7		継紙	1	吉田家宗門証状 文面書替えに付 法華寺宗門へ立 戻り届		389-12 下書	メモ	18-2-211~213
1164	口上覚	伊藤主膳 守矢 主殿	諏訪八之進 山中牧太	(文化八年) 未三月廿五	1811	3	25	継紙	1	吉田家宗門証状 文面書替えに付 法華寺宗門へ立 戻り届		389-19 に続く	メモ	18-2-214~215
1165	口上覚	伊藤主膳 守矢 宮内	(藩)	(嘉永七年) 閏七月	1854	7		切紙	1	神道葬祭執行申 開き			メモ	18-2-216~217
1166	口上覚	伊藤主膳 守矢 宮内	(藩)	(嘉永七年) 閏七月	1854	7		継紙	1	吉川家の神道葬 祭免許申請			メモ	18-2-218~221
1167	口上覚	伊藤主膳 守矢 宮内	(藩)	(安政五年) 三月	1858	3		継紙	1	吉川家へ神道葬 祭免許申請	包紙		メモ	18-3-222~228
1168	口上覚	守矢宮内	(藩)	(安政五年) 二月	1858	2		継紙	1	主殿死去に付き葬 祭問合せ			メモ	18-3-229~232
1169	(書状)	法華寺	守矢宮内	(嘉永七年) 七月廿三日	1854	7	23	継紙	1	法華寺と和熟相成 に付			メモ	18-3-233~236
1170	口上覚	守矢宮内	(藩)	(嘉永七年) 寅八月	1854	8		折紙	1	和熟に付宗門一 札並口上書御下 吉川家宗門証状 拝受伺い			メモ	18-3-237・238
1171	口上覚	伊藤主膳 守矢 宮内	(藩)	(嘉永七年) 八月	1854	8		継紙	1	吉川家宗門証状 拝受伺い			メモ	18-3-239・240
1172	口上覚	守矢宮内	吉川氏	(安政二年) 卯正月	1855	1		切紙	1				メモ	18-3-241
1173	口上覚	伊藤分三郎 守 矢主殿	諏訪八之進 千野弥太郎 他一	(文化八年) 未正月九日	1811	1	9	継紙	1	吉田家より神道祭 並継目証状受け たき儀	裏印	受取人 三人は 文化八 年(末 年)当 時郡奉	メモ	18-3-242~244
1174	口上覚	守矢宮内 伊藤 主膳	(藩)	(安政五年) 午二月	1858	2		継紙	1	吉川家へ神道葬 祭免許申請		389- 13・ 389-14 と同じ 内容	メモ	18-3-245・246
1175	口上覚	守矢主殿 伊藤 主膳	(藩)	三月	1830	3		切紙	1	文化以前の通り寺 判申受に付		389-04 と同じ 内容 文政二	メモ	18-3-247・248
1176	口上覚	(守矢宮内)	(藩)	(安政五年二 月)	1858	2		切紙	1	吉田家へ神道葬 祭免許申請	下書 包 紙	389- 13・ 389-14 下書	メモ	18-3-249~251

目録番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
1177	口上覚	伊藤主膳 守矢宮内		(嘉永七年) 甲寅七月	1854	7		継紙	1	主殿取置の儀に付き不束仕			メモ	18-3-252~253
1178	口上覚	人宮坂作左衛門 詫人小川守之助 他一名	(法華寺)	(嘉永七年)	1854			継紙	1	主殿儀貴寺御式方にて改葬仕候	包紙			18-3-254~257
1179	(一札)	法華寺	守矢宮内	(嘉永七年)	1854			切紙	1	婦檀取決め一札			破れメモ	18-3-258
1180	(口上覚)	(守矢宮内)	(法華寺)	(嘉永七年)	1854			縦紙	1	主殿儀貴寺御式方にて改葬仕候	下書	389-24 下書	メモ	18-3-259
1181	奉歎願口上之覚	(守矢宮内)	(藩)	(嘉永七年) 八月	1854	8		横帳	1	主殿葬儀法華寺との出入りに付			メモ	18-3-260~263
1182	喪葬畧式	神実延		文化十四丁 丑年八月	1817	8		継紙	1	神道葬祭による葬式の仕法	袋付		メモ	18-3-264~281
1186	口上覚	伊藤主膳 守矢宮内	(藩)	(嘉永七年) 七月廿八日	1854	7	28	継紙	1	主殿取置の儀に付き申し開き			メモ	18-3-282~285
1187	奉願口上覚	守矢宮内 伊藤主膳	(藩)	(安政五年) 午二月	1858	2		継紙	1	吉川家へ神道葬祭免許申請		389-14 と同じ 内容	破れ	18-3-286~289
1188	奉願口上覚			(安政五年)	1858			継紙	1	吉川家へ神道葬祭免許申請		389-14 と同じ 内容		18-3-290~294
1189	口上覚			(嘉永七年)	1854			継紙	1	主殿葬儀穩便願		389-08 と同じ 内容		18-3-295~297
1190	(借用史料返却挨拶状)	信濃教育会諏訪部会長三村安治	守矢真幸	大正十五年十二月	1926	12			1	諏訪史編纂事業に付き借用資料返	封筒付			18-3-298~301
1191	(控)	(武田信玄)	(小坂藤三)	天文十四乙巳五月	1545	5		切紙	1	塩尻合戦感状	写			18-3-302
1191	(控)				2004					諏訪八景				18-3-302
1192	(断簡)				1869	13		切紙	1	南大塩の地名等メモ				18-3-303・304
1193	(地名)				1791	3				御射山付近の地				18-3-305
1193	(図面)				1791	3						ワラ半紙の裏に記入あり		18-3-305
1193	観音晩鐘樹根霊泉				1895				1	和歌	ワラ半紙			18-3-305
1194	御布告留			(明治五) 壬申十月	1872	10		縦帳	1	神社しきたりに付 県参事指示書留				18-3-306~330

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
1196	(手扣)	神長官他五官一同			1803			切紙	1	大祝に対する異議		393-00袋「文化十四年四月宮番之事留メ書入」「京御菓子		18-3-331~4-334
1198	下書	(神長官)			1818			継紙	1	給米取上げに付き申達し、宮番関係				18-4-335
1199	口上覚	諏訪歌之助		(文化ころ)	1803	3		継紙	1	宮番従来通り仰せ付かるよう				18-4-336~340
1200	御府納一件二付取 證文	飯田村庄屋善之丞	下市田 上市田 牛牧村役人	文化五辰年二月	1808	2		継紙	1	御符料出入りに付き内済証文	包紙		メモ	18-4-341~343
1201	(和歌)				1865			切紙	1					18-4-345
1201	定價表				2000			切紙	1	斎服明衣の定価表		393-06の習跡有り		18-4-344
1202	奉願	神長官	飯田御役所	(文化五年)	1808			継紙	1	牛牧村御符料未納の件		394-00「伊奈郡御符料一	メモ	18-4-346~351
1203	諸事日記覚帳	守矢主殿		文化五戊辰年二月六日	1808	2	6	横帳	1	牛牧村御符料未納催促の件		394-01関連		18-4-352~359
1204	(書状)	牛牧村役人	神長官	(文化五年)四月五日	1808	4	5	継紙	1	牛牧村御符料未納の件に付き返書	包紙		メモ	18-4-360~371
1205	口上	守矢主殿		(文化五年)二月十七日	1808	2	17	切紙	1	御符一件落着の礼				18-4-372
1206	覚	守矢主殿		(文化五年)	1808			折紙	1	牛牧村申開きに対する箇条書				18-4-373~375
1208	古今家談	守矢実久		(明治)	1899			縦帳	1	神長官家諸事書留、親郷矢ヶ崎・塚原村	屋敷絵図付・丸塚の記述		メモ	18-4-376~410
1209	頭郷并諸事日記	(守矢岩江)		文化四丁卯年正月吉日	1807	1		横帳	1					18-4-411~444
1210	御頭祭礼規式日記書上帳		頭主小坂仙右衛門他二	享和三癸亥年四月	1803	4		横帳	1	頭主等書留				19-1-1~74
1211	定頭饗膳分規申渡覚		長官用所	天保十丁亥年五月	1839	5		横帳	1					19-1-75~81

目録番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
1212	御神事御買物通揚帳			天保八丁酉 年十二月廿	1837	12	27	横帳	1	戌五月五日まで				19-1-82~95
1213	子七月ヨリ丑五月 御 神事入用通壹帳			天保十二辛 丑七月	1840	7		横帳	1	御頭の神事				19-1-96~111
1214	庚子十二月 御神事御 買物帳			天保十二辛 丑七月	1840	7		横帳	1	御頭の神事				19-1-112~121
1215	(覚)				1868	3		横帳	1	御頭神事規式入 用雛形		409の 要約	破れ	19-2-122~156
1216	序拂覚			丑七月	1868	7	11	横帳	1	御頭神事の鹿肉 等の序払				19-2-157~168
1217	御頭御祭礼諸事書留			弘化三丙午 年正月三日	1846	1	3	横帳	1	親郷南大塩村				19-2-169~188
1218	御頭屋臺所入用其外 買物帳		小坂氏用	慶応二丙寅 年正月	1866	1		横帳	1	必要な買い物の雛 形				19-2-189~3- 345
1219	御頭祭礼備物并規式 料理物御頭屋常詰御 厩渡物定			辛卯二月	1868	2		横帳	1	御頭祭礼の供え 物等全般の雛形				19-4-346~433
1220	(符)				1868	1			1		木札に 「内縣介」	紙22枚 木札1		19-4-434~440
1221	御頭二付省略之儀書 上帳		御頭家常居 役人	享和二壬戌 年十二月	1802	12		横帳	1	鹿肉の量等に付				19-4-441~456
1222	(覚書)				1868	4		横帳	1	御頭神事規式入 用雛形		420関 連		19-5-457~461
1223	目方御拂覚		小坂宮内他 二	丑七月	1868	12		横帳	1			403と同 じ		19-5-462~473
1224	御雛形賦物帳写				1868	5		横帳	1	御頭の時のくばり 物雛形				19-5-474~504
1225	御帳写 小池惣左衛門 分		守矢岩江		1800			切紙	1	御頭の時の例		文化こ ろ	破れ	19-5-505
1226	(口上覚)	(藩)	(守矢岩江)	(文化ころ)	1804			継紙	1	私家御祭礼等成 敗職に付				19-5-506・507
1227	(書状)	守矢主殿	矢嶋求馬他 一	三月廿四日	1820	3	24	継紙	1	神事祭礼以前より 拙者共勤め候		412-03 関連		19-5-508~511
1228	(書状)	矢嶋求馬他一	守矢主殿	三月廿四日	1820	3	24	継紙	1	神事祭礼以前より 拙者共勤め候件 返書		412-03 関連		19-5-512~515
1229	口上覚	(藩)	五官連名	文化八辛未 年三月	1811	2		継紙	1	五官と両奉行の役 割に差別付けるべ し		417の 下書		19-5-516~522
1230	(書状)	守矢主殿	山中牧太	(文化五年) 三月十九日	1808	3	19	継紙	1	登城通達				19-5-523~525

目録番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
1231	(書状)	主殿 左京	要人	廿七日	1830		27	切紙	1	欠席通知		文政ころ	破れ	19-5-526~527
1232	(書状)	守矢主殿	矢嶋求馬他 一	三月廿四日	1820	3	24	継紙	1	神事祭礼以前より拙者共勤め候		412-03 関連		19-5-528~531
1233	覚	矢嶋他一	守矢主殿	三月十一日	1820	3	11	継紙	1	三月二十六日まで酉の祭一件に付書状やりとり綴				19-5-532~543
1234	(書状)	守矢主殿	矢嶋求馬他 一	(文政ころ)三月廿三日	1820	3	23	継紙	1	酉の祭一件に付高島へ願出				19-5-544~546
1235	(書状)	矢嶋求馬他一	守矢主殿	三月廿五日	1820	3	25	継紙	1	酉の祭一件に付				19-5-547~550
1236	酉祭礼一件		(守矢主殿)	文化八辛未年三月	1811	3		横帳	1	三月七日~二十八日経緯書留				19-5-551~560
1237	(書状)	守矢主殿	矢嶋求馬他 一	三月十一日	1820	3	11	切紙	1	出席催促				19-6-563~564
1238	(書状控)	(矢嶋求馬他一)	(守矢主殿)		1820			継紙	1	酉の祭一件に付		413-06 と同じ 内容		19-6-565
1239	(書状)	守矢主殿	矢嶋求馬他 一	三月廿六日	1820	3	26	継紙	1	酉の祭一件に付き返書		414-02 の返書		19-6-566~567
1241	口上	主殿	左京	廿七日	1830		27	切紙	1	要人より申来りに付		413-02 関連 文政ころ		19-6-568~569
1243	(書状)		(守矢岩江)	(文化ころ)	1815			切紙	1	神使精進入の酒肴に付		414-02 関連		19-6-570
1244	覚		(神長官)	(江戸時代)未三月	1855	2		継紙	1	古書写十三通の名を願書に添付	包紙付			19-6-571/572~573
1245	(口上)		(守矢)		1868			継紙	1	座配の儀延宝年中の旧例のように				19-6-574
1246	(覚)				1868	7		折紙	1	御頭の酒肴覚				19-6-575~576
1247	(覚)				1741			折紙	1	御頭郷親郷名主名面				19-6-577~578
1248	(書付)				1868	8		折紙	1	膳の数等覚				19-6-579~580
1249	当用日記		(守矢岩江)	享和四甲子年正月吉日	1804	1		横半帳	1	二月~三月神使への献じ物				19-6-581~595
1250	奉願口上覚		金井泰輔	戌十二月		12		切紙	1	御造宮繰廻しに付き御給請求		包紙付 江戸		19-6-596~597
1251	一札	小池惣左衛門	料理人庄兵衛	明和八辛卯年八月六日	1771	1	6	切紙	1	御射山御本膳料理不念に付			穴	19-6-598~599
1252	(膳配置図覚)				1868			折紙	1	御射山饗膳				19-6-600~601

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
1253	覚	小池惣左衛門	金井貞蔵	八月朔日	1771	8	1	継紙	1	御射山祭礼の大祝への神酒覚	起請文継ぎ			19-6-602
1254	覚	小池惣左衛門	金井丹後	四月十一日	1771	4	11	継紙	1	四月祭礼の神酒まとめ		明和ころ		19-6-603
1255	(膳配置図覚)				1868			縦紙	1	御射山饗膳		415-07と一連		19-6-604~605
1256	覚	小池惣左衛門	金井定蔵	四月八日	1771	4	8	継紙	1	四月祭礼の神酒まとめ		415-09と一連 明和ころ		19-6-606
1257	覚	小池惣左衛門	定蔵	八日	1771	2	8	切紙	1	四月祭礼の神酒まとめ		415-09と一連 明和ころ	穴	19-6-607
1258	(覚)			廿七日	1868	13	27	切紙	1	御射山祭礼の神酒まとめ		415-08と一連		19-6-608~609
1259	(書状)	守屋岩江	柴田権之助	正月七日	1800	1	7	継紙	1	御頭郷仕法帳に付き詰問		文化ころ		19-6-610~615
1260	(書状)	佐竹	千鶴	廿七日	1868	14	27	継紙	1	前宮に無断で小屋かける由				19-6-616~619
1261	(覚)				1868	9		切紙	1	御頭の時の饗膳の一部				19-6-620
1262	(覚)				1868	10		折紙	1	御頭関連酒肴	横帳断簡			19-6-621~622
1263	乍恐口上書	神長官	頭主小坂仙右衛門	明和四丁亥年三月	1767	3		切紙	1	御杖に節あり詫状				19-6-623~624
1264	覚	神長官	御頭郷役人		1868	6		継紙	1	精進屋道具類差出し雛形	包紙付			19-6-625~627
1265	(書状)	主殿	縫殿	十一日	1830		11	継紙	1	高嶋書付に付		413-02 関連 文政ころ		19-6-628
1266	(覚)			壬寅正月廿八日	1782	1	28	切紙	1	野位出しの膳				19-6-629
1267	(覚)	(藩)	守矢岩江		1800			横帳	1	各神事の酒肴先例通り行いたき願		文化ころ		19-6-630~634
1268	奉願口上覚	諏訪八之進他一	長坂主計他四	文化八辛未年三月	1811	3		継紙	1	五官と両奉行の役割に差別付けるべし	袋入り	412-05 と同じ 内容		19-6-637~642
1271	古書備用証文	守矢主殿	古田織部他	嘉永五壬子年七月	1852	7		縦紙	1	下社三名神長より借用	包紙付			20-3-268~269

目録番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
1272	天正年中神長知行之書			(天正年中)	1590			(巻紙)	1	地名と貫文	県宝(神長官家知行分注文天正末)	天正末ころ		20-3-243~249
1273	(断簡)		神長頼真	天文九庚子年二月吉日	1540	2		切紙	1	永保二年為実以来の神長名面	県宝(神長頼真伝授次第)		破れ	20-3-241~242
1274	年中神事次第上			文和三年八月十三日	1354	2	13	(巻紙)	1	上社一年中の神事四月まで	県宝			20-2-102~127
1275	年中神事次第下			文和三年八月十三日	1354	3	13	(巻紙)	1	上社一年中の神事五月から	県宝			20-2-128~157
1276	奉納願書之事		武田大膳大夫晴信	天文拾壹壬午九月廿四日	1541	9	24	縦紙	1	宮川端合戦時の戦勝祈願	写(武田晴信願文写) 花押		裏打ちメモ	20-3-270
1277	大祝職位書留			建武二年 応永四年	1335			(巻紙)	1	建武二年頼継(普寛)・応永四年有継職位	県宝		裏打ちメモしみ	20-1-63~70
1278	嘉禎四年十二月一日年中神事次第(写)			嘉禎四年十二月一日	1238	12	1	(巻紙)	1	上社一年中の神事	県宝 次第上下・次第旧記より簡素		裏打ちメモしみ	20-1-6~16
1279	三月御頭之次第		神長官信真	九月晦日	1610	9	30	(巻紙)	1	神使御頭に付	県宝(三月御頭次第信真筆) 花押		メモ	20-2-183~187
1280	神使御頭之日記写		神長頼真	享祿元年	1528			(巻紙)	1	天文二十三年までの書留写	文化十四丁丑年五月十九日写 裏印 県宝		メモ	20-2-170~182
1281	寛正五年神長満實書留		神長満実	寛正五年十二月廿九日	1464	12	29	(巻紙)	1	甲州進攻、御柱の事等	県宝(守矢満実書)		メモ裏打ち	20-1-92~101
1282	文安五年寛正七年文明十六・十七年大祝職位奉授書留			自文安五年	1448			(巻紙)	1	儀式日記(祢宜との争い、十三所巡り等)	花押 県宝		穴破れメモ裏打ち	20-1-71~91
1283	承久元・二年記(写)			承久元年八月十五日	1219	8	15	(巻紙)	1	諏訪十郷の事	県宝		穴破れしみメモ裏打ち	20-1-1~5

目録番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
1284	諏方上社嘉禎四年物忌令			嘉禎四年	1238			(巻紙)	1	物忌の定めその他御贄・御狩の事等	県宝(嘉禎四年諏訪上社物忌令)	418-18の写し	穴破れしみメモ裏打ち	20-1-17~36
1285	禁制		(織田信長)	天正十年三月	1582	3		縦紙	1	諏訪明神のための禁制	朱印 県宝(天正十年三月日織田信長禁制)			20-3-272
1286	禁制		(織田信雄)	天正十年卯月	1582	4		縦紙	1	諏訪明神のための禁制	花押 県宝(天正十年卯月日織田信雄禁制)			20-3-273
1287	神鷹神馬之事		大膳太夫	天文廿四年三月四日	1555	3	4	縦紙	1	神鷹神馬社納の受取り方	花押(武田晴信神鷹神馬定書)			20-3-271
1288	諏方上社物忌令			嘉禎四年	1238			(巻紙)	1	物忌定め他御贄・御狩の事	県宝 神頼真重書		メモ穴	20-1-37~51
1289	(嘉暦四年)大宮御造営之目録(写)		相模守平朝臣高時	嘉暦四己巳年三月	1329	3		(巻紙)	1	造営奉仕の庄や郷	県宝 明治六年写		メモ	20-1-52~62
1290	大祝職位二付神長頼真称宣満清ト争論書頼真手形有之		(守矢頼真)	天文七年三月十六日	1538	3	16	(巻紙)	1	大祝職位の授法権限に付	県宝(神長頼真称宣満清争論次第)			20-2-158~169
1290	大祝職位二付神長頼真称宣満清ト争論書頼真手形有之		(守矢頼真)	天文七年三月十六日	1538	3	16	(巻紙)	1	大祝職位の授法権限に付論争和談	県宝(頼真、満清和談状)	九月十三日和談となる	巻紙の末尾に追而書の形で	20-2-169
1291	年内神事次第旧記			(文和三年)	1354	1		縦帳	1	上社一年中の神事	県宝 次第上下と大同小異		破れ虫喰いメモ	20-3-188~240
1292	應永年間書并古記色々取調中			応永四年十一月廿四日	1397	11	24	縦帳	1	神家の名・閏月の勤め方等	県宝(御渡注進状案等雑)		シミ裏打ち	20-3-250~267
1293	御符禮ノ古書		神長官	文安三年	1446			縦帳	1	延徳二年まで神使頭以外の頭役と御符の礼	朱印 県宝(御符禮書)			20-4-274~407

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
1294	守矢氏神長正三位神 頼真卿書留		(守矢頼真)	天文十一年	1542			縦帳	1	二十一年まで書 留、諏訪氏滅亡の 事等	県宝(神 長官頼真 書留)		裏打ちシ ミ破れ	20-5-408~419
1295	神長守矢氏従五位下 信濃守神満実書留		守矢満実	寛正七年	1466			縦帳	1	延徳四年まで書 留、大町放火洪水 の事等	県宝(神 長官満実 書留)		裏打ち	20-5-420~456
1296	上諏方御柱大鳥居御 寶殿御門屋廊末社造 宮帳 清書帳			天正六戊寅 年二月吉日	1578	2		縦帳	1	御柱年の諸造営	朱印 県 宝(天正 六年上諏 方御柱造 宮帳写)		メモ	20-5-457~508
1297	上諏方大宮同前宮瑞 籬外垣造営帳 清書帳			天正六戊寅 年二月吉日	1578	2		縦帳	1	御柱年の諸造営	朱印 県 宝(天正 六年上諏 方大宮同 前宮瑞籬 造宮帳)		メモ	20-6-509~543
1298	信州諏方御頭帳		諏方因幡守 頼満	慶長十九甲 寅年三月吉	1614	3		縦帳	1	御頭に奉仕する郷 と高	花押 割 印 県宝		虫喰い 穴折れ	20-6-544~554
1299	信州諏方御頭帳(写)		諏方因幡守 頼満	慶長十九甲 寅年三月吉	1614	3		縦帳	1	御頭に奉仕する郷 と高	写 県宝	419-07 の写		20-6-555~564
1300	五万石諸郷之目録跡 書并寺社領共二				1600			縦帳	1	飯田の諸郷の石 高	県宝(五 万石諸郷 の目録跡)	中世末 か	メモ	20-6-565~583
1301	御符禮書(写)			文安三年	1446	1		縦帳	1	応仁三年まで神使 頭以外の頭役と御 符の礼	明治三十 五年一月 写 県宝			20-6-584~21- 1-33
1302	永禄九年玉かきの日 記			永禄九年三 月四日	1566	3	4	横帳	1	玉垣造営の分担	県宝(玉 垣の日)		メモ	21-1-34~45
1303	天正六年同十九年 御 頭書		神長官	天正六年	1578			横帳	1	十九年までの御頭 役の郷	県宝(天 正六年同 九年迄御 頭書)		メモ	21-1-46~67
1304	神使御頭足之事			永禄六申年	1563			横帳	1	「神使御頭之日 記」以後の記録	県宝		メモ	21-1-68~95
1305	神長官知行検地帳			天正七年己 卯十二月十 建久三年四 月二十六日	1579	12	12	横帳	1	何升蒔何貫何百 文制の検地	県宝		メモ	21-1-96~112
1306	(将軍家政所下文)	神長直実	別当因幡守		1192	4	26	縦紙	1	神長職補任状			裏打ち	21-2-113

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
1307	信濃国諏波上社神長重実同国伊奈郡内飯田郷之事	神長重実	駿河守	安貞二年七月二十七日	1228	7	27	縦紙	1	諏訪上社へ飯田郷寄付の事	花押(駿河守奉書)		裏打ち	21-2-123
1308	信濃国諏波上社神長信実御祈禱抽忠功神妙肯被仰畢	(神長信実)	(藤原頼継)	寛元三年三月一日	1245	3	1	縦紙	1	諏訪上社神長信実御祈禱神妙に付	袖判(將軍家状神長信実御祈禱)		裏打ち	21-2-115
1309	信濃国諏方上社御頭者可專結番張	神長	相模守朝臣	寛元三年三月二日	1245	3	2	縦紙	1	諏訪上社御頭は結番帳を専らすべし	花押(北条重時施行状)		裏打ち	21-2-116
1310	(將軍頼継袖判下文)	(藤原惟家)	(藤原頼嗣)	寛元四年十一月七日	1246	11	7	縦紙	1	白川郷地頭職に帷家を任ず	県宝 袖判(將軍頼継袖判)		裏打ち	21-2-117
1311	信濃国筑摩郡白川郷諏方社領地頭職之事	(藤原惟家)	相模守平朝臣(北条重時)	寛元四年十二月九日	1246	12	9	縦紙	1	白川郷地頭職に帷家を任ず	県宝 花押(鎌倉幕府地頭補任状)		裏打ち	21-2-118
1312	諏方上宮神長重実守先例可令領地信濃国水内郡内北高田郷同郷内北堀事	諏方上宮神長重実	相模守平朝臣時頼	宝治元年卯月二日	1247	4	2	縦紙	1	北高田郷を神領として宛て行う	花押		裏打ち	21-2-119
1313	(將軍家下文)	(上社神長)		建長元年十二月十六日	1249	12	16	縦紙	1	先例に任せ御祭礼成敗すべし	袖判		裏打ち	21-2-120
1314	諏方上宮神長朝実訴状之事	(神長朝実)	武蔵守平朝臣 相模守平朝臣	文永八年三月十日	1271	3	10	縦紙	1	高田両郷の神役渋滞に付	花押		裏打ち	21-2-121
1315	(連署状)		前武蔵守平朝臣 相模守平朝臣	正応四年五月六日	1291	5	6	縦紙	1	上宮へ和田郷を寄進	花押		裏打ち	21-2-122
1316	(連署状)	神長	陸奥守 相模守	永仁六年七月十七日	1398	7	17	縦紙	1	御祈禱忠節に六波羅御感				21-2-114
1317	白河十郎有忠申信濃国竹湊郷地頭等不寄子諏方上宮御射山頭	白河十郎	相模守平朝臣 前武蔵守平朝臣	元応元年七月十二日	1319	7	12	縦紙	1	白河郷の内竹湊郷が合力しない件幕府の判決				21-2-124
1318	(重野安繹書)		貴族院議員 正四位勲四等文学博士 重野安繹	明治二十七年甲午年九月中浣	1894	9		縦紙	1	後陽成天皇宸翰が守矢家の至宝である事	印			21-2-125
1319	(奉納願書之事)	諏方法性上下大明神御宝前	武田大膳太夫晴信	天文拾壹壬寅年九月二十四日	1542	9	24	縦紙	1	宮川端合戦時の戦勝祈願	花押 県宝(武田晴信願文)		裏打ち	21-2-126~127

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
1320	(諏方社神長職事)	神長	晴信	天文十七年 八月	1548	8		切紙	1	神長職の承認	花押 県 宝(武田 晴信判物		裏打ち 穴破れ	21-2-128
1321	(武田晴信朱印状 (写))	神長	(武田晴信)	八月十日	1548	8	10	切紙	1	御玉会・守符の礼 状	朱印 県 宝		裏打ち	21-2-128
1322	(武田晴信名字状 (写))	守矢神平(信実)	(武田晴信)	天文十四年 十二月十三	1545	12	13	折紙	1	神平元服時の名 字状	県宝		裏打ち	21-2-129
1323	(武田晴信寄進状 (写))	神長	晴信	天文十五丙 午年九月吉	1546	9		切紙	1	伊奈郡のひろかい と百貫文寄進	花押 県 宝		裏打ち	21-2-130
1324	定	神長	晴信	天文十一壬 寅年拾月七 日	1542	10	7	切紙	1	神長職永代諸役 有るべからず	花押 県 宝(武田 晴信諸役 免除状		裏打ち	21-2-130
1325	神鷹神馬之事		大膳太夫	天文廿四乙 卯年三月四 日	1555	3	4	縦紙	1	神鷹神馬社納の 受取り方	花押 県 宝(武田 晴信神鷹 神馬定書		裏打ち	21-2-131~132
1326	(武田晴信書状)	神長	(武田晴信)	三月九日		3	9	縦紙	1	当社御頭近年怠 慢の意趣を知らせ	県宝	永禄八 年以前	裏打ち	21-3-133~134
1327	諏方上宮御宝鈴銭之 事	神長官	(武田晴信)	永禄四年二 月十四日	1561	2	14	縦紙	1	御宝鈴を鳴らす礼 銭定	袖判 県 宝(武田 晴信定		裏打ち	21-3-135
1328	定	神長官	(武田晴信)	永禄五壬戌 年十月二日	1562	10	2	縦紙	1	御頭役の勤め方	朱印 県 宝(武田 信玄朱印		裏打ち	21-3-136
1329	定	真志野郷	(武田晴信)	卯月二十日		4	20	縦紙	1	桑代銭無沙汰の 者に対する処置	朱印 県 宝(武田 晴信朱印		裏打ち	21-3-137
1330	定	神長官	(武田晴信)	永禄五壬戌 年十月二日	1562	10	2	縦紙	1	御頭役の勤め方	朱印 県 宝(武田 晴信朱印		裏打ち	21-3-138
1331	願状曰		信玄	永禄八年二 月吉辰日	1565	2		縦紙	1	上州箕輪城攻め の戦勝祈願	花押 県 宝(武田 信玄願		裏打ち	21-3-139
1332	(武田信玄朱印状)	神長官	吉田左近助	永禄九丙寅 年閏八月二 十八日	1566	8	28	縦紙	1	小島田の内六貫 文神領として寄進	朱印 県 宝		裏打ち	21-3-140
1333	(武田信玄朱印状)	神長官	吉田左近助	丁卯年十一 月十二日	1567	11	12	縦紙	1	田辺郷の内青銭 十貫文の分寄進	朱印 県 宝		裏打ち	21-3-141
1334	(武田信玄朱印状)	神長官	吉田左近助	丁卯年十一 月十二日	1567	11	12	縦紙	1	田辺郷の内青銭 一貫文の分寄進	朱印 県 宝		裏打ち	21-3-142

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
1335	定	市川宮内助	組込郷中	庚午年九月 十七日	1570	9	17	縦紙	1	来年御頭役の事 神長官指図に任 す	朱印 県 宝(武田 信玄朱印		裏打ち	21-3-143
1336	定	市川宮内助	大草郷	庚午年九月 十七日	1570	9	17	縦紙	1	来年御頭役の事 神長官指図に任 す	朱印 県 宝(武田 信玄朱印		裏打ち	21-3-144
1337	諏方大明神画詞		(諏訪円忠)	延文元年	1356			縦帳	1	諏訪明神縁起、諏 訪祭	県宝 文 明四年絵 巻物の文 を写した 物 権祝	袋入り		21-3-145~210
1338	諏方上宮神長重実守 先例可令領地信濃国 水内郡内北高田郷同 郡内北堀事	諏方上宮神長重 実	相模守平朝 臣時頼	寶治元年卯 月二日	1247	4	2	縦紙	1	北高田郷を神領と して死て行う		419- 14-7と 同じ		21-3-211
1339	将軍家下政所	神長直実	別當因幡守	建久三年四 月二十六日	1192	4	26	縦紙	1	神長職補任状	花押		裏打ち	21-3-212
1340	奉寄進	諏方社	正五位下行 左衛門佐源 朝臣義守	応永五年七 月二十六日	1398	7	26	縦紙	1	筑摩郡高平村寄 進状	花押		裏打ち	21-3-213
1341	白河十郎有忠申信濃 国竹淵郷地頭等不寄 子諏方上宮御射山頭 役由事(写)	(白河十郎)	相模守平朝 臣 前武蔵 守平朝臣	元應元年七 月十二日	1319	7	12	縦紙	1	白河郷の内竹淵 郷が合力しない件 幕府の判決	花押	419- 14-12と 同じ	裏打ち	21-3-214~215
1342	(書状)	神長官(信真)	諏方頼忠	(天正十年) 十月二十四 日	1582	10	24	縦紙	1	明二十五日着陣さ れたい	花押	420- 22-4と 同じ		21-3-216
1343	(書状)	長官(信真)	酒井左衛門 尉忠次	(天正十年) 七月十九日	1582	7	19	縦紙	1	着陣通知	花押	119- 18- 09,-21- 1と同じ		21-3-217
1344	(覚)			(文政以後)	1679	6	9	縦紙	1	下社大祝に付				21-3-218
1345	(下文)	上杉弾正弼入道	武蔵守	永和三年八 月十七日	1377	8	17	縦紙	1	諏訪社家円心の 申し出に付	花押		裏打ち	21-3-219
1346	(書状)	長官	酒井左衛門 尉忠次	(天正十年) 七月十九日	1582	7	19	縦紙	1	着陣通知	花押	119- 18,420- 09,-21- 1と同じ	裏打ち	21-3-220
1347	(書状)	神長官	武田勝千代	十月二十七 日		10	27	縦紙	1	御玉会并御守頂 上宮神官氏人私 の餌鷹禁制			裏打ち	21-3-221
1348	(下文)			建暦仁年八 月十九日	1212	8	19	縦紙	1		袖判		裏打ち	21-3-222

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号	
1349	諏方上宮御寶鈴錢之事	神長官	(武田晴信)	永禄四辛酉 年二月十四 日	1561	2	14	豎紙	1	御宝鈴を鳴らす礼 銭定	袖判	419- 15-9の 写		21-3-223	
1350	雑訴決断所牒	神長有実	大江朝臣	建武元年九 月二十六日	1334	9	26	豎紙	1	神長職承認	花押		裏打ち	21-3-224	
1351	神長祝職事	神長	常安	文安貳年十 月十四日	1445	10	14	豎紙	1	親時の如く知行す べく下文	花押		裏打ち	21-3-225	
1352	(刑部大輔信昌書状)	神長	刑部大輔信 昌	八月二十八 日			8	28	切紙	1	御玉会守符受取	花押 県 宝	信昌は 信玄の 曾祖父 中世	裏打ち	21-3-226
1353	(信縄書状)	諏方神長	信縄	八月二十七 日			8	27	切紙	1	御玉会守符受取	花押 県 宝	信縄 は、信 玄の祖 父 中 世	裏打ち	21-3-227
1354	(信□□□書状)	神長	信濃守為景	卯月十三日			4	13	切紙	1	神鷹神馬奉納	花押 県 宝		裏打ち	21-3-228
1355	(村上義清書状)	神長	義清	六月九日			6	9	切紙	1	御差符の事承知	花押 県 宝	中世	裏打ち	21-3-229
1356	(築田高助書状)	諏方神長宮内少 輔	中務太輔高 助	天文八己亥 年四月六日	1539	4	6	切紙	1	御符御劔進上の 礼状	花押 県 宝	包紙付	裏打ち	21-3-230~231	
1357	(神頼真書状)	築田殿人々御中	神頼真	五月十三日	1550	5	13	切紙	1	御玉会守符太刀 贈与及祈念	花押 県 宝	天文こ ろ	裏打ち	21-3-232	
1358	(禁制)		(織田信長)	天正十年三 月日	1582	3		豎紙	1	諏訪明神のため の禁制	朱印 県 宝(織田 信長朱印		裏打ち	21-3-233	
1359	(書状)	神長	信房	天正十年三 月	1582	3		豎紙	1	還住の事	花押 県 宝(信房 奉書)		裏打ち	21-3-234	
1360	禁制		信雄	天正十年卯 月日	1582	4		豎紙	1	諏訪明神のため の禁制	県宝(織 田信雄禁 制写)			21-4-235	
1361	(真田昌幸書状)	神長官	(真田昌幸)	十一月十一 日	1582	11	11	豎紙	1	御玉会頂戴	花押 県 宝	天正十 年か	裏打ち	21-4-236	
1362	(今福昌和書状)	神長官	(今福)昌和	拾月四日			10	4	豎紙	1	鷹公事の儀に就き	花押 県 宝 今市 昌和	中世・ 永禄 6(1563) 年以降 か	裏打ち	21-4-237
1363	(武田晴信書状)	神長	晴信	卯月二十八 日			4	28	切紙	1	越国衆出張に付 父子出馬依頼文	花押 県 宝		裏打ち	21-4-238

目録番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
1364	定	山田郷	(武田信玄)	元龜二辛未 年十一月二 十四日	1571	11	24	豎紙	1	御頭旧規の如く	朱印 県 宝(武田 信玄朱印		裏打ち	21-4-239
1365	定	市田郷	(武田信玄)	元龜二辛未 年十一月二 十四日	1571	11	24	豎紙	1	御頭旧規の如く	朱印 県 宝(武田 信玄朱印		裏打ち	21-4-240
1366	定	神長官	(武田信玄)	元龜三壬申 年六月九日	1572	6	9	豎紙	1	一月に馬一匹分 諸役免許	朱印 県 宝(武田 信玄朱印		裏打ち	21-4-241
1367	定	神長官	(武田信玄)	天正二甲戌 年閏十一月 十九日	1574	11	19	豎紙	1	其の方被官他所 徘徊の由	朱印 県 宝(武田 信玄朱印		裏打ち	21-4-242
1368	定	神長官	(武田勝頼)	天正八年十 二月二十六 日	1580	12	26	豎紙	1	神宮寺・高部に御 普請役免許	朱印 県 宝(武田 信玄朱印		裏打ち	21-4-243
1369	定	神長官	(武田勝頼)	天正八年十 二月二十六 日	1580	12	26	豎紙	1	御柱縄銭未済の 者	朱印 県 宝(武田 信玄朱印		裏打ち	21-4-244
1370	(松嶋満清契約状)	神長	松嶋満清請 文	天文十六丁 未年三月九	1547	3	9	豎紙	1	乱後に付き御頭奉 仕に差支え	花押 県 宝		裏打ち	21-4-245
1371	(浅野忠吉書状)	神長官	浅野右近大 輔忠吉	極月十五日		12	15	折紙	1	尊書拝見玉会頂 戴	花押 県 宝	天正こ ろ	裏打ち	21-4-246
1372	(築田直次書状)	神長官	築田隠岐守 直次	十一月朔日		11	1	折紙	1	御玉会扇子御祓 頂戴	花押 県 宝	中世か	裏打ち	21-4-247
1373	(神長頼真書状案)	長坂	神長頼真	十一月吉日	1548	11		継紙	1	甲府の御情にて万 事頼みます	花押 県 宝		裏打ち	21-4-248~250
1374	(神長官書状案)		神長官	(天正十一 年)	1583			豎紙	1	諏訪郡の境方々 相違に付	県宝		裏打ち	21-4-251
1375	覚		(神長官)		1559	1		豎紙	1	副祝の言い分に 対し批判	県宝(年 月未詳、 某定書 案)永禄		裏打ち	21-4-252
1376	(矢嶋重綱・政綱書状)	神長	矢嶋左衛門 尉重綱 政	天文二十一 年六月廿八	1552	6	28	豎紙	1	御射山神事の御 穀に付	花押 県 宝		裏打ち	21-4-253
1377	(某願状案)	浅野弾正少弼	神長官	文禄三午年 十月吉日	1594	10		切紙	1	神長官所務地に 付	県宝		裏打ち	21-4-254
1378	(春芳代官惣助菅右衛 門年貢渡分注文)	神長官	春芳代官惣 助菅右衛門	(元龜元年) 庚午九月二 十三日	1570	9	23	折紙	1	田地の貫文・田役 流れの分を引いた 当納分	花押 県 宝		裏打ち	21-4-255
1379	(神長官知行分目録)			天正十四年 丙戌拾月	1586	10		豎紙	1		県宝		裏打ち	21-4-256

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
1380	(三条西権大納言公条 卿書状)	神長官	三条西権大 納言公条	十一月十八 日	1600	11	18	継紙	1	経書写等礼状			裏打ち	21-4-257~258
1381	(書状)	諏方上原典前守	神長信濃守 満実	文明十九丁 未年六月二	1487	6	20	切紙	1	当社神秘出す事 無し			裏打ち	21-4-257~258
1382	(稱名院和歌一首)		(稱名院)		1868			色紙	1			中世末 か	穴裏打 ち	21-4-259
1383	(土佐絵一点)		(土佐守徑 隆)		1868				1		絹本裏打 ち	建仁頃 の女房 を書く 宮廷画		21-4-260
1384	(後水尾天皇御宸翰 写)		(御水尾天 皇)		1868			色紙	1	和歌				21-4-261
1385	(近衛関白左大臣信尹 公和歌)		(近衛関白 左大臣信尹 公)		1868			色紙	1	和歌	古筆了音 の極札の 包紙			21-4-262
1386	(仁和寺宮源性法親王 御筆)		(仁和寺宮 源性法親 王)	(文安年間)	1444				1	古今和歌集の素 性法師の和歌		420- 16-12 に由緒 あり 厚		21-4-263
1386	(仁和寺宮源性法親王 御筆)		(仁和寺宮 源性法親 王)	(文安年間)	1444				1	友則の和歌		420- 16-12 に由緒 あり 厚	破れ	21-4-263
1386	(仁和寺宮源性法親王 御筆)		(仁和寺宮 源性法親 王)	(文安年間)	1444				1	躬恒の和歌		420- 16-12 に由緒 あり 厚		21-4-264
1386	(仁和寺宮源性法親王 御筆)		(仁和寺宮 源性法親 王)	(文安年間)	1444				1	貫之の和歌		420- 16-12 に由緒 あり 厚	破れ	21-4-264
1386	(仁和寺宮源性法親王 御筆)		(仁和寺宮 源性法親 王)	(文安年間)	1444				1	伊勢の和歌		420- 16-12 に由緒 あり 厚	破れ	21-4-264
1387	記	神長官守矢実久	三澤与一郎 長光	明治二十九 年拾月二十 三日	1896	10	23	豎紙	1	和歌贈り状	花押 印	420- 16-7~ 420- 16-11 までの 送り状		21-4-265

目録番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
1388	秋月同詠三首和歌		正二位藤原宗満	長亨年間	1487			豎紙	1			420-16-12に由緒有り		21-4-266
1389	秋月同詠羈中七夕和詠		参議左近衛権中将藤原李経	応仁年間	1467			豎紙	1			420-16-12に由緒有り		21-4-267
1390	(武者小路権中納言和歌色紙)		(武者小路権中納言実)		1868			色紙	1	和歌			裏打ち	21-4-268
1391	(菊亭殿ヨリ政真上京之節賜ル書)	菊亭右大臣勸修寺大納言 中山大納言	秀吉	(天正十五年)卯月三日	1587	4	3	豎紙	1	九州征伐の時の秀吉の書状			裏打ち	21-4-269~270
1392	(勝頼書状)	(神)長官	(武田)勝頼	(天正九年)十二月廿四	1581	12	24	豎紙	1	新館に移るに付き御玉会進上の礼	花押		裏打ち	21-4-271
1393	(達し状)	神長官	武田勝千代					切紙	1	御玉会并御守頂戴		中世420-10と同じ内容	裏打ち	21-4-272
1394	(書状)	諏方小太郎		臘月四日	1590	12	4	折紙	1	鹿皮礼状		小太郎は諏訪家の長子 中世か		21-4-273
1395	(諏訪上社神事次第)			(嘉禎四年)	1238			豎紙	1	三月神事断簡	県宝		裏打ち	21-4-274~275
1396	□□□造営之分			十二月	1566	12		切紙	1	佐久郡十一郷の役等	永禄九 ころ		裏打ち	21-4-276
1397	(侍従信禮和歌)		侍従信禮		1850			豎紙	1	和歌		嘉永 ころ		21-4-277
1398	(和歌)		忠敏		1868			短冊	1					21-4-279
1399	(松平主税助書状)	神長官	松平主税助 忠敏	(安政二年)正月三日	1855	1	3	折紙	1	祈祷願	包紙付			21-4-278・280
1400	(松平忠敏書状)	神長官	松平忠敏	安政二乙卯年正月三日	1855	1	3	継紙	1	家門興隆祈願	包紙付			21-4-281~284
1401	目録		諏訪上宮神長官	元文元年丙辰年八月	1736	8		継紙	1	神長官所蔵重要古文書				21-4-285~287
1402	口宣案	神満実	蔵人左辨藤原国光	文明三年四月廿六日	1471	4	26	豎紙	1	信濃守に任ず	県宝		破れ	21-4-289~290
1403	口宣案	神継実	蔵人左少弁藤原俊石	文明十八年正月十六日	1486	1	16	豎紙	1	宮内少丞に任ず	県宝		付箋 虫破れ	21-4-291

目録番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
1404	口宣案	神頼真	蔵人頭右近衛権中将源重保	天文十七年二月三日	1548	2	3	豎紙	1	従三位に叙す	県宝		付箋 穴	21-4-292
1405	口宣案	(神頼真)	蔵人頭右近衛権中将源重保	天文廿二年十一月廿日	1553	11	20	豎紙	1	正三位に叙す	県宝		穴 下札	21-4-293~294
1406	口宣案	神信真	蔵人右中辨藤原勝房	永禄二年八月二日	1559	8	1	豎紙	1	従五位下に叙す	県宝			21-4-295
1407	口宣案	神信真		永禄二年八月二日	1559	8	1	豎紙	1	宮内少輔に任ず	県宝		下札	21-4-296~297
1408	(正親町天皇綸旨)		右中弁	(永禄二年)八月二日	1559	2	2	豎紙	1	諏訪社社官の席順に付	県宝 包紙			21-4-298~299
1409	(万里小路輔房綸旨添状)		(輔房)	(永禄二年)八月二日	1559	3	2	豎紙	1	席順に付	県宝 包紙		裏打ち	21-4-300~301
1410	(書状)	神長官	(武田)信玄	(永禄二年)十月八日	1559	4	8	豎紙	1	上社社官臈次に付	花押		裏打ち	21-4-302
1411	(某書状)	神長官	(不詳)	(寛文六年)九月廿八日	1669	9	28	切紙	1	官位勅許祝い状	県宝		メモ シミ 裏打	21-4-303
1412	口宣案	神政真	蔵人権右小辨藤原資茂	寛文六年九月廿二日	1666	9	22	豎紙	1	伊賀守に任ず	県宝			21-4-304
1413	口宣案	神政真	蔵人権右小辨藤原資茂	寛文六年九月廿二日	1666	9	22	豎紙	1	伊賀守に任ず	県宝	420-17-11		
1414	(書状)	神長	安藝権守時継	元弘二年正月十一日	1332	1	11	豎紙	1	吉田・赤木両家のため祈禱依頼	花押		裏打ち	21-4-306
1415	(書状)	神長	時継	卯月五日	1331	4	5	豎紙	1	出仕時の着衣に付き尋ね	花押 (元弘ころ)		裏打ち	21-4-307
1416	(達し状)	神長	時継	二月十一日	1350	2	11	豎紙	1	大祝即位大事にあたり本地仏に付	花押	観応ころ	裏打ち	21-4-308
1417	(達し状)	神長	照雲	元弘三年三月一日	1333	3	1	豎紙	1	売地負物沙汰すべからず	花押		裏打ち	21-4-309
1418	(書状)	神長	照雲	元弘四年二月八日	1334	2	8	豎紙	1	原山今年の得分の内	花押		裏打ち	21-4-310
1419	雑訴決断所牒	神長有実	大江朝臣他一	建武元年九月廿六日	1334	9	26	豎紙	1	神長職権に付	花押		裏打ち	21-4-311
1420	(書状)	神長	信濃守頼継	正月十二日	1350	1	12	豎紙	1	御玉会と鷹の礼状	花押 寛応ころ		裏打ち	21-4-312
1421	(達し状)	神長	信濃守頼嗣(頼継)	観應元年十二月十五日	1350	12	15	豎紙	1	所願成就の為に所領寄進	花押		裏打ち	21-4-313
1422	(達し状)	神長	信嗣	観應貳年十一月廿一日	1351	11	21	豎紙	1	飯田郷は父祖の通り知行すべし	花押		裏打ち	21-3-314

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
1423	(達し状)	神長	普寛沙弥 (頼継)	主(至)徳元 年七月廿七	1384	7	27	豎紙	1	今泉村永代寄進	花押		裏打ち 付箋	21-3-315
1424	(書状)	神長	のふあり	主(至)徳四 年三月廿日	1387	3	20	豎紙	1	栗林南方の田七 反永代寄進	花押		裏打ち	21-3-316
1425	(神長印影)			丙申	1896				1			一枚の 台紙に 二枚 貼って 有る		21-3-317
1425	(神長印影印刻由来)	篁山	蔵六濱邨裕	丙申	1896				1	印影は残っている が印鑑は紛失		一枚の 台紙に 二枚 貼って 有る		21-3-317
1426	拙詠		(諏訪)忠元		1868			短冊	1	和歌	包紙	幕末		21-3-318~319
1427	下			建暦仁年八 月十九日	1212	8	19	豎紙	1	明神の贄のため の鷹狩は免許する			裏打ち	21-3-321
1428	(守矢貞実手記)		(貞実)	暦応三年	1340			切紙	1	大徳王寺城の戦	県宝	断簡	裏打ち	21-3-322
1429	(守矢貞実手記)		(貞実)	永和三丁巳 年正月	1377	1				神使御頭役保科 の死	(県宝)	断簡 一枚の 紙に書 いて有 る	裏打ち	21-3-323
1429	(守矢貞実手記)	諏訪兵部大輔入 道	細川武蔵守	應安五年九 月十五日	1372	9	15	切紙	1	小井川山田両郷を 預け置く	県宝(武 蔵寺の文 書を貞実 が写した)	断簡 一枚の 紙に書 いて有 る	裏打ち	21-3-323
1430	(守矢貞実手記)	二位信濃守	太夫	主徳二年五 月十六日	1385	5	16			兵部大輔頼寛の 申し出に対し、太 夫が奉じた文書	(県宝) (貞実写)	断簡 一枚の 紙に書 いて有 る	裏打ち	21-3-324
1430	(守矢貞実手記)	上杉弾正少弼入 道	武蔵守	永和三年八 月十七日	1377	8	17	切紙	1	諏訪社家円心の 申し出に対し	県宝(貞 実写)	断簡 一枚の 紙に書 いて有 る	裏打ち	21-3-324

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
1431	(守矢貞実手記)		足利義満	至徳四年七月十六日	1387	7	16	切紙	1	上宮神領安堵	県宝(貞実写)	断簡一枚の紙に書いて有る	裏打ち	21-3-325~326
1431	(守矢貞実手記)		(貞実)	嘉慶元年七月九日	1387	7	9			田切合戦諏訪打勝つ	(県宝)	断簡一枚の紙に書いて有る	裏打ち	21-3-325~326
1431	(守矢貞実手記)		(貞実)	嘉慶元年九月廿六日	1387	9	26			熊井原合戦諏訪打負け	(県宝)	断簡一枚の紙に書いて有る	裏打ち	21-3-325~326
1431	(守矢貞実手記)		(貞実)	嘉慶元年十月十日	1387	10	10			熊井原合戦の感状	(県宝)	断簡一枚の紙に書いて有る	裏打ち	21-3-325~326
1432	五色和歌				1868			折紙	1		上書			21-3-327
1433	(守矢貞実手記)		(貞実)	応永二年四月十一日	1395	4	11			祢宜勝間殺さる	(県宝)	断簡一枚の紙に書いて有る	裏打ち	21-3-328
1433	(守矢貞実手記)		(貞実)	康応元年	1389			切紙	1	神使御頭役副祝の死	県宝	断簡一枚の紙に書いて有る	裏打ち	21-3-328
1433	(守矢貞実手記)		(貞実)	応永四丁丑年	1397					有継が大祝職位	(県宝)	断簡一枚の紙に書いて有る	裏打ち	21-3-328
1433	(守矢貞実手記)		(貞実)	応永四丁丑年	1397					祢宜御宝殿出仕の経緯	(県宝)	断簡一枚の紙に書いて有る	裏打ち	21-3-328

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
1434	(五色和歌)青		(中院大納言通知)		1868			色紙	1		袋			21-3-329
1435	(守矢貞実手記)	諏方社	源義重	応永五年七月廿六日	1398	7	26	切紙	1	高平村の土地寄進	県宝(貞実写)	断簡一枚の紙に書いて有る	裏打ち	21-3-330
1435	(守矢貞実手記)		(貞実)	応永五戊寅年九月二十四日	1398	9	24		1	平出合戦当方打勝つ	(県宝)	断簡一枚の紙に書いて有る	裏打ち	21-3-330
1435	(守矢貞実手記)		(貞実)	応永六己卯年	1399				1	外県介精進屋で御左口神焼く	(県宝)	断簡一枚の紙に書いて有る	裏打ち	21-3-330
1436	(和歌色紙)黄		(久我中納言建道)		1868			色紙	1					21-3-331
1436	和歌色紙		建道		1868			色紙	1	藤原定家の和歌				21-3-331
1437	(神長頼真筆・神詫・神詠・祝詞)		神長正三位神頼真	(天文年間)	1550			継紙	1	石を以て神籬となす	県宝		穴	21-3-332~333
1438	(五色和歌)白		高倉前中納言永雅		1868			色紙	1					21-3-334
1438	(五色和歌)黒		鷲尾前大納言隆純		1868			色紙	1					21-3-334
1439	(神長神事覚書)	擬祝	神長	(室町期)	1590			折紙	1	三月酉の日の神事の覚え	県宝		裏打ち	21-3-335
1440	三夕和歌				1868			折紙	1		上書			21-3-336
1441	(諏訪頼忠慶讃案)		諏訪安藝守神頼忠	天正十二甲申年六月十日	1584	6	15	切紙	1	上社の御輿再造を祝って	県宝		裏打ち	21-3-337
1442	三夕和歌				1868			色紙	1	寂蓮法師の和歌	袋付		裏面剥	21-3-338
1443	御掟		(豊臣秀吉)	文禄四年八月十三日	1595	8	13	継紙	1	掟五箇条と追加九箇条	県宝(豊臣秀吉掟書案)		裏打ち	21-3-339~341
1444	(三夕和歌)				1868			色紙	1	西行法師の和歌				21-3-342
1444	(五色和歌)赤		(石井宰相)		1868			色紙	1					21-3-342
1445	再拝々々		神重真(重実)	(江戸初期)	1630			切紙	1	藤島社等移転時の祝詞	県宝(良辰吉刻神長官重真願文)		裏打ち	21-3-343~344

目録番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
1446	(神長頼真書状案)	般舟三昧院	頼真	天文廿二年十月廿一日	1553	10	21	豎紙	1	正二位叙位願	県宝		裏打ち	21-4-346
1447	(般舟院永盛書状)	長官三位	般舟院永盛	(天文二十二年)二月十日	1553	2	10	切紙	1	頼真正三位叙位時	花押 県宝		裏打ち	21-4-347
1447	(般舟院友空書状)	神長	般舟院友空	(天文二十二年)十一月十七日	1553	11	17	切紙	1	正三位叙位願出に付	花押 県宝		裏打ち	21-4-348
1448	(般舟院友空書状)	神長	友空	(天文二十二年)十二月十七日	1553	12	17	折紙	1	正三位叙位決定に付	花押 県宝		裏打ち	21-4-349
1449	(般舟院友空書状)	神長	友空	(天文二十二年)	1553			切紙	1	京都に於いて黄金を錢にする	県宝 断簡		後欠	21-4-350
1450	(般舟院友空書状)	神長	友空	(天文二十二年)十一月十五日	1553	11	15	継紙	1	友空諏訪より帰京に付	花押 県宝	下札	裏打ち	21-4-351~353
1451	(般舟院永盛書状)	神長宮内少輔	永盛	(天文二十二年)十二月十七日	1553	12	17	折紙	1	正三位叙位決定	県宝		裏打ち	21-4-354
1452	(般舟院友空書状)	長官三位	般舟院友空	(天文二十二年)二月十日	1553	2	10	継紙	1	正三位口宣従三位口宣共に調う	花押 県宝		裏打ち	21-4-355~357
1453	(神長頼真書状案)	般舟院	神長頼真	天文廿二年八月廿日	1553	8	20	豎紙	1	勅筆心経受取	県宝		裏打ち	21-4-358
1454	のつと		(神頼真)	天文七年霜月廿五日	1538	11	25	継紙	1	正五位上叙位の時の祝詞	県宝(神長頼真叙位祝詞)		裏打ち	21-4-359~361
1455	再拝々々敬白		(頼真)	天文十二年六月二日	1543	6	2	継紙	1	正四位下叙位の時の祝詞	県宝(神長頼真叙位祝詞)		裏打ち	21-4-362~363
1456	(後奈良天皇女房奉書案)	はんし遊院西多う	長階御局	(天文二十二年)八月	1553	8		継紙	1	勅筆心経奉納の時の奉書	起請文 継 県宝		裏打ち	21-4-364~365
1457	(後奈良天皇女房奉書案)	はんし遊院左い多う	(長階御局)	(天文二十二年)十一月	1553	11		継紙	1	勅筆神名奉納の時の奉書	起請文 継 県宝		裏打ち	21-4-366~367
1458	(祝詞案)			(室町期)	1590			切紙	1	御射山御狩の祝詞	県宝		メモ 裏打ち	
1459	(守矢満実筆跡)		神長満実	(文明ころ)	1470			切紙	1	御神事は凶年不減豊年不増	県宝 断簡		裏打ち	21-4-368
1460	鳥居之造営				1590			切紙	1	造営費用分担	県宝(鳥居造営注文) 断簡		裏打ち	21-4-368
1461	伊那廻神事日記		(信真)	天正年間	1587			豎紙	1	各郷定納額と現在納額	県宝(伊那神事日)		裏打ち	21-4-369~370

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
1462	(酒井忠次書状)	神長官	酒井左衛門 尉忠次	七月十九日	1582	7	19	切紙	1	着陣通知	花押 県 宝	119- 18,420- 06,-09 と同じ 天正十年か	裏打ち メモ	21-4-372
1463	(日下部定吉書状)	神長官	日下部兵右 衛門定吉	九月廿二日	1582	9	22	竪紙	1	家康の為祈念依 頼	花押 県 宝	天正十年か	裏打ち メモ	21-4-373
1464	(神長官信真願文)		神長官信真	天正十年壬 午八月十七	1582	8	17	継紙	1	上社再興の為	花押 県 宝		裏打ち	21-4-374~375
1465	(北条氏直書状)	神長	氏直	(天正十年) 八月廿五日	1582	8	25	切紙	1	御玉会守符礼状	花押 県 宝		裏打ち	21-4-376
1466	(北条氏邦書状)	神長官	鉢形安房守 氏邦	(天正十年) 八月九日	1582	8	9	切紙	1	当家の為祈念肝 要	花押 県 宝		裏打ち	21-4-377
1467	(北条氏邦書状)	神長官	鉢形安房守 氏邦	(天正十年) 中秋二十六	1582	8	26	切紙	1	凶徒敗北に付精 誠願	包紙付 花押 県 宝		裏打ち	21-4-378~379
1468	(千野信氏書状)	神長官	信氏	八月二日		8	2	竪紙	1	神事に於ける神田 知行	花押 県 宝	中世	裏打ち	21-4-380
1469	(千野宗光書状)	神長	千野山城入 道宗光	天文十五年 丙午霜月晦	1546	11	30	竪紙	1	勝手に御左口神 上げ詫び状	花押 県 宝		裏打ち	21-4-381
1470	(屋代越中守書状)	神長官	屋代越中守 元政	三月廿三日	1542	3	23	折紙	1	御玉会守符鮎の 礼状	花押 県 宝	中世か	裏打ち	21-4-382
1471	(筑前守房影書状)	神長	筑前守房影	三月二日	2000	3	2	切紙	1	御頭入部礼状	花押 県 宝		裏打ち	21-4-383
1472	(家口書状案)	信 すわほうり	家秋	十二月廿日		12	20	切紙	1	書状と、もんめん の礼状	花押 県 宝	中世か	裏打ち メモ	21-4-384
1473	(菅沼定利書状)	神長官	定利	霜月十二日		11	12	折紙	1	神領寄進願の返	花押 県 宝	中世か	裏打ち	21-4-385
1474	(井上満直書状)	神長	井上出羽守 満直	六月		6		竪紙	1	小柳郷御頭受け に付	花押 県 宝	中世	裏打ち	21-4-386
1475	(左近将監某書状)	神長	左近将監貞 通	三月八日	1582	3	8	切紙	1	去年冬口州在陣 候	花押 県 宝	天正こ ろ	裏打ち	21-4-387
1476	(源政忠書状)	神長	源政忠	六月九日		6	9	切紙	1	書状、守符届き候	花押 県 宝	中世	裏打ち	21-4-388
1477	造営手形之事	窪嶋石見守他二	諏方越中守	天正六年戊 寅二月拾三 日	1578	2	13	竪紙	1	七年毎の修理退 転に付	朱印 県 宝(諏訪 上社造営)		裏打ち	21-4-389
1478	(大炊助定慶書状)	諏方神長	大炊助定慶	十二月廿七 日	1590	12	27	切紙	1	神領に付き催促肝 要	県宝	中世	裏打ち	21-4-390
1479	(右衛門佐泰邦書状)	(神長)	右衛門佐泰 邦	八月廿八日	1582	8	28	切紙	1	書状・太刀受取返 書	花押 県 宝	天正十 年か	裏打ち	21-4-391
1480	(溝口真秀書状)	神長官	溝口美作守 真秀	(十二月廿四 日)	1590	12	24	折紙	1	御玉会等礼状及 び神領の件	花押 県 宝	中世	裏打ち	21-4-392

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
1481	(安芸守頼満書状)	神長	安芸守頼満	八月一日	1530	8	1	折紙	1	八朔祝儀礼状	花押 県宝	安芸守頼満は碧雲齊の事享祿ころ	裏打ち	21-4-393
1482	(刑部大輔頼重書状)	神長	刑部大輔頼重	五月十五日	1542	5	15	折紙	1	裏門の番頼み入る菅平を休息の為帰す	花押 県宝	天文十一年か	裏打ち	21-4-394
1483	(諏訪頼忠書状)	神長官	頼忠	十月十三日	1590	10	13	竪紙	1		花押 県宝	天正十八年か	裏打ち	21-4-395
1484	(諏訪頼忠書状)	神長官	諏方頼忠	十月廿四日	1590	10	24	切紙	1	菅平、明二十五日着陣されたい	花押 県宝	天正十八年か420-05と同じ	裏打ち	21-4-396
1485	(諏訪頼忠書状)	神長官	頼忠	二月廿五日	1583	2	25	折紙	1	近日帰郡、駿府より	花押 県宝	天正十一年か	裏打ち	21-4-397
1486	(諏訪頼忠書状)	神長	頼忠	三月六日	1582	3	6	折紙	1	鷹の書受取り、駿府にて	花押 県宝	天正ころ	裏打ち	21-4-398
1487	(諏訪頼忠書状)	神長官	頼忠	極月廿三日	1590	12	23	折紙	1	奈良梨より、宮本の儀相頼み候	花押 県宝	天正十八年か	裏打ち	21-4-399
1488	(諏訪頼忠書状)	神長	頼忠	十月四日	1590	10	4	折紙	1	織部正殿宮本の儀建立有るべき由、小田原より	花押 県宝	天正十八年か	裏打ち	21-4-400
1489	(諏方頼満書状)	神長官 祢宜太夫他三名	因幡守	正月十五日	1610	1	15	折紙	1	年頭御玉会礼状	花押 県宝	印旛守頼満は頼水の事	裏打ち	21-4-401~402
1490	(神長官所領渡状)	神長官	諏方源太左衛門 千野伊豆守	壬 九月十三日	1602	9	13	竪紙	1	扶持料配当状	県宝		裏打ち	21-4-403
1491	(諏訪忠継書状)	神長官 祢宜太夫他三名	諏訪出雲守忠継	霜月十八日		11	18	折紙	1	御朱印の事に付	花押 県宝		裏打ち	21-4-404
1492	(両角外大夫等連判状)	御代官矢嶋市兵衛	両角外大夫他三	元和乙卯年極月廿三日	1615	12	23	折紙	1	神長官知行分花岡分に付	県宝		破れ 穴	21-4-405
1493	(諏訪安藝守忠虎書状)	大祝 神長官他三	諏訪安藝守忠虎	九月廿八日	1715	9	28	折紙	1	小太郎首尾良く將軍に申し上げ候	花押 県宝		穴 剥げ	21-4-406
1494	立願之覚		(諏訪因幡守忠晴)	(貞享四年)卯七月十九日	1687	7	19	竪紙	1	大阪御加番に付	県宝(諏訪忠晴立願状案)		裏打ち	21-4-407
1495	(書状)	上社神長官	諏訪備前守頼音	(寛文十二年)閏六月六日	1672	6	6	折紙	1	「諏訪大明神縁起」に付	包紙付花押			21-5-409~411

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
1496	(覚)				1868			縦紙	1	当社縁起由来に 付き返書、縁起本 書は紛失		420- 23-3の 返書	裏打ち	21-4-412
1497	(覚)			二月二十七日	1868	2	27	縦紙	1	縁起由来に関する 質問箇条書			裏打ち	21-4-413
1498	(案内状)	信州諏方社家惣 代神長官		(正保二年) 正月廿七日	1645	1	27	切紙	1	年賀登城の案内 状			裏打ち	21-4-414
1499	(書状)	神長官 祢宜太 夫他三	松平出雲守	(正保二年) 卯月廿七日	1645	4	27	折紙	1	公方様疱瘡に付き 御祈祷礼状				21-4-415
1500	(書状)	神長官 祢宜太 夫他三	安(藤)右京 亮	(正保二年) 四月十二日	1645	4	12	折紙	1	公方様疱瘡に付き 御祈祷礼状	花押		裏打ち	21-4-416
1501	(書状)		茅野与惣右 衛門 諏訪 図書	正月十三日	1670	1	13	折紙	1	年始御礼の儀に 付	花押 包 紙付 守 矢政真寛 文六年任 伊賀守			21-4-417~418
1502	(書状)		諏訪図書	五月廿二日	1750	5	22	切紙	1	厄除祈祷礼状		主税は 宝暦八 年死	裏打ち	21-4-419
1503	(書状)	神長官	千野兵庫貞 亮	九月十一日	1770	9	11	切紙	1	御隠居御家督御 祝儀に付	花押		裏打ち	21-4-420
1504	(書状)	守矢主税	吉田式部左 衛門他一	八月十一日	1750	8	11	切紙	1	主税所持系図を持 参されたい			裏打ち	21-4-421~423
1505	(書状)	守矢主税	吉田式部左 衛門他一	八月七日	1750	8	7	継紙	1	永宣旨、神鷹神馬 に付き問合せ		主税は 宝暦八 年死		21-4-422~423
1506	(書状)	諏訪上宮神長官	和多田奥八	(天保九年) 閏四月七日	1838	4	7	継紙	1	古書拝見願	花押		破れ	21-4-424~428
1507	(書状)	諏訪神長官	和多田奥八 他一	(天保九年) 二月十日	1838	2	10	継紙	1	諏訪由来書借用	包紙			21-4-426~428
1508	(書状)	神長官	庄司郡平	(天保九年) 二月十四日	1838	2	14	継紙	1	諏訪由来書返却				21-4-429~432
1509	(書状)	神長官	和多田奥八 庄司郡平	(天保九年) 二月十五日	1838	2	15	継紙	1	書物差上答礼とし て				21-4-429~432
1510	朝雪		(橋本中納 言)実久		1868			短冊	1	和歌		120- 23-16- 00包紙		21-4-432~433
1510	(和歌)		季鷹		1868			短冊	1					21-4-432~433
1510	かへし		季鷹		1868			短冊	1	和歌				21-4-432~433
1511	(書状)	時岡肥後	(藤原)光明	二月十四日	1868	2	14	縦紙	1	「千種泳哥」進呈				21-4-434

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
1512	(和歌)				958			縦紙	1	天徳二年の清原 元輔和歌屏風より				21-4-435
1513	(書状)	守矢主殿 桃井 式部	般舟院真空	正月九日	1868	1	9	折紙	1	賀状・宝墨進呈	花押			21-4-436
1514	詠草筆者		烏丸中納言 光政 三条 西中将李知		1868			折紙	1		上書			21-4-437
1515	松虫		烏丸中納言 光政		1868			縦紙	1	和歌				21-4-438
1516	名所の虫		(三条西李 知朝臣)		1868			短冊	1	和歌				21-4-439
1516	桜		(高野正四 位下左近衛 権少将藤 原)保美(朝		1868			短冊	1	和歌				21-4-439
1517	命名書		侍従信禮	(嘉永三年)	1850			縦紙	1	神長官の孫志都 満と名付く		志津満 (実久) は嘉永 三年生 まれ		21-4-440
1518	(花橘)		信禮	二月十二日	1850	2	12	切紙	1	花橘の香進呈		嘉永こ ろ	裏打ち	21-4-441
1519	(書状)		侍従信禮	(嘉永三年)	1850			縦紙	1	守矢実延の死を悼 んで			裏打ち	21-4-442
1520	(侍従信禮撰文)		侍従信禮	(嘉永三年)	1850			縦紙	1	「実延いさを塚の 碑」釈文				21-4-443~444
1520	(和歌)		侍従信禮	(嘉永三年)	1850			短冊	1	昌信和歌				21-4-445
1521	(寄進状)	(上諏訪大明神)	濃州賀野岡 崎忠左衛門	延宝五辛酉 年正月吉日	1677	1		縦紙	1	太刀一腰寄進	花押		裏打ち	21-4-446
1522	(書状)	神長官	座高寺伊奈 助	十一月廿八 日	1868	11	28	折紙	1	御玉会受納、御初 穂献上	花押		穴	21-4-447
1523	願文		(神頼隆)	貞亨三丙寅 年閏三月廿	1686	3	20	縦紙	1	病脳平癒寿命長 遠祈願			裏打ち	21-4-448
1524	(和歌)		(高松正三 位保実卿)		1868	1		色紙	1					21-4-450
1525	弓	守矢実顕	樹下石見守 茂国		1868			短冊	1	和歌		幕末		21-4-450
1525	(和歌)		出雲大社神 官富饒夫	慶応四年 (慶応四年)	1868			短冊	3					21-4-450
1526	口達		(神祇官)	六月十八日	1868	6	18	継紙	1	除仏届督促状				21-4-451

目録番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
1527	(書状)	守矢元彦他一	伝達所	正月十八日	1869	1	18	切紙	1	出頭通達	花押			21-4-451
1528	信濃国諏訪大社御鎮座図				1867				1		活版		裏打ち メモ	21-4-452~455
1529	(書状)	守矢宮内	三浦秀政	寅七月五日	1868	7	5	折紙	1	神長方にて優待を受け礼状	花押	宮内は安政元年より神長		21-4-456
1530	(矢嶋敏平書)		矢嶋敏平	(明治十八	1885			切紙	1	平田篤胤の書に			裏打ち	21-4-457
1531	(曆)				1868				1	古曆日歩式	活版	420-24-8関連か	裏打ち	21-4-458
1532	(印)	上諏訪社	東京神祇官		1869	2		切紙	1	神祇官印		神祇官は明治元年閏四月に置かれ、同四年神祇省となる		21-4-459
1533	(印)		東京神祇官		1869	3		切紙	1	神祇官印				21-4-459
1534	(神祇官達書)	上諏訪社神長官	神祇官	四月七日	1869	4	7	切紙	1	出頭通達				21-4-460
1535	(神祇官達書)	諏訪上社之内耆人	神祇官	十一月三日	1869	11	3	継紙	1	出頭通達				21-4-461
1536	記	守矢実顕	諏訪神社宮司岩本尚賢	明治十九年六月一日	1886	6	1	縦紙	1	御分霊一体実顕が賜る	朱印			21-4-462
1537	(寄付願状)	中教正守矢実顕	上諏訪村立木席祝	明治廿二年五月	1889	5		縦紙	1	軍銃及び大鷲羽奉納				21-4-463
1538	(賞状)	長野縣士族 守矢實久	宮内大臣子爵土方久元	明治二十七年三月廿三	1894	3	23		1	「丹鳳朝陽之図」献納感謝状	職印			21-4-464
1539	遠思樓記		鉛山加藤普(選) 雪谷(書)	明治六年七月廿八日	1873	7	28		1	漢詩			裏打ち	21-5-465~466
1540	(英文書状)	(守矢篁山)	ハルバルト・エル・ケルトン	(明治二十四年)	1891	2	10		1	篁山の絵の礼状				21-5-466~469
1540	(英文書状訳文)	(守矢篁山)	ハルバルト・エル・ケルトン	千八百九十一年二月十日	1891	2	10	切紙	1	篁山の絵の礼状の訳文				21-5-470
1541	(書状)	守矢大兄	星埜恒	一月十一日	1900	1	11	切紙	1	帝大教授守矢家文書借用に付	封筒付		裏打ち	21-5-471~473

目録番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
1542	(書状)	(宮川村長)中村甚之助	知事官房安田音次郎	(明治廿八年)七月廿日	1895	7	20	継紙	1	守矢家文書借覧願	封筒付			21-5-471・472・474・475
1543	(書状)	守矢実顕	(諏訪郡長)坂本俊秀	八月四日	1900	8	4	継紙	1	元良教授講習会に付き守矢家文書拝見願	封筒付			21-5-476~477
1544	(書状)	守矢篁山	藤森左五郎	八月五日	1900	8	5	継紙	1	元良教授守矢家文書拝見礼状	封筒付			21-5-476・478~479
1545	(書状)	守矢実顕	清水博夫	明治廿七年七月十七日	1894	7	17	継紙	1	守矢家文書謄写 下付願	封筒付			21-5-480~481
1546	(書状)	守屋実顕	古書出版協会主事青木輔清	十一月五日	1900	11	5	継紙	1	弊社出版物へ守矢家文書掲載に付	封筒付 起請文継ぎ			21-5-480・482~484
1547	(書状)	守矢実久	(内務省伊那郡役所河川調査係)宮島光太郎	明治三十一年十二月三日	1898	12	3		1	守矢家文書拝借礼状	封筒付 罫紙			21-5-485~486
1548	(書状)	守矢実顕	清水博夫	明治卅壹甲午七月廿六日	1898	7	26		1	守矢家文書謄写礼状及び問合せ	封筒付 罫紙	420-24-24		21-5-485~487
1549	報賽状	神長官守矢実顕	北澤愨太	明治廿八年八月十五日	1895	8	15	縦紙	1	征清凱旋報賽目録				21-5-489
1550	(忠勇墨書)		金州 山馬慶雲	(明治二十八年)	1895			縦紙	1	北澤愨太献納の品		420-25-1の品		21-5-490~491
1551	征清凱旋報賽状	神長官守矢実久	陸軍輜重兵勲八等軍曹五味恵助	明治二十八年八月一日	1895	8	1	縦紙	1	報賽目録				21-5-492
1552	征清履歴		陸軍歩兵一等軍曹勲八等守矢文之助	(明治二十九年)	1896	8	30	縦紙	1					21-5-493
1553	征清凱旋報賽状	神長官守矢実顕	陸軍歩兵一等軍曹勲八等守矢文之助	明治二十九年一月廿二日	1896	1	22	縦紙	1	報賽目録				21-5-494
1554	(清国軍令状)	漢雲他二		嘉慶二十年九月初一日	1815	9	1		1	守矢文之助献納の品		420-25-5の品		21-5-495
1555	奉納証	諏訪神社守矢実顕	陸軍輜重輸卒飯田周蔵	明治廿九年二月廿八日	1896	2	28	縦紙	1	報賽目録				21-5-496

目録番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
1556	報賽状	神長官守矢実顕	永明村陸軍 士兵上等兵 勲八等遊座 貞節	明治三十年 六月	1897	6		縦紙	1	報賽目録				21-5-497
1557	(臺灣風俗畫)			時庚辰中秋	1880				1	遊座貞節献納の 品	明治十三 年	420- 25-8の 品	裏打ち	21-5-498
1558	(臺灣風俗畫)			時庚辰中秋	1880				1	遊座貞節献納の 品	明治十三 年	420- 25-8の 品	裏打ち	21-5-499
1559	正三位神頼真朝臣碑 銘			明治二十九 年十一月	1896	11		縦紙	1	頼真三百年忌に あたり功績をたた	加藤継君 述謹撰			21-5-501
1560	秋懐旧		茂政	(明治二十九 年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-502
1560	(秋懐旧)		利嗣	(明治二十九 年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-502
1560	秋懐旧		利春	(明治二十九 年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-502
1560	(秋懐旧)		承昭	(明治二十九 年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-502
1560	(秋懐旧)		之雪子	(明治二十九 年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-502
1561	(秋懐旧)		麻子	(明治二十九 年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-503
1561	(秋懐旧)		(諏訪)忠元	(明治二十九 年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-503
1561	(秋懐旧)		晴子	(明治二十九 年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-503
1561	秋懐旧		利豊	(明治二十九 年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-503
1561	秋懐旧		清綱	(明治二十九 年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-503
1562	秋懐旧		美静	(明治二十九 年)	1896			縦紙	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-504
1563	秋懐旧		一子	(明治二十九 年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-505
1563	(秋懐旧)		八十四翁重 嶺	(明治二十九 年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-505
1563	秋懐旧		正辞	(明治二十九 年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-505

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
1563	(秋懐旧)		梶邨	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-505
1563	秋懐旧		七十九翁安彦	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-505
1564	秋懐旧		昌綱	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-506
1564	秋懐旧		寅雄	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-506
1564	(秋懐旧)		七十三翁恒久	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-506
1564	(秋懐旧)		道守	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-506
1564	秋懐旧		菊子	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-506
1565	秋懐旧		千春	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-507
1565	(秋懐旧)		正臣	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-507
1565	(秋懐旧)		修	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-507
1565	秋懐旧		寛	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-507
1565	(秋懐旧)		方義	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-507
1566	(詠草一首)		千野方義	(明治二十九年)	1896			竪紙	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-508
1567	秋懐旧		(岩本)尚賢	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-509
1567	(秋懐旧)		すすむ	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-509
1567	秋懐旧		守膳	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-509
1567	秋懐旧		守膳	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-509
1567	秋懐旧		真道	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-509
1568	秋懐旧		義令	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-510
1568	秋懐旧		真道	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-510

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
1568	秋懐旧		正俊	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-510
1568	(秋懐旧)		甲斐駒峯	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-510
1568	秋懐旧		實	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-510
1568	秋懐旧		實	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-510
1569	(秋懐旧)		常磐	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-511
1569	(秋懐旧)		栄之丞	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-511
1569	(秋懐旧)		正道	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-511
1569	(秋懐旧)		義質	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-511
1569	(秋懐旧)		清海	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-511
1569	(秋懐旧)		壮真	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-511
1570	(秋懐旧)		養拝	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-512
1570	(秋懐旧)		村雄	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-512
1570	(秋懐旧)		重経	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-512
1570	秋懐旧		道太郎	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-512
1570	秋懐旧		道太郎	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-512
1570	秋懐旧		員光	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-512
1571	秋懐旧		(小尾)保彰	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-513
1571	(秋懐旧)		保彰	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-513
1571	秋懐旧		重匡	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-513
1571	秋懐旧		静雄	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-513

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
1571	(秋懐旧)		達昌	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-513
1571	秋懐旧		頼太	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-513
1572	秋懐旧		敏良	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-514
1572	(秋懐旧)		桃溪	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-514
1572	秋懐旧		徹	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-514
1572	秋懐旧		亘	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-514
1572	秋懐旧			(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-514
1572	秋懐旧		等	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-514
1573	秋懐旧		矢嶋敏平	(明治二十九年)	1896			竪紙	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-515
1573	(漢文)		矢嶋敏平	(明治二十九年)	1896			切紙	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-515
1574	秋懐旧		栄枝	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-515~516
1574	秋懐旧		栄枝	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-516
1574	秋懐旧		茂伸	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-516
1574	秋懐旧		駿	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-516
1574	秋懐旧		駿	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-516
1574	秋懐旧		正親	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-516
1575	(長歌と返歌)		(矢嶋)源敏平	(明治二十九年)	1896			竪紙	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-517
1576	故守矢頼真大人		正親	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-518
1576	秋懐旧			(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-518
1576	秋懐旧		正佐	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-518

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
1576	(秋懐旧)		正佐	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-518
1576	(秋懐旧)		求	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-518
1576	秋懐旧		増子	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-518
1577	(長歌と返歌)		七十九隻三 枝宗淑	(明治二十九年)	1896			竪紙	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-519
1578	秋懐旧		虎雄	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-520
1578	秋懐旧		虎雄	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-520
1578	秋懐旧		増子	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-520
1578	(漢文)		源貞康	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-520
1578	秋懐旧		真武	(明治二十九年)	1896			短冊	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-520
1579	(長歌と返歌)		清水茂子	(明治二十九年)	1896			竪紙	1	頼真三百年忌に 付詠歌				21-5-521
1580	(書状)	諏訪因幡守	飛鳥井	(寛文六年) 九月廿八日	1666	9	28	折紙	1	神長官位階所望 願の結果に付	花押	420- 27-7の 返書		21-5-525~526
1581	(安堵状)		左大臣源朝 臣	□徳四年七 月十六日	1386	7	16	竪紙	1	上宮神領に付	花押	延徳な ら1492 至徳な ら1386	裏打ち	21-5-527
1582	(断簡)				1550			切紙	1	上宮神家の名と添 紋			裏打ち	21-5-528
1583	(達文)	諏訪因幡守	本多長門守 他二	(延宝三年) 三月十八日	1675	3	18	折紙	1	官位の高下に構 い無く旧例を用い るべし	花押 包 紙			21-5-529~530
1584	口上書	諏訪大隅守ママ	守矢源次郎 (盛真)	三月三日	1730	3	3	折紙	1	御柱騎馬行列神 長官の座は論旨 の通り	花押	420- 27-15と 同じ 盛真は 元文三 年死	裏打ち	21-5-531

目録 番号	文書名	作成者(差出人)	受取人	年号	西暦	月	日	形態	数量	内容	備考1	備考2	備考3	マイクロ番号
1585	(書状)	小笠原山城守他二	諏訪因幡守	延宝三年卯三月廿三日	1675	3	23	折紙	1	官位の高下に構い無く旧例を用いるべき旨社家へ申し渡し候		420-27-4と対		21-5-532
1586	(書状)	飛鳥井大納言	諏訪因幡守	(寛文六年)八月十九日	1666	8	19	折紙	1	神長官位階所望願に罷上がるに付		420-27-1と対		21-5-533~534
1587	(本阿極書)		本阿	元禄参年午極月三日	1690	12	3	折紙	1	短刀鑑定書	花押			21-5-535
1588	(書状)	牛山内記	小比木三右衛門	(延宝三年)三月十九日	1675	3	19	折紙	1	官位の高下に構い無く旧例を用いるべし		420-27-3,420-27-6と対		21-5-536
1589	(進上書)	御奉行所	諏方上社神長官	延宝三年卯三月九日	1675	3	9	継紙	1	旧例を用いるべく仰せ付けられたき訴訟		420-27-3関連	シミ	21-5-537
1590	覚		諏訪上宮神長官	八月四日	1868	8	4	継紙	1	守矢家文書に付き尋ね返答				21-5-538~542
1591	(書状)		副祝	三月五日	1730	3	5	切紙	1	御柱騎馬に付き異論	花押		裏打ち	21-5-543~544
1592	(書状)		酒(井)左衛門尉	二月七日	1582	2	7	切紙	1	御玉会礼状	花押 天正ころ		裏打ち	21-5-545
1593	(書状)	すわほうり			1868			折紙	1	祈祷依頼			穴	21-5-546
1594	口上書	諏訪大隅	守矢源次郎	三月三日	1730	3	3	折紙	1	御柱騎馬行列神長官の座は論旨の通り	花押	420-27-5と同じ	裏打ち	21-5-547
1595	(書状)	諏訪大隅守	鈴鹿将大角主水他	蠟月二日	1730	12	2	折紙	1	座配位次争論に對し指示				21-5-548
1596	誓約神文之事	諏方上ノ宮神長官	信州伊奈郡虎岩村田中数馬	寶曆三癸酉年八月	1753	8		豎紙	1	引目井鳴弦の伝秘拝受に付き誓紙	花押		裏打ち	21-5-549
1597	(誅伐状)	望月大蔵助		曆應四年三月廿四日	1341	3	24	豎紙	1	佐々木近江守高貞陰謀企つるに付	花押			21-5-550
1599	(軍功感状)		信長	天正三年八月	1575	8		豎紙	1	西国筋征伐に付			裏打ち	21-5-551
1600	守矢真幸別號説		文学博士重野安繹	明治二十七年甲午年七月	1894	7		豎紙	1	真幸に別号として梧桐と命名				21-5-552
1601	(贈文)		長野縣知事正四位勲三等浅田徳則	明治丙申春二月	1896	2		豎紙	1	神長官家蔵文書器物大切にすべく贈文				21-5-553